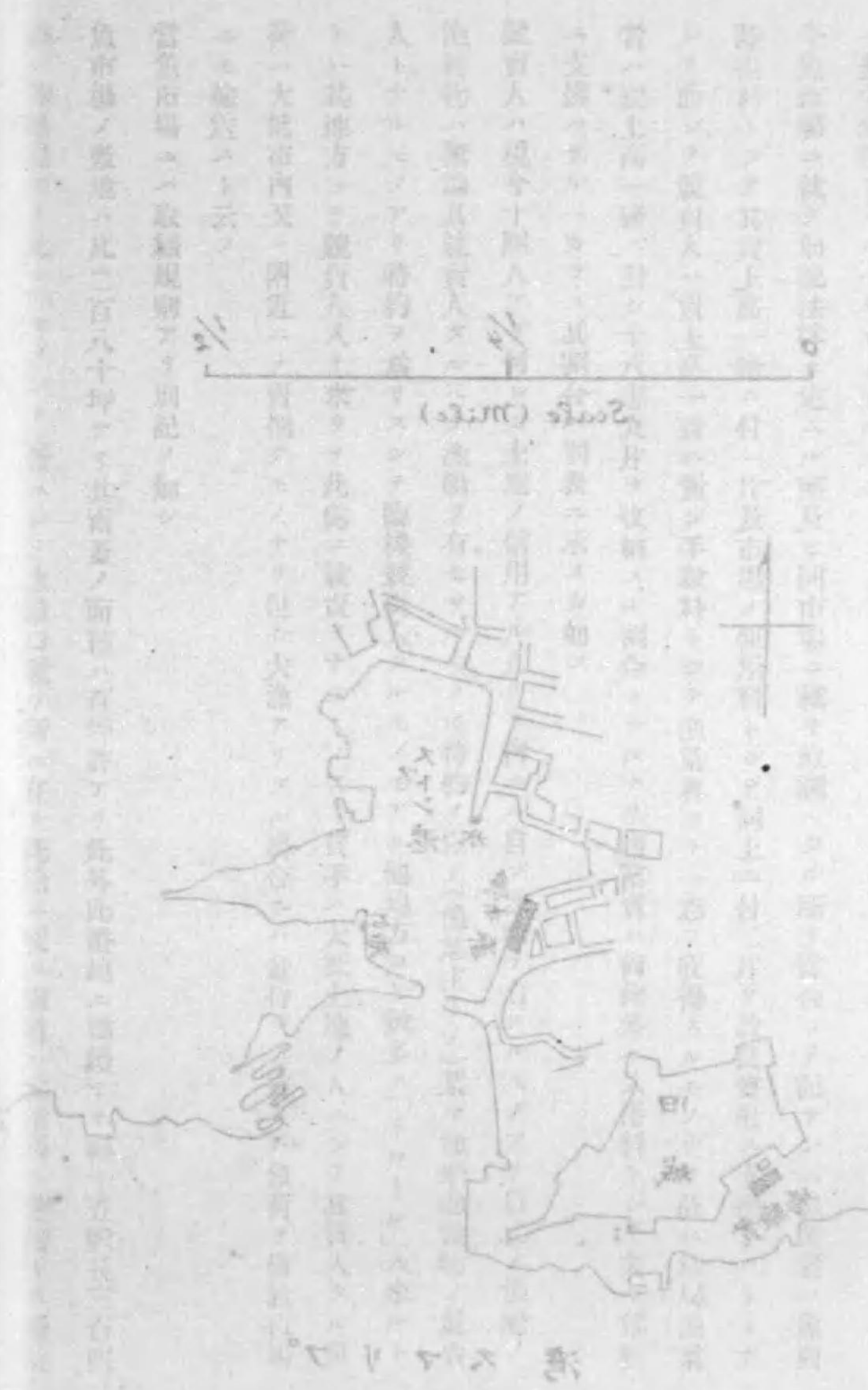


「サトントン」港及魚市場地圖



停車場マテ凡十町許アリ坦道ナリ此市場日々ノ扱高最多ハ凡三百噸位ニ及フコトアリ一ケ年ノ扱高合計ハ七千噸許リナリ

サトントン港法 (一千八百八十九年八月二十六日發布)

本法ハ左ノ目的ノ爲メニ要スル權限ヲサトントン港改良會社ニ附與スルモノナリ

- 一、サトントン港ブリマウス港及デボン州ニ於テ現ニ該會社ノ從事セル企業ト聯結シテ荷揚場及ヒ道路ヲ築造シ并ニ魚市場ヲ設立管理スルコト
 - 二、コルンウラル公領ニ屬スル土地ノ取得ヲ容易ナラシムルコト
 - 三、該會社ニ對シテ其徵收ヲ認可セル課税市場税其他ノ賦課ヲ修正スルコト
 - 四、右以外ノ諸種ノ目的
- 一千八百四十七年發布ノサトントン港法(本法ニ所謂「一千八百四十七年ノ法律」)ハサトントン港改良會社(本法ニ所謂「當該會社」)ヲ以テ左ノ目的ノ爲メニ存在スル法人トナセリ
- 一、一千八百四十七年ノ法律ニヨリテ限定セラレ、サトントン港即チ本法ニ所謂「港」ヲ改良スルコト
 - 二、右ノ目的ニ關シテ諸種ノ附加的工作物ヲ設定スルコト
 - 三、右ノ工作物及ヒ便益ニ供スル物ヲ維持スルコト
 - 四、右ノ外該法律ノ指定セル諸種ノ目的

一千八百七十二年發布ノサトン港(軌道)法(本法ニ所謂「一千八百七十二年ノ法律」)ハ當該會社ニ與フルニ軌道ノ敷設及ビ維持ノ權ヲ以テセリ
 一千八百七十四年發布ノサトン港法ニヨリテ(本法ニ所謂「一千八百七十四年ノ法律」)ニヨリテ當該會社ハサトン港ノ一部ヲ船渠トナシ尙法ノ指定スル船渠ノ壁及ヒ堤防ヲ設定維持スルノ附加的權力ヲ附與セラレタリ然レトモ當該會社ハ毫モ該權力ヲ行使シタルコトナシ而シテ現在ニ於テハ該權力ハ時ノ經過ニヨリテ消滅ニ歸シタリ
 適當ナル法則ニ從ヒテ當該會社カ荷揚場及ヒ道路ヲ築造シ并ニサトン港ノ一部ニ魚市場ヲ設立スルハ地方ノ公益タリ

當該會社ヲシテ必需品ノ供給ニ改良ヲ施サシメ港及ヒ之レニ關スル工作物ノ使用者ノ爲メニ便益ヲ供セシメンカ爲メニハ宜シク當該會社ヲシテ有効ニサトンノ水底及ヒ沼水ニ付キテコルンウチール公ノ有スル「フリーキー、シムブル」繼承權ソノ他凡テノ「エステート」及ビ利益(此等ニ就キテハ後ニ規定アリ)并ニ後ニ規定セラル、如キ其他ノ公領ヲ購買セシムヘシ

認可セラレタル當該會社ノ資本ハ(一千八百七十四年ノ法律ニヨリテ認可セラレタル資本別トシテ)一千八百四十七年ノ法律ニヨル五萬七千「ポンド」ノ普通株式資本一千八百七十二年ノ法律ニ基ク二萬「ポンド」ノ優先株式資本及ヒ一千八百四十七年ノ法律ニ基ク一萬九千「ポンド」ノ債券資本并ニ一千八百七十二年ノ法律ニ基ク五千「ポンド」ノ債券資本ヨリ成ル而シテ其既ニ發行セラレタルモノ

ハ次ノ如シ

普通資本

五五、七二五「ポンド」

優先資本

二〇、〇〇〇「」

債券資本總額

二二、九三〇「」

而シテ前ニ掲ケタル諸種ノ目的ノ爲メ并ニ之レニ關シテ土地ヲ取得スルカ爲メニハ當該會社ニ與フルニ尙進テ資金調達ノ權ヲ以テセサルヘカラス

一千八百四十七年ノ法律ノ規定ニ基キテ當該會社ハ或種類ノ課稅ヲ徵收スル事ヲ認メラレタリ而シテ一千八百七十四年ノ法律ニ因リテ當該會社ハ該法律ニヨリテ認可セラレタル船渠ノ完成ニ於テ右ノ課稅ノ代リニ或地ノ種類ノ課稅ノ徵收權ヲ認メラレタリ但シ一千八百七十四年ノ法律ニ基ク課稅ハ右ノ船渠ノ築造ナカリシカ爲メニ實施セラル、ニ至ラス然ルニ一千八百四十七年ノ法律ニ基キテ認可セラレタル課稅タルヤ凡テノ關係ニ於テ今日ノ情態又ハ本法ニ因リテ認可セラレタル魚市場ニ適用スルヲ得ス故ニ宜シク之レヲ修正スヘク又宜シク當該會社ヲシテ本法ニ於テ定ムル所ノ附加的ノ課稅地代ソノ他ノ賦課ヲ徵收スルコトヲ得セシメサルヘカラス

一千八百七十六年發布ノサトン港(コルンウチール公領)法(本法ニ所謂「一千八百七十六年ノ法律」)ニヨリテコルンウチール公及ヒ當該會社ハ土地ニ關シテ合意及ヒ協定ヲ爲シ之レヲ實行スルコトヲ認メラレタリ而シテ當該會社カ或土地ノ上ニ其工作物ヲ設定スルコトヲ得ヘキコトハ一千八百四十七年一千

八百七十二年及ヒ一千八百七十四年ノ法律ノ認ムル所ナリ

コルンウァール公ウエールス親王アルバートエドワード殿下及ヒ當該會社トノ間ニ成立シタル一千八百七十八年十二月二十四日附ノ契約書ニ因リテ殿下ハ一千八百七十六年ノ法律及ヒ一千八百六十三年發布ノ**コルンウァール公領管理法**ニ從ヒ**サトン**沼ト稱セラル、**サトン**ノ水底及ヒ沼水ト共ニ之レニ附屬シ若クハ隣接シ且ツ**コルンウァール公領**ノ一部ヲ成シ尙右ノ契約書ニ掲クル圖面ニ於テ其境界ヲ示セル土地、邸宅、倉庫、穴藏、建造物、荷揚場及ヒ埠頭又ハ或ル借地契約書ニ包含スル所ニシテ其引渡サレタル旨ヲ示シタル其他凡テノ土地「**テネメント**」及ヒ世襲財產(若シ有ラハ)又ハ或借地契約書ニヨリテ與ヘラレタル目的物ノ引渡ノ直前ニ該目的物ニ包含シタル其他凡テノ土地「**テネメント**」及ヒ世襲財產(モシ有ラハ)ニシテ之レニ關シテ殿下カ未タ該借地權ニヨリテ留保セラレタル第二順位ノ回復權ヲ行使セサルモノヲ讓渡シタリ而シテ當該會社及ヒ其讓受人ハ右ノ契約ノ内容タル諸種ノ約束及ヒ條件ノ履行并ニ年々ノ地代ノ支拂ヲ條件トシテ一千八百七十六年三月二十五日ヨリ九十九年間借地權ヲ有スルモノトス尙右ノ借地契約書ニアル一但書ニヨレハ當該會社又ハ其讓受人カ一千八百八十六年三月二十五日以前ノ或時ニ於テ三萬八千「**ポンド**」ヲ以テ讓渡サルヘキ旨ヲ明示セル建造物ニ付キテ「**フキーシムブル**」及ヒ世襲財產權ヲ買受ケント欲スル時ハ當該會社又ハ其讓受人ハ殿下又ハ其相續人又ハ讓受人若クハ**ロンドン**ニ於ケル**コルンウァール公領管理局**ニアル其有權代理人ニ對シテ六曆月ヲ下ラサル猶豫期限付ノ通知書ヲ發スヘシ而シテ此ノ通知ハ右ノ猶豫期間ニ屬スル約半ヶ年ノ終リニ

於テ滿期トナルモノトス而シテ殿下ノ相續人若クハ讓受人ハ右ノ通知ノ滿期日ニ於テ金三萬八千「**ポンド**」及ヒ既ニ發生セル地代ノ凡テノ支拂ヲ受領シ且ツ凡テノ關係ニ於テ當該會社若クハ其讓受人ノ費用ニ於テ右ノ建造物及ヒ之レニ付キテ「**フキーシムブル**」及ヒ世襲財產權ヲ當該會社若クハ其讓受人ニ讓渡スルモノトス

右ノ但書ニ從ヒテ當該會社カ買收ノ選擇權ヲ行使シ得ヘキ期間ハ評議ノ上殿下ニヨリテ三ヶ年間即チ一千八百八十九年三月二十五日迄延長セラレタリ

一千八百八十八年八月二十九日附ヲ以テ當該會社ハ殿下ニ對シテ一千八百八十九年三月二十五日ヲ以テ通知ノ滿期日トナシ金三萬八千「**ポンド**」ヲ以テ右ノ借地契約ニヨリテ交付セラル、ニ至リタル建造物ニ付キテ「**フキーシムブル**」及ヒ世襲財產ヲ買收シタキ旨ノ通知書ヲ發布シタリ蓋斯ノ如キ買收ノ遂行セラル、コトハ願ハシキコトナリ

サトン、**ロード**ニ接シ且ツ右ノ借地契約書ニ包含セラル、建造物ニ隣リテ約二「**バアチ**」ノ面積ヲ有スル土地アリ此レハ「**ブリマウス**」ト協定ノ結果元來右ノ借地權ニ包含セラレタリシモ該協定ノ結果之レニ含まレサルニ至リタル他ノ小面積ノ土地ノ代ハリニ**コルンウァール公領**トナルニ至リタルモノナリ故ニ現在右ノ借地契約書ニ含マル、建造物ノ外右ノ小面積ノ土地ヲ買收スヘキ權利ヲ會社ニ與フルコトハ願ハシキコトナリ

會社ハ一千八百四十七年ノ法律ニヨリテ與ヘラレタル權力ニ基キ捺印證書ヲ以テ金一萬七千九百三十

「ボンド」ヲ借入レタリ而シテ該證書ノ所持人ハ右ノ一萬七千九百三十「ボンド」以外ニ金一萬七千三百三十「ボンド」ノ範圍迄後ニ示スカ如キ優先權附ノ株式（後ニサトン港地代償還株式ト稱スルモノ）ヲ別ニ發行スルコトヲ書面ヲ以テ同意シタリ

後ニ示スカ如キ權力ヲ更ニ會社ニ授與スルコトハ願ハシキコトナリ

下水工事ヲ施行シ港ヨリ汚物ヲ排除スル爲メ及ヒ決議ノ結果「ブリマウス」（本法ニ所謂當該自治體）ノ市長市參事會員及ヒ公民カ當該魚市場及ヒ道路ノ敷地并ニ本法ニヨリテ認メラレタル建造物及工作物ヲ當該自治體及ヒ當該會社トノ間ニ協定セラレタル條件ニ基キテ買收スルコトノ爲メ及ヒ當該自治體カ其買收ノ選擇權ヲ行使スル時右ノ市場ニ關シテ當該會社ノ有スル權力及ヒ權利ヲ之レニ附與スルコトノ爲メ及ヒ同一ノ場合ニ於テサトン港ノ浚深ヲ確保スル爲メ其他諸種ノ事項ノ爲メニ本法ニ於ケルカ如キ規定ヲ設クルコトハ願ハシキコトナリ

本法ニヨリテ認可セラレタル荷揚場、道路及ヒ諸種ノ工作物ノ外形ノ圖面及ヒ土地所有者借地人又ハ推定的ノ土地所有者及ヒ借地人并ニ本法ノ目的ノ爲メニ若クハ本法ニ因リテ有スル權力ニ基キテ要スル所ノ土地若クハ買收スルコトヲ得ル所ノ土地ノ占有者等ノ氏名簿ハ**デボン州**ノ治安警察官ニヨリテ適當ニ保管セラレタリ而シテ以後右ノ圖面及ヒ名簿ヲ稱シテ「保管セラレタル圖面及名簿」ト謂フ

本法ノ目的ハ議會ノ權力ヲ外ニシテハ之レヲ遂行スル能ハス

本法ハ貴衆兩院ノ協賛ト其權力トニヨリテ女皇陛下之レヲ制定ス

第一條 本法ハ之レヲ一千八百八十九年ノサトン港法ト名ツクルコトヲ得

第二條 左ノ法律及ヒ其部分ハ（本法ノ規定ニヨリテ明カニ變更セラレ又ハ之レト矛盾スル場合ノ外）

本法ト結合シテ其一部ヲ構成スルモノトス

一千八百四十五年會社法ノ規定ニシテ左ノ事項ニ關スルモノ

會社ノ資本ヲ株式ニ分ツコト

株式ノ申込ニ對スル拂込及ヒ全額未拂込株式ノ未拂込額ニ對スル請求權實行ノ強制手續

全額未拂込株式ノ未拂込額ニ對スル請求ニ對シテ拂込ヲナサ、ルカ爲メニスル株式ノ沒收

株主ニ對スル會社債權者ノ救濟

抵當權ヲ設定シ又ハ捺印證書ニヨリテ會社ノナス金錢ノ借入

借入金ヲ資本ニ轉化スルコト

數株ヲ合一シテ一株トナスコト

特別法ニ依ランカ爲ニ凡テノ利害關係人ノナシタル規定

一千八百六十三年ノ會社法第一編（株式ノ抹消及ヒ交付ニ關スル規定）及ヒ第三編（社債ニ關スル規定）

一千八百四十五年一千八百六十年及ヒ一千八百六十九年ノ土地法并ニ一千八百八十三年ノ土地（仲裁人）法

一千八百四十七年ノ港灣、船渠及棧橋ニ關スル法律(但第十六節乃至第十九節ヲ除ク)
一千八百四十七年ノ市場法ノ規定但シ左ノ制限ニ從フ

一、第十二節ノ規定ニ從ヒテナスヘキ新聞紙ヲ以テスル公告ハ「ブリマウス」發行ノ朝刊ノ日々新聞ヲ以テス

二、貨物及車輛ノ秤量ニ關スル規定ニ付キテハ會社ハ商品ヲ秤量スルカ爲メニ秤量所又ハ秤量場ヲ設置シ或ハ右ノ目的ニ適スル車輛器械又ハ重量物ノ秤量所又ハ秤量場ヲ設備シ或ハ二十四節ニ規定スルカ如キ者ヲ指命スルコトヲ要セス但シ會社カ右ノ法律ニ規定スルカ如キ秤量所又ハ秤量場ノ設置ヲ適當ナリトスル時ハ之レニ關スル右ノ法律ノ規定ハ凡テ其效力ヲ有ス

第三條、全部又ハ一部本法ト結合シタル法律ニ於テ用ヒラレタル文言ハ本法ニ於テモ亦該法律ノ與ヘタルト同一ノ意義ヲ有ス但シ本法ノ主旨又ハ文脈ノ關係ヨリ斯ノ如キ解釋ヲ許サ、ルトキハ此限ニアラス本法及ヒ之レニ附屬スル表ニ於テ「魚」トハ牡蠣ソノ他ノ雙殼類及ヒ凡テノ水産動物ヲ謂フ本法又ハ全部若クハ一部本法ト結合シタル法律ニ於テ用ヒラル、「上級裁判所」又ハ「裁判權アル裁判所」又ハ其他之レニ類似スル文句ハ本法ノ主旨ニ從ヒテ讀マルヘク又之レニ從ヒテ其效力ヲ有ス例ヘハ債務又ハ請求ナル文句カ使用セラル、時ハ不要式契約ニ基ク債務ヲ言フモノニテ法律ノ規定ニヨリテ生シタル債務又ハ請求ヲ言フモノニアラス

第四條、當該會社ハ本法ノ規定ニ從ヒ保管ニカ、ル圖面ニ示サレタル境界ニ於テ及ヒ高サニ從ヒテ以

下所載ノ工作物ヲ設定シ之レヲ維持スルコトヲ得又當該會社ハ本法ノ規定ニ從ヒ右ノ圖面ニ示サレ及ヒ保管ニカ、ル名簿ニ示サレタル土地ニ其目的ニ應シテ或ハ立入り又ハ之レヲ買收シ又ハ使用スルコトヲ得

前ニ述タル工作物ニシテ本法ニヨリテ認可セラレタルモノハ左ノ如シ

- 一、荷揚場(本法ニ所謂「市場荷揚場」)港ノ西棧橋ノ北面ノ西端**バアピカン**、**キート**ノ接合點ヲ起點トスル假定線内若クハ之レヲ境界トシテ設置セラル而シテ右ノ線ハ右ノ起點ヨリ約四百六十呎北方ニ走リテ**スマート**、**キー**ノ極東ノ角ヨリ東方ニ當リテ約六十呎隔レル港ノ一點ニ達ス而シテ更ニ約六十呎東方ニ走リテ前ノ線ト直角ヲナス而シテ更ニ約百十七呎北方ニ走リテ前ノ線ト直角ヲナス更ニ其線ト直角ヲナシテ約百五十五呎西方ニ走ル更ニ走ルコト約二百五十六呎ニシテ**バレード**、**キー**ノ一點ニ至ル此點ハ**シツフィン**ノ北面ヨリ五十七呎餘ノ距離ニ在リ而シテ更ニ**バレード**、**キー**ノ壁ニ沿ヒ南方ニ向テ約二十呎ヲ走ル更ニ**バレード**、**クリーク**ト稱セラル、港ノ一部分ニ接スル建造物ノ北面ニ平行シ且ツ之レヨリ約三十六呎ヲ隔テ、東方ニ向ヒテ約二百九十三呎ヲ走ル更ニ南方ニ向ヒテ走ルコト約六十八呎ニシテ**スマート**、**キー**ノ北面ニ在ル一點ニ達ス此點ハ前ニ述ヘタル**スマート**、**キー**ノ極東ノ角ヲ距ルコト約十呎ナリ更ニ右ノ點ヨリ**スマート**、**キー**及ヒ**バアピカン**、**キー**ノ壁ニ沿ヒテ南東南方ニ走リ遂ニ前ニ述ヘタル最初ノ起點ニ達ス

右ノ荷揚場ニ關聯スル凡テノ必要ナル建造物、入場路、上陸場、工作物及ヒ便益物ヲ含ム

二、道路 右ニ述ヘタルバレード、キーノ壁ノ南端即チ道路トシツブ、イントノ連結スル場所ヲ起點トシ約三十六呎ノ幅ヲ以テバレード、クリークト稱セラル、サトン沼ノ一部分ノ南側ニ沿ヒ東方ニ向ヒテ約二百九十六呎ヲ走ル而シテ右ニ述ヘタルサトン沼ノ一部分ニ隣接スル建造物及スマート、キーノ北面ニ接ス

三、右ノ荷揚場ノ地所ニ存スルモノニシテ以下述フルカ如ク本法ニ基キテ當該會社ニヨリテ設立セラルヘキ魚市場ノ爲メニ適當ニシテ且ツ之レニ關聯スル前掲ノ凡テノ小舎、事務所、貯藏場及ヒ其他ノ建造物及ヒ圍場、建物、倉庫、穴藏、埠頭、荷揚場、上陸場、道路入場路并ニ諸種ノ便益物(以後此等ヲ合セテ「市場建造物」ト稱ス)

第五條、本法ノ規定ニ從ヒテ當該會社ハ本法ニヨリテ認可セラレタル工作物ヲ建設スルニ當リ保管セラレタル平面圖ニ示サレタル所ノ横ニ境界ヲ離脱シタル限界ヲ超ヘサル範圍迄該工作物ノ境界ヲ横ニ離脱スルコトヲ得又本法ノ規定ニ從ヒテ上方ニ五呎及ヒ下方ニ五呎ヲ超ヘサル範圍迄保管セラレタル断面圖ニ示サレタル該工作物ノ高サヨリ縱ニ離脱スルコトヲ得但シ保管セラレタル平面圖ニ示サレタル該工作物ノ何レノ物ノ境界ヨリスルモ海底又ハ海水中ニ又ハ其上ニ若クハ之レヲ通過シテ離脱スルコトハ豫メ通商管理局ノ同意ヲ得ルニ非ラサレハ之レヲナスコトヲ得ス

第六條、當該會社ハ本法ニ於テ認可セラレタル高潮點下ノ工作物上ニ於テ又ハ其附近ニ於テ其建造變更若クハ延長工事ノ全期間通商管理局カ時々要求シ又ハ承認スル燈火(若シ有ラハ)ヲ毎夜日没ヨリ

日出迄自己ノ費用ヲ以テ點火スヘシ而シテ(燈臺ニ關シ現ニ拘束力アル法令ノ規定ニ拘ハラズ)工事竣成スル時ハ該工作物上ニ於テ又ハ其附近ニ於テ通商管理局カ時々要求シ又ハ承認スル燈火(若シ有ラハ)ヲ船舶案内ノ爲メ毎夜日没ヨリ日出迄自己ノ費用ヲ以テ點火スヘシ

若シ當該會社カ苟クモ本條ノ規定ニ反スル時ハ其背反シタル各夜ニ對シテ二十「ポンド」ヲ超過セサル範圍内ニ於テ過料ニ處セラルヘシ

第七條、何時ニテモ通商管理局カ海底又ハ海水中ニ又ハ其上ニ又ハ之レヲ通過シテ當該會社ノ建設シタル工作物或ハ斯ノ如キ工作物ノ建設ノ用ニ供セントスル場所ノ檢閲ヲ命スルコトヲ本法ノ目的ノ爲メ有益ナリトスル時ハ當該會社ハ其ノ檢閲ノ費用ヲ支辨スルコトヲ要ス

此金額ハ當該會社カ君主ニ對シテ負擔スル債務トナルモノニシテ訴訟費用ト共ニ當該會社ヨリ債務ニ關スル訴訟手續ニヨリテ取立ツルコトヲ得ヘク又過料取立ノ訴訟手續ニヨリテ訴訟費用ト共ニ當該會社ヨリ取立ツルコトヲ得

第八條、海底又ハ海水中ニ又ハ其上ニ若クハ之レヲ通過シテ當該會社ノ建造シタル工作物カ放棄セラレ又ハ腐壞ニ委セラレ、時ハ通商管理局ハ當該會社ノ費用ヲ以テ該工作物又ハ其部分ヲ除去シ其場所ヲ原狀ニ復スルコトヲ得而シテ此費用ハ君主ニ對スル當該會社ノ債務トナルモノニシテ債務ニ關スル訴訟手續ニヨリテ訴訟費用ト共ニ當該會社ヨリ取立ラルヘク又過料取立ノ訴訟手續ニヨリテ訴訟費用ト共ニ當該會社ヨリ取立ツルコトヲ得

第九條、本法ノ目的ノ爲メニ土地ノ強制買収ニ對スル當該會社ノ權力ハ本法ノ制定ノ時ヨリ三年ヲ經過スル時ハ消滅スルモノトス

第十條、本法ニヨリテ認可セラレタル工作物カ本法ノ制定ノ時ヨリ五年内ニ完成セラレサル時ハ右ノ期間ノ滿了ト共ニ工作物又ハ之レニ關スル事物ノ設定完成ノ爲メ本法ニヨリテ當該會社ニ與ヘラレタル權力ハ消滅スルモノトス但シ既ニ完成シタル部分ニ付キテノ權力ハ此限ニアラス

第十一條、本法ニヨリテ認可セラレタル工作物ハ當該市ノ檢閱官ニ提出セラレ且其承認ヲ得タル平面圖及ヒ明細書ニ從ヒテ建造スルコトヲ要ス而シテ當該會社ハ本法ノ制定ノ時ヨリ三年内ニ之レヲ完成スル爲メニ全力ヲ盡スヘシ又當該會社ハ右ノ期間内ニ右ノ工作物ノ建造ノ爲メニ必要ナル土地ニ付キテ存スル「フキーシムブル」ヲ取得スヘシ

當該會社ハ右ノ工作物ノ建造ノ爲メニ入札者ヲ募集スヘシ而シテ當該會社ハ當該自治體ノ承認アルニ非ラサレハ右ノ工作物ノ建造ノ爲メニ入札ヲ承諾シ又ハ契約ヲ締結スルコトヲ得ス但シ右ノ承認ハ不當ニ之レヲ拒ムコトヲ得ス

第十二條、本法ニヨリテ認可セラレタル工作物又ハ其或物ノ建造ニ當リ又ハ建造ノ爲メニ或ハ本法ノ目的ノ或物ノ爲メニ之レヲ横キリ開キ破壊シ變更シ閉鎖シ又ハ之レヲ轉シ又ハ之レヲ妨クルコトヲ必要若クハ有益ナリト思考スル種類ノ道路、街路、徑路、路地、庭、通路、歩道市場、上陸場、荷揚場、階段、空地、溝、暗溝、水道、瓦斯、水、電信、電話、空氣、電氣等ノ管、筒及裝置ニシテ

保管セラレタル平面圖ニ示サレタル範圍内ニアル凡テノモノ又ハ其或モノヲ一時的ニ横キリ開キ破壊シ變更シ閉鎖シ又ハ之レヲ轉シ又ハ之レヲ妨クルコトハ當該會社ノ爲メニ適任ニシテ當該會社ハ本法ニヨリテ其權力ヲ有スルモノトス但シ當該會社ハ障害ヲ與ヘタル何レノ暗溝及溝ニ對シテモ當該市ノ檢閱官ノ満足スル代用ノ暗溝及溝ヲ供給スルコトヲ要スルノミナラス本條ノ規定ニヨリテ與ヘラレタル權力ノ行使ノ結果トシテ損害ヲ被リタル者ニ對シテ十分ノ賠償ヲナスコトヲ要ス又當該會社ハ一千八百七十八年ノ電信法ノ規定ニ準據スルニ非ラサレハ逓信大臣ニ屬シ又ハ其使用スル電信ノ管、筒又ハ裝置ヲ破壊シ變更シ又ハ之レヲ轉シ又ハ如何ナル方法ヲ以テスルモ之レニ障害ヲ與フルコトヲ得ス

第十三條、本法ノ規定ニ從ヒ且ツ保管セラレタル平面圖ニ示サレタル範圍内ニ於テ當該會社ハ其建造ヲ本法ニヨリテ認メラレタル工作物ニ關シ及ヒ其一部分トシテ及ヒ其目的ノ爲メニ右ノ工作物ニ接觸シ又ハ之レニヨリテ横斷セラレ又ハ之レト衝突スル所ノ現ニ存スル凡テノ道路又ハ街路ト接合點及ヒ交通點ヲ作成スルコトヲ得而シテ又右ノ工作物ト之レヲ聯結スルカ爲メニ現ニ存スル道路又ハ街路ノ境界又ハ高サヲ擴張變更スルコトヲ得而シテ又右ノ道路又ハ街路ノ車道若クハ歩道ノ凡テヲ或ハ其或物ヲ一時的ニ閉鎖シ又ハ使用スルコトモ得但シ本法ニヨリテ認メラレタル工作物ノ或物ノ建造ノ爲メニ及ヒ其期間必要ナルヘキ範圍ニ限ルモノトス又當該會社ハ本條ノ規定ニヨリテ與ヘラレタル權力ノ行使ノ結果トシテ損害ヲ被リタル凡テノ者ニ對シテ十分ナル賠償ヲナスコトヲ要ス

第十四條 一千八百四十五年ノ土地法ニ基キテ土地ヲ賣却シ且ツ之レヲ引渡シ或ハ之レヲ放棄スルノ權ヲ有スル者ハ若シ彼等カ該法律ノ規定及ヒ一千八百六十年ノ改正土地法ノ規定并ニ本法ノ規定ニ從フコトヲ適當ナリト思考スルトキハ本法ノ目的ノ爲メニ要セラレタル清水引用ノ地役權ヲ除クノ外右ノ土地中ニ又ハ其上ニ又ハ之レニ關スル地役權權利若クハ特權ヲ當該會社ニ與フルコトヲ得而シテ土地及ヒ地代ニ關スル右ノ諸法律ノ規定ハ其之レカ爲メニ適用シ得ヘキ限度ニ於テ夫々前ニ述ヘタルカ如キ讓與及ビ地役權權利并ニ特權ニ其適用ヲ及ホスモノトス

第十五條 本法ノ目的ノ爲メニ當該會社ハ(本法ニヨリテ與ヘラレタル他ノ權力ニ基キテ當該會社カ取得シ維持シ得ヘキ凡テノ土地ノ外)時々合意ニ基キテ借貸ヲ支拂ヒ或ハ買受ケ或ハ交換シ或ハ其他ノ方法ニヨリテ全部ニ於テ「エーカー」ヲ超ヘサル土地及ヒ干潮ノ時ハ水ノ覆バサル濱ノ斜傾部ヲ取得スルコトヲ得而シテ又清水引用ノ地役權ニ非ラサル限りハ右ノ土地又ハ濱ノ斜傾部ノ中ニ又ハ其下ニ又ハ其上ニ權利、地役權又ハ特權ヲ取得スルコトヲ得但シ本法ニ於テハ本條ノ規定ニヨリテ與ヘラレタル權力ニ基キテ取得セラレタル土地ニ於テ當該會社ノ惹起シタル不法ノ事情ニ付キテノ刑事上及ビ民事上ノ訴訟ヨリ會社ヲ免除スルモノニアラス

第十六條 (一)左記ノ條件ニ從フニ非ラサレハ當該會社ハ本法ノ規定ニヨリテ與ヘラレタル權力ニ基キテ市町又ハ都會ノ衛生區若クハ都會ノ衛生區内ニ在ラサル數區又ハ其一部分ニ於テ本法ノ制定後又ハ昨年ノ十二月十五日ニ勞働者ノ階級ニ屬スル者ニヨリテ全部又ハ一部借地人又ハ寄留人トシテ

占有セラレタル十軒以上ノ家屋ヲ買收シ又ハ之レヲ取得スルコトヲ得ハ

(イ) 會社ハ昨年ノ十二月十五日ニ於テ右ノ家屋ニ住居シタル人數又ハ考究ノ結果地方行政局カ右ノ期日ニ於テ若クハ其後ニ於テ右ノ家屋ニ住居シ且ツ其家屋ヨリ一哩以内ニ於テ勞働ニ從ヘル人數及ヒ右ノ家屋ノ直近ニ於ケル適當ナル空房^{アキヤ}ノ總數若クハ右ノ者ノ從業地及ヒ其場合々々ノ凡テノ事情ニ關聯シテ其必要ト認ムル人數ノ爲メニ新ナル住家ヲ供給スル爲メノ計畫ニ對シテ地方行政局ノ承認ヲ得ヘシ

(ロ) 當該會社ハ右ノ計畫ノ實行ニ對シテ地方行政局ノ適當ト認ムル擔保ヲ供スヘシ

(二) 本條ノ規定ニ基ク計畫ニ對スル地方行政局ノ承認ハ絕對的ニ若クハ條件付キニテ與ヘラル、コトヲ得而シテ地方行政局ハ右ノ計畫ニ付キテ承認ヲ與ヘタル後其計畫ノ變更ニ付キテ絕對的ニ又ハ條件付キニテ時々其承認ヲ與フルコトヲ得

(三) 本條ノ規定ニ基ク各々ノ計畫書ニハ其計畫ノ實行セララルヘキ期間ヲ掲クヘシ而シテ又右ノ計畫ニ基キテ供給セララルヘキ新ナル家屋カ其計畫ノナサル、所以タル家屋ニ住居スル者ノ移轉セシメララル前ニ住居スルニ適スル程度ニ完成セララルヘキコトハ右ノ各々ノ計畫ノ要件ヲナスモノトス但シ地方行政局ハ其適當ナリトスル條件(モシ有ラハ)ニ從ヒテ右ノ最後ノ要件ヲ免除スルコトヲ得

(四) 當該地方行政局カ依テ本條ノ規定ニ基ク計畫又ハ其變更ヲ承認スルコトヲ得ル所ノ條件又ハ

依テ以テ右ニ述タル要件ヲ免除シ得ル所ノ條件ハ地方行政局カ上級裁判所ヨリ得ヘキ命令狀ニヨリテ之レヲ強制スルコトヲ得

(五) 若シ當該會社カ以上ノ規定ニ背反シテ本法ノ目的ニ對スル家屋ヲ取得シ又ハ其用途ニ充テ若クハ右ノ計畫ノ要件ニ背反シテ其家屋ニ住居スル者ヲ移轉セシメ又ハ移轉セシメントスル時ハ當該會社ハ各家屋ニ付キテ五百「ポンド」ノ過料ニ處セラルヘシ而シテ地方行政局ハ上級裁判所ニ出訴シテ右ノ過料ヲ取立ツルコトヲ得尙又右ノ過料ハ合衆王國ノ合併歲入ニ繰入レ其一部ヲナスモノトス但シ上級裁判所ノ見込ニヨリテ右ノ過料ハ之レヲ減輕スルコトヲ得

(六) 本條ニ基ク計畫ヲ實行スル爲メニ當該會社ハ現ニ其有スル土地又ハ取得スルノ權アル土地ヲ其用途ニ充ツルコトヲ得又其要スル土地ヲ更ニ買收スルコトヲ得而シテ右ノ買收ノ目的ニ對シテハ一千八百七十五年ノ公衆保健法ノ第七十六條並ニ二百九十七條ハ本法ト合一スルモノニシテ宛カモ當該會社カ一千八百七十五年ノ公衆保健法ノ意義ニ於テノ地方官タルカ如ク尙ホ右ノ計畫ハ其法律ノ目的ノ一ナルカ如ク全然同一ノ方法ニ於テ本條ノ規定ニ基ク計畫ノ爲メニスル當該會社ノ土地ノ買收ニ適用セラル、モノトス

(七) 當該會社ハ其有スル土地又ハ本條ニ基キ若クハ本條ニヨリテ發セラレタル暫定命令ニ基キテ其買收若クハ取得シタル土地ノ上ニ本條ノ規定ニ基ク計畫ノ爲メニ必要ナルヘキ勞働者ノ階級ニ屬スル者ノ爲メノ住家ヲ建設シ又右ノ住家並ニ右ノ買收シ若クハ取得シタル土地ヲ賣却シ讓渡シ賃貸シ若

クハ其他ノ處分ヲナスコトヲ得而シテ又當該會社ハ資本ノ適當ナル充當タル本條ノ目的若クハ其目的ノ或モノ、爲メニ當該會社ノ企業ノ一般的目的ノ爲メニ當該會社カ調達シ若クハ充當スルコトノ認可ヲ受ケ得ヘキ資金ヲ充當スルコトヲ得

但シ本條ノ規定ニ基ク計畫ニ從ヒテ當該會社カ建造物ヲ設定若クハ設備シタル凡テノ土地ハ本法ノ制定ノ時ヨリ二十五個年間住家ノ目的ノ爲メニ之レヲ充ツルコトヲ要ス而シテ右ノ土地及ヒ建造物ノ各個ノ交付證書讓渡證書又ハ借地證書ニハ此規定ノ主旨ヲ裏書スヘシ但シ地方行政局ハ其適當ナリトスル條件(モシ有ラハ)ニ從ヒテ本項ノ要件ノ凡テヲ若クハソノ或モノヲ何時ニテモ免除スルコトヲ得

(八) 地方行政局ハ本條ノ規定ニ基ク計畫ニ關シ本條ノ規定ヲ實行スルカ爲メニ其檢察官ニヨリテ執行セラル、檢閲ヲ必要ナリトスルトキハ如何ナル檢閲ヲ命令スルコトヲ得而シテ斯ノ檢閲ノ目的ノ爲メニハ地方行政ノ檢察官ハ一千八百七十五年ノ公衆保健法ニ基キテ右ノ官廳ノ命シタル檢閲ノ目的ノ爲メニ檢察官ノ有スル凡テノ權力ヲ有スルモノトス

(九) 當該會社ハ地方行政局ニ對シテ本條ニヨル暫定命令ノ準備及ヒ發行ニ關シテ該官廳ノ定ムル金額及ヒ本條ニ基キテ行ハレタル檢閲ニ關シテ該官廳ノ負擔シタル費用但シ此費用中ニハ檢察官ノ召喚シタル證人ノ費用ヲ包含ス並ニ檢察官ノ職務執行ニ對シテ日當金「ギニー」ヲ超ヘサル範圍内ニ於テ該官廳ノ定メタル金額ヲ支拂フヘキモノトス

(十) 本條ノ目的ノ爲メニ「勞働者ノ階級」ト稱スルハ職工、工匠、人足ソノ他賃金ヲ得テ勞働スル者行商人、果物類ノ擔賣子、賃金ヲ得ンカ爲メニ勞働スルニ非ラサルモ家族以外ノモノヲ使用セスシテ或職人的ノ職業若クハ手工ニ從事スル者毎週平均三十「シリング」ヲ超ヘサル收入ヲ有スル僕婢以外ノ者及ヒ此等ノ者ノ家族ニシテ此等ノモノト同居スルコトヲ得ルモノヲ謂フ

第十七條 一千八百四十五年ノ土地法トハ幾分カ相容レサル所アリト雖トモ當該會社ハ其締結シ又ハ締結スル借地契約中ニ包含セラル、土地又ハ之レニ付キテ有スル復歸權ヲ賣却シ又ハ所分スルノ義務ヲ有セス

第十八條 本法ノ規定ニ從ヒテ當該會社ハ嘗テ述ヘタル荷揚場(一)ノ地所ニ於テ又ハ右ノ地所ニ於テ嘗テ述ヘタル目的ノ爲メニ當該會社ノ設備スヘキ「市場建造物」ニ於テ當該會社ノ適當ナリト考フル日時ニ魚ヲ賣却スルカ爲メニ市場(後ニ當該「魚市場」ト稱ス)ヲ設定シ之レヲ維持スルコトヲ得

第十九條 當該會社ハ何時ニテモ時々三個月ヲ超ヘサル期間當該會社ノ適當ナリトスル方法條件及ヒ地代ヲ以テ當該魚市場ト關聯スル當該會社ノ市場建造物、權利又ハ便益物ノ凡テ若クハ其或モノヲ貸附クルコトヲ得而シテ又當該魚市場若クハ其一部ノ借地權又ハ特權ヲ與フルコトヲ得但シ當該會社ハ後ニ示セル當該自治體ノ市場工作物ノ買收ニ對シテ本法ノ定メタル期間ノ滿了シ其買收セラレサルニ至ル迄ハ當該魚市場内ニアル店舗、貨臺、小舎、停車場、廣場又ハ便益物ノ一年貸ヲナス場合ノ外本條ニヨリテ與ヘラレタル權力ヲ行使スルコトヲ得ス

第二十條 本法ニヨリテ認可セラレタル當該魚市場ノ完成シ開場シタル時以後ニ於テモ各人ハ當該會社又ハ當該自治體ノ妨碍ヲ蒙ルコトナク自由ニ現ニ存スル當該自治體ノ市場又ハ各自ノ店舗、納屋若クハ圍場若クハ貯藏所ニ於テ若シ當該魚市場ニ於テ販賣スルトセハ本法ノ規定ニヨリテ課稅若クハ市場稅ヲ課スルコトヲ得ヘキ種類ノ魚ノ小賣ヲナシ若クハ之レヲ小賣スル爲メニ陳列スルコトヲ得

第二十一條 前條ノ場合及ヒ本法ノ規定ニヨリテ認可セラレタル當該魚市場ノ完成シ開場シタル時以後ニ於ケル特許ヲ得タル行商人ノ場合ヲ除クノ外サトン港又ハ荷クモフリマウス市ニ到着スル魚ハ凡テ之レヲ競賣ニ附シ且ツ當該魚市場内ニ於テノミ販賣スルコトヲ得而シテ荷クモ販賣ノ目的ニ出ツル以上ハ其運送カ海ニヨリタル陸ニヨリタルト問ハス又船舶二輪荷馬車、荷車、大荷馬車、槽、箱若クハ其他ノモノヲ以テシタルト問フコトナシ本條ノ規定ニ背反シ若クハ之ヲ侵犯シタルモノハ凡テソノ各々ノ場合ニ於テ競賣ノ方法ニヨラス且ツ當該魚市場内ニ於テセスシテ販賣シタル魚ノ値ノ百分ノ十ヲ超ヘサル範圍内ニ於テ過料ニ處セラルヘシ但シ該市内ニ於テ卸賣又ハ小賣ヲナスノ目的ニ非ラスシテ鐵道ニヨリテ運搬スル爲メニ大西鐵道ヲ經由シテ到着シ若クハ大西船渠ニ到着シタル魚ハ本法ノ規定ニ基ク市場稅ノ賦課ヲ免カルルモノトス

第二十二條 凡ツ當該會社カ保管セラレタル平面圖并ニ名簿ニ示サレタル土地ヲ取得シタル時ハ之ト同時ニ其取得ノ當時現ニ其土地ニ關シ若クハ其土地ノ上ニ存スル凡テノ公法上ノ特權自由權及ヒ市場權(モシ有ラハ)并ニ右ノ土地ノ中ニ若クハ其上ニ若クハ其下ニ於テ存スル其他凡テノ地役權權利

又ハ特權(本法ニ於テ明カニ之レニ反スル規定ナキ)ハ本條ノ規定ニ基ク權力ノ行使ノ結果トシテ損害ヲ被リタル者ニ對シテ其賠償ヲナスニヨリテ消滅スルモノニシテ何人モ之レヲ行使スルコトヲ得サルニ至ルモノトス

第二十三條 當該會社ハ本法ノ規定ニヨリテ其取得シタル土地ニシテ當該魚市場荷揚場又ハ道路ノ目的ノ爲メニ不要ナル土地ノ上ニ當該會社ノ業務ノ爲メニ要シ若クハ其業務ニ關スル納屋貯藏所建造物小舎扛重機引上機「ステイス、ヅロツプス、ジャー」機械及ヒ其他ノ裝置及ヒ用具ヲ建設準備シテ維持使用スルコトヲ得又七ヶ年ヲ超ヘサル期間之レヲ貸與スルコトヲ得而シテ又當該會社ハ當該會社ノ業務ヲ振興シ又ハ之レヲ容易ナラシムル爲メニ企圖セラレタル納屋、小舎ソノ他ノ建造物若クハ便益物ヲ右ノ土地ニ建設スルニ付キテ資金ヲ投下シ以テ右ノ土地ヲ改良スルコトヲ約シタル箇人法若クハ組合(普通法上此種ノ借地權ヲ取得スルノ能力アル法人又ハ組合)ニ對シテ九十九年ヲ超ヘサル期間右ノ土地ニ付キテノ借地權ヲ與フルコトヲ得而シテ又當該會社ハ右ノ主旨ニ從ヒテ建設セラルヘキ場所及ヒ建造物ニ於テ執行セラルヘキ業務ノ目的ノ爲メニ要セラレ且ツ一般ノ取引ヲ妨碍セサル埠頭稅、水、空地、荷揚場稅及ヒ其他ノ地役ノ利用權并ニ當該荷揚場港及ヒ魚市場ノ利用權ヲ右ノ借地人ニ與フルコトヲ得

本條ノ規定ニ基ク權力ニヨリテ爲サルヘキ貸渡ハ「フワイン」ノ方法ニヨリテ之レヲナスコトヲ許サス只當事者カ相互ニ合意シタル例外留保年々ノ若クハ其他ノ地代若クハ代價約定條件權力及ヒ條項ニ從ヒ之レニ依リテ貸渡スコトヲ得但シ右ノ貸渡契約ニ於テ其内容ヲナセル地代(モシ有ラハ)約定并ニ條項ノ支拂履行及ヒ遵守ヲ擔保スル爲メニ借受人カ適當ナル條項ヲ定メタル時ハ此限ニアラス又右ノ貸渡契約ノ謄本若クハ複本カ之レニ署名シタル借受人ニヨリテ作成セラレ當該會社カ其交付ヲ受ケタル場合ハ此限リニアラス

第二十四條 本法ノ制定ノ時以後ハ一千八百四十七年ノ法律ニ附屬スル表B、C、D、E及ヒFニ含まレタル諸種ノ課稅負擔ハ徵收セラル、コトナシ而シテ右ノ課稅負擔ニ代ヘテ當該會社ノ徵收シ得ヘキ課稅負擔ハ本法附屬ノ表A、B、C、D、E及ヒFニ含まレタル規定ニ從フ所ノ課稅負擔ナリトス

第二十五條 本法ノ規定ニヨリテ認可セラレタル魚市場ノ完成シ開場シタル時以後ハ當該會社ハ入港ノ船舶ニヨリテ到著スル魚ニ對シテ稅ヲ賦課徵收シ又當該魚市場ノ利用ニ對シテ市場稅ヲ賦課徵收シ又本法附屬ノ表Gニ含まレタル魚市場内ノ店舗、貨臺小舎場所又ハ便益物ノ利用又ハ占有ニ對シ及ヒ之レニ關シテ市場稅ヲ賦課徵收スルコトヲ得

第二十六條 一千八百四十七年ノ法律第八十三條ハ之レヲ廢止ス

第二十七條 右ノ店舗貨臺小舎場所又ハ便益物ノ占有又ハ利用ニ關シテ支拂ハルヘキ地代又ハ市場稅ハ若シ其占有ニシテ全日ニ亘ラサル時ハ最初ノ占有者ハ日ノ部分ニ對シテ之レヲ支拂ヒ爾後ノ占有者カ同日ノ爾後ノ部分ニ對シテ之レヲ支拂フヘキモノトス

第二十八條 當該會社ハ港ニ輸入セラレ又ハ陸上セラレ又ハ港内ニ置カレ又ハ港ヨリ積出シ又ハ輸出セラレヘキ貨物ノ倉預リニ對シ及ヒ之レニ關シ并ニ樽詰ヲナシ見本ヲ作り塗料ヲ施シ記號ヲ附スルコト及ヒ其他ノ作業ニ對シ及ヒ之レニ關シ并ニ右ノ貨物ニ關シテ供給セラレヘキ材料ニ對シ及ヒ之レニ關シ并ニ生キタル家畜ニ給スル秣ニ對シテ右ノ貨物ノ所有者若クハ荷受人ト當該會社トノ間ニ時々協定セラレ、負擔ヲ賦課徵收スルコトヲ得

第二十九條 本法及ヒ本法附屬ノ表ニ於テ指定セラレ、地代、課税、市場税及ヒ負擔ハ一千八百四十七年ノ法律ニヨリテ認メラレタル課税ノ場合ニ於ケルカ如ク當該會社ノ收入役ニ之レヲ支拂フヘク面シテ當該收入役ニヨリテ之レヲ賦課徵收スルコトヲ得

第三十條 當該荷揚場及ヒ道路ノ表面ハ當該會社カ之レヲ完成シタル場合ニ於テハ當該會社ト當該都會ノ衛生區ノ當局者トノ間ニ別段ノ協定アル場合ノ外常ニ當該會社カ之レヲ修理シ之レヲ維持スルモノトス而シテ本法ノ認可ニヨリテ設立セラレタル當該魚市場ノ目的又ハ其他ノ目的ノ爲メニ又ハ其目的ニ關シテ右ノ荷揚場又ハ道路若クハ其ノ部分ノ表面ヲ利用スル公衆ハ常ニ當該會社ノ優先權ニ服従スルコトヲ要ス

第三十一條 當該會社ハ通商管理局ノ同意書ニヨリ航海ノ利益ノ關スル限度ニ於テ干潮ノ際當該荷揚場及ヒ魚市場ニ水ヲ通セシムル爲メニ必要ニシテ且便宜ナルヘキサトン港及ヒ入港路ノ凡テノ部分ヲ適法ニ浚深掘下ケヲナスコトヲ得而シテ又右ノ目的ノ爲メニ必要ニシテ且便宜ナルヘキ隣接地ノ

部分ヲ合意ニヨリテ當該會社カ浚深スルコトモ亦適法ナリ但シカツテウヲター港委員會ノ管轄ノ下ニアル港灣ニ於テスル時ハ該委員會ノ満足スル迄ハ浚深掘下ヲナシ之レヲ遂行シ且ツ常ニ之レヲ繼續スルコトヲ要ス

第三十二條 本法ノ規定ニ從ヒテ當該會社ハ時々其浚深シタル土壤及ヒ物質ヲ當該會社ノ企業ト關聯スル工作物ニ利用シ并ニ其用途ニ充テ若クハ其他ノ方法ヲ以テ之レヲ處分スルコトヲ得

第三十三條 一千八百六十三年ノコロンウヲール公領管理法ノ諸規定ハソノ本法ノ目的ニ適用シ得ヘキ限度ニ於テ本法ト合一スルモノトス而シテコロンウヲール公ウエールズ親王アルバートエドワード殿下又ハ現ニコロンウヲール公領ヲ取得スルノ權アル其他ノ者ト(本法ニ於テハ此等ノ者ヲ指示スルニ夫々コロンウヲール公ナル語ヲ以テス)當該會社トハ右ノ法律ノ規定及ヒ一千八百七十六年ノサトン港(コロンウヲール公領)法ノ規定ニ基キテ一千八百七十八年十二月二十四日附ノ右ノ借地契約中ニ現ニ包含セラレ、水底及ヒ建造物ニ付キテコロンウヲール公ノ有スル「フキーシンブル、リバーシヨン」并ニ其他ノ「エステイト」及ヒ利益ノ賣買ヲ前ニ示シタル條件ニ於テ實行完結スルコトヲ得而シテ又前ニ示シタルサトン道路ニ界接スル隣地ノ賣買ヲ該當事者間ニ協定セラレ、金額ヲ以テ實行完結スルコトヲ得但シ右ノ賣買ハ本法ノ制定ノ時ヨリ六ヶ月以内ニ之レヲ完結スヘク其完結迄ハ當該會社ハ右ノ借地契約ニヨリテ留保セラレタル地代ノ支拂ヲ繼續スヘキモノトス

第三十四條 當該會社ハ前ニ述タル法律ニ基キ株式若クハ借入ニヨリテ調達スルコトヲ認メラレタル

金額并ニ之レヲ調達スルコトヲ認メラレタル理由タル特殊ノ目的(モシ有ラハ)ノ爲メニ要セラレサル金額ヲ本法ノ目的ノ爲メニ充當スルコトヲ得

第三十五條 當該會社ハ一千八百六十三年ノ會社法第二編ノ規定ニ基キテ其選擇ニ於テ新普通株又ハ新優先株ノ發行ニヨリ若クハ全部又ハ一部夫々右ノ株ノ發行ニヨリテ金額ニ於テ二萬七千「ポンド」ヲ超ヘサル追加資本ノ調達ヲナスコトヲ得但シ當該會社ハ「十」ポンド「未滿ノ名義額ノ株式ヲ發行シ又ハ引受ケラレタル株式ノ全額ノ五分ノ一ヲ下ラサル金額ノ拂込アルニ非ラサレハ其引受人タル箇人又ハ法人ニ株式ヲ與フルコトヲ得ス

第三十六條 本法ニ於テ別段ノ規定アル場合ノ外本法ニ基キテ當該會社ノ作成シタル新株式ニヨル資本及ヒ其資本ノ新株式及ヒ其新株主ハ夫々宛カモ其資本ハ會社ノ現存ノ同種同級ノ資本ノ一部タルカ如ク其新株式ハ右ノ資本ノ株主タルカ如ク全然同一ノ權力條件責任權利特種及ヒ附隨的ノ事項ニ付キテ權利ヲ有シ義務ヲ負フモノトス

新株式ニヨル資本ハ當該會社ノ資本ノ一部ヲ構成スルモノトス

第三十七條 新株主トナリタル者ハ其故ヲ以テ當該會社ノ株主トナル而シテ他ノ同種同級ノ株主ト共ニ其新株式ニ付キテ時々拂込マレタル全額又ハ其場合々々ノ株式ノ全額ニ比例シテ配當ヲ享クルノ權スヲ有ス

第三十八條 其作成ノ決議ニヨリテ明カニ定メラレタル場合ノ外何人モ優先的配當ノ與ヘラルヘキ新

株式タルノ點ニ於テ投票權ヲ得ルコトナシ

第三十九條 當該會社ニ對シテ新株式ニヨリテ資本ヲ調達スルコトヲ認メタル既定ノ法律ノ規定及ヒ本法ノ規定ニ從ヒテ當該會社ハ其見込ニヨリテ同一級ノ新株式ヲ作成發行シ以テ右ノ既定ノ法律及ヒ本法ニ基キテ夫々新株式ノ作成發行ニヨリテソノ調達スルコトヲ認メラレタル資本總額ノ全部又ハ一部ヲ調達スルコトヲ得

第四十條 當該會社ハ本法ニヨリテ時々其調達スルコトヲ認メラレタル二萬七千「ポンド」ノ追加資本ニ關シテ九千「ポンド」ヲ超ヘサル金額ヲ其企業ヲ擔保トシテ借入ル、コトヲ得而シテ又當該會社ハ九千「ポンド」(右ノ二萬七千「ポンド」ノ部分タル)ノ内ニ屬スル各々ノ金額ニ關シテ三千「ポンド」ニ付キテノ比例額ヲ借入ル、コトヲ得但シ右ノ比例額ハ右ノ追加資本ノ内毎ニ株式ニヨリテ調達スルコトヲ要スル資本ニ對スル株式ノ發行セラレ引受ラレ且ツ其資本ノ二分ノ一ノ拂込アリタル上尙當該會社カ一千八百四十五年ノ會社法第四十條ニ基キテ證明ヲ與フルノ職務ヲ有スル裁判官カ其證明ヲ與フル前ニ右ノ資本ノ全部ニ對スル株式ノ發行セラレ引受ケラレ及ヒ其資本ノ二分ノ一ノ拂込アリタルコト并ニ右ノ資本ニ屬スル各別ノ株式ノ金額ノ五分ノ一ヲ下ラサル金額カ其發行又ハ引受ノ時以前ニ又ハソノ時ニ於テソノ爲メニ拂込マレタル旨ヲ右ノ裁判官ニ對シテ證明スルニ至ル迄之レヲ借入ル、コトヲ得ス且又右ノ比例額ハ右ノ追加資本ノ内株式ニヨリテ調達スルコトヲ要スルモノ、二分ノ一ニ對スル株式カ全額ノ拂込ヲ終ハリタル上尙會社カ右ノ裁判官カ其證明ヲ與

フル前ニ云々ノ株式ノ發行セラレ引受ケラレ且ツ右ニ述ヘタル限度ニ達スル迄善意ニ拂込マレ且ツ其發行ヲ受ケタル箇人又ハ法人又ハ其遺言執行者法定ノ遺產處理人相續人又ハ讓受人カ現ニ之レヲ所持セルコト及ヒ右ノ追加資本ノ限度迄株式ニヨリテ調達セルコト及ヒ右ノ箇人又ハ法人又ハ其遺言執行者法定ノ遺產處理人相續人又ハ讓受人カ之レニ對シテ法律上ソノ責ニ任スルコトヲ右ノ裁判官ニ對シテ證明スルニ至ル迄之レヲ借入ル、コトヲ得ス而シテ當該會社ノ帳簿及ヒ其他右ノ裁判官ノ見込ニヨル證據ヲ右ノ裁判官ニ呈出スル時ハ右ノ裁判官ハ前述ノ證明アリタル旨ノ證明書ヲ授與スルモノトス而シテ該證明書ハ該證明ノ充分ナル證據トナルモノトス

第四十一條 當該會社ハサトンノ水底及ヒ沼水ニ於テ**コルンウラル**公ノ有スル**フ井ーシンブル**、**リバーシヨン**及ヒ其他ノ凡テノ「エステイト」及ヒ利益ノ買收并ニ之レニ附隨スル凡テノ費用ニ充ツル爲メニ且ツ其他ノ目的ノ爲メニハ一切之レヲ充テサル爲メニ本法ニヨリテ當該會社カ其借入ヲ認メラレタル他ノ凡テノ金額以外ニ當該會社ハ其企業ヲ擔保トナシ**サトン**港地代償還株式ヲ作成發行シ以テ四萬「ポンド」ヲ超ヘサル金額ノ借入ヲナスコトヲ得右ノ**サトン**港地代償還株式又ハ時々當該會社ノ作成發行スル其部分タル株式ハ當該會社ニヨリテ既ニ附與セラレ若クハ發行セラレ又ハ之レニヨリテ附與若クハ發行セラレヘキ凡テノ抵當捺印證書株式又ハ其他ノ擔保ヨリ優先ノ地位ニアルモノトス而シテ右ノ抵當、捺印、證書株式又ハ其他ノ擔保ノ日附若クハ之レヲ認可シタル法律ノ日附ノ如何ヲ問フコトナシ

コルンウラル公領ヨリスル右ノ買收ニ關シ且ツ**サトン**港地代償還株式所持人ニ屬スル附加擔保トスル爲メニ此レ迄當該會社カ右ノ買收シタル土地ニ付キテ右ノ公領ニ支拂ヒタル地代ト等シキ年額ハ當該會社カ依テ以テ**サトン**港地代償還株式ヲ附與シ發行シ及ヒ其金額ヲ借入レタル擔保ノ中ニ之レヲ包含スルモノト看做ス

第四十二條 當該會社ハ一千八百六十三年ノ會社法第三編ノ規定ニ從ヒテ社債ヲ作成發行スルコトヲ得(右ノ法律カ本法ノ規定及ヒ一千八百四十七年ノ法律ニ基キテ當該會社ニ對シテ抵當付債權ヲ有スル者ノ同意ト抵觸セサル限度ニ於テ)但シ右ノ法律ノ規定ノ如何ニ拘ラス苟クモ本法ノ制定以後ニ於テ當該會社ノ作成發行シタル凡テノ社債ノ利息ハ苟クモ本法ノ制定以後ニ於テ當該會社ノ承認シタル凡テノ抵當ニ關スル利息ト同級ニ列スルモノトス而シテ右ノ抵當ニヨリテ擔保セラレタル元金ヨリ優先ノ地位ニアルモノトス而シテ本規定ノ效果并ニ本法ニヨリテ**サトン**港地代償還株式ニ對シテ附與セラレタル優先權ノ注意ハ凡テノ抵當契約書及ヒ社債券ニ之レヲ裏書スルコトヲ要ス

第四十三條 當該會社ニ對シテ抵當權ヲ有スル者ノ申立ニヨル管財人ノ指定ノ爲メニ當該會社ニ關スル從前ノ法律ノ規定ハ本法ニヨリテ之レヲ廢止ス但シ既ニナサレタル指定又ハ現ニ繫屬中ニアル訴訟ヲ害スルコトナシ

第四十四條 當該會社ニ對シテ抵當權ヲ有スル者ハ管財人ノ指定ニヨリテ其抵當權ニ基ク利息又ハ元金又ハ元金及ヒ利息ノ遲滯金ノ支拂ヲ強制スルコトヲ得元金ノ遲滯金ニ關シテ管財人ノ指定ヲ認可

スルニハ其指定ノ申立人タル抵當權者ニ對シテ負擔スル金額カ全額ニ於テ五千「ポンド」ヲ下ラサルコトヲ要ス

第四十五條 本法ノ制定以前ニ於ケル法律ニ基ク權力ニ從ヒテ當該會社ノ與ヘタル抵當及ヒ捺印證書ニシテ本法制定ノ當時ニ於テ現存スルモノハ其繼續スル期間凡テサトン港地代償還株式ニ關スル前掲ノ規定ニ從フモノトス而シテ依テ以テ其與ヘラレタル法律ノ規定ニ從ヒテ本法ニ基キテ與ヘラレタル抵當ヨリ優先ノ地位ニアルモノトス但シ本條ノ規定ハ當該會社ノ作成發行シタル社債ノ優先權ニ何等ノ影響ヲ及ホスモノニアラス

第四十六條 本法ニ基キテ借入ラレタル凡テノ資金ハ其出金ノ時ヨリ又之レニ基ク利息ハ其現在ノ額ニ對シテサトン港地代償還株式ニ關スル前掲ノ規定ニ從ヒテ當該會社及ヒ時々當該會社ノ有スル總財產ニ對シテ本法ノ制定以後當該會社ノ負擔シタル債務若クハ其ナシタル約定ニ基ク凡テノ他ノ請求ヨリ優先ノ地位ニアルモノトス但シ本條ノ規定ハ本法ノ目的ノ爲メニ當該會社ノ取得シタル土地ニ關スル請求又ハ本法ニヨリテ認メラレタル工作物ノ建設若クハ當該會社ニ附與セラレタル權力ノ行使ニヨリテ損害ヲ被リタル土地ニ關スル請求ニ影響ヲ及ホスコトナシ

第四十七條 本法ニ基キ株式社債又ハ借入ニヨリテ得ラレタル凡テノ資金ハ本法ノ目的ニシテ資本ノ適當ナル充當タルヘキモノニ對シテノミ之レヲ充當スルコトヲ要ス

第四十八條 一千八百四十七年ノ港灣、船渠及棧橋法ニヨリ又ハ當該會社ニ關スル其他ノ法律ニヨリ

テ附與セラレタル權力ノ行使ニ於テ當該會社ノ港務長ハ出港シ入港シ又ハ碇泊シ若クハ港ノ荷揚場上陸場又ハ其他ノ工作物及ヒ便益物又ハ此等ノ或モノヲ使用スル漁船及ヒ其他ノ船舶及ヒ其船員ノ適當ナル管理上并ニ魚、廢肉、灰、廢物又ハ有害若クハ有毒ナル廢物ノ港ニ投入セラル、コト或ハ取締規則ニ違反シテ港ノ工作物ノ何レカノ部分ニ堆積セラル、コトノ防遏上必要又ハ有益ナル凡テノ權力ヲ行使スルコトヲ得

第四十九條 當該會社カ取締規則ヲ制定スルコトヲ認ムル所ノ他ノ法令ニ規定スル取締規則制定ノ權以外ニ尙當該會社ハ次ノ目的ノ全部又ハ一部ニ對シテ其適當ナリトスル取締規則ヲ時々制定スルコトヲ得

- 一、後條ニ規定スル下水設備ノ建設後前條ノ規定ヲ執行スルタメ
- 二、當該魚市場及ヒ其設立維持セラル、場所タル當該荷揚場及ヒ其入場路ヲ支配管理スルタメ
- 三、當該荷揚場又ハ道路ニ於テ若クハ之レヲ通過シテ并ニ當該魚市場ニ及ヒ當該魚市場ヨリ并ニ夫々直接ニ當該魚市場ニ通シ若クハ之レト關聯スル街路、道路、入場路、荷揚場、埠頭及ヒ上陸場ニ若クハ之レヨリ魚ノ陸上ケヲナシ積込ヲナシ及ヒ其運送ヲナスコトヲ管理スルタメ
- 四、當該魚市場并ニ直接ニ之レニ隣接シ若クハ之レニ通スル荷揚場、街路、及ヒ廣場ヲ往來スル者ノ行動ヲ管理スルタメ

五、本法ニヨル權力ニ基キテ特許ヲ與フルコトニ付キテノ條件及ヒ其授與ニ對シテ支拂ハルヘキ料

金ノ納付ヲ管理スルコト

- 六、本法ノ規定ニ背反シタル方法、時又ハ場所ニ於テ魚ヲ販買スルコトヲ禁スルタメ
- 七、當該魚市場ニ於テ魚ヲ販買スル競賣人ニ對シテ其販賣シタル魚ノ分量及ヒ之レニ對シテ得タル價格ニ付キテノ報告ヲ當該會社ニ對シテナスコトヲ要求スルタメ
- 八、人類ノ食用トシテハ疾病ニ罹レルモノ不健全ナルモノ健康ニ宜シカラサルモノ又ハ不適當ナルモノト認メラルヘキ魚ヲ當該魚市場ニ於テ販賣シ若クハ之レヲ販賣ノ爲メニ陳列スルコトヲ禁止スルタメ但シ斯ノ取締規則ハ一千八百七十五年ノ公衆保健法ニ基キテ衛生事務ヲ管掌スル當局者ニヨリテ與ヘラレタル權力以外ニ屬スルモノニシテ之レニ代ハルモノニ非ラス
- 九、當該會社ニ對シテ負擔サレ支拂ハルヘキ地代市場稅及ヒ課稅ヲ支拂フヘキ場所及ヒ其時并ニ方法ヲ管理スルタメ
- 十、本法ノ規定ニ基ク當該會社ノ權利ヲ侵害シ又ハ之ヲ逃避スルコトヲ防止スルタメ

斯ノ取締規則ハ當該會社又ハ其役員若クハ使用人ニノミ關スルモノ、外一千八百四十七年ノ市場法(第四十四條ヲ除ク)ノ取締規則ニ關スル規定又ハ事情ニ從ヒ一千八百四十七年ノ港灣船渠及棧橋法(第八十五條ヲ除ク)ノ取締規則ニ關スル規定ニ從フモノトス但シ斯ノ取締規則ハ通商管理局ノ確認ヲ得ルニ非ラサレハ効力ヲ有セス

取締規則ヲ侵犯スル者ハ各々ノ侵犯ニ對シテ五「ポンド」以内ノ過料ニ處ス而シテ其侵犯ニ對スル有

罪ノ裁判アリタル後猶ソノ侵犯ヲ繼續スル時ハ各日ニ對シテ二十「シリング」以内ノ日々ノ過料ニ處ス而シテ又右ノ過料ハ侵犯ノ結果タル損失毀損又ハ毀害ニ對シテ要償シ得ヘキ損害賠償以外ニ屬スルモノトス

該侵犯ニ對シテ斯ノ取締規則ニヨリテ課セラル、過料ハ當該會社又ハ同人若クハ會社カ右ノ侵害ノ結果トシテ自己又ハ自己ノ財産ニ付キテ被リタル損失又ハ毀害ニ對シテ要償シ得ヘキ損害賠償ノ外ニ屬スルモノトス

第五十條 貨物ノ讓渡ノ爲メニ當該會社ニヨリテ預證券及ヒ讓渡證券ノ發行セラル、ニハ當該會社ハ

左ノ規定ニ從フコトヲ要ス(即チ)

- (一)、特ニ寄託ノ爲メニ充テラレタル當該會社ノ倉庫中ニ又ハ其荷揚場若クハ小舎ノ上若クハ中ニ貨物ヲ寄託シタル者又ハ其寄託セラレタル貨物ニ付キテ權利ヲ得タル者ノ請求アリタル場合ニ於テ當該會社カ之レヲ適當ナリトスル時ハ當該會社ハ當該會社カ其寄託セラレタル貨物ヲ承認スルノ形式ニ於テノ預證券又ハ當該會社カ其寄託セラレタル貨物若クハ讓渡證券ニ特定セラル、其一部分ノ讓渡ヲ承認スルノ形式ニ於テノ讓渡證券ヲ其請求者ニ對シテ時々發行交付スルコトヲ得
- (二)、斯ノ讓渡ノ爲メニスル讓渡證券ハ其貨物カ船舶内ニアリタル時及ヒ寄託前ニ於テ負擔シタル運賃ニ對スル凡テノ留置權及ヒ請求權及ヒ其他凡テノ留置權又ハ請求權ニシテ當該會社カ書面ニヨリテ其通知ヲ受ケタルモノ並ニ其貨物ノ寄託ニ關シ又ハ之レニ關シテ當該會社ノナシタル勞務ニ

對シテ當該會社ニ支拂ハルヘキ凡テノ課稅地代負擔及ヒ費用カ該讓渡證券ニ示サレタル日附迄ニ支拂ハレ若クハ免除セラル、ニ非ラサレハ之レヲ附與スルコトヲ得ス

(三)、預證券ニ於テ指示セラレタル貨物ノ全部又ハ一部ノ讓渡ノ爲メニスル讓渡證券カ尙該會社ニヨリテ發行セラル、ニ先タチテ該預證券ハ其抹殺セラル、爲メニ之レヲ當該會社ニ交付セラル、コトヲ要ス

但シ該讓渡證券ニシテ單ニ該貨物ノ一部分ノ讓渡ノ目的ニ出ツルモノナルトキハ當該會社ハ該預證券ヲ交付シタル者ニ對シテ該讓渡證券ニ指定セラレサル貨物ニ關シテ新ナル預證券ヲ發行スヘキモノトス

(四)、斯ノ預證券又ハ讓渡ノ爲メニスル讓渡證券ハ之レニ指定シタル貨物ニ付キテノ權利證書ト看做ス而シテ裏書ニ依リテ之レヲ讓渡スルコトヲ得而シテ又斯ノ預證券又ハ讓渡證券ノ所持人ハ其之レニ記名セラレタルモノナルトソノ被裏書人ナルトヲ問ハス宛カモ該貨物カ自己ノ倉庫中ニ在ルカ如ク該貨物ニ付キテノ占有權及ヒ財產權ト同一ノ權利ヲ有スルモノトス

(五)、斯ノ預證券又ハ讓渡證券ニハ其表面ニ前項ノ效果並ニ該預證券又ハ讓渡證券カ本法ニヨリテ與ヘラレタル權力ニ基キテ發行セラレタル旨ヲ記載スヘシ

(六)、當該會社ハ斯ノ預證券又ハ讓渡證券ノ各通ニ對シテ「シリング」以内ノ金額ヲ賦課スルコトヲ得

第五十一條

(一) 本法ノ規定ニ從ヒテ當該自治體ハ後ニ掲クル約因ニヨリ及ヒ後ニクル條件及ビ規定ニ於テ及ヒ從ヒテ本法ニヨリテ認可セラレタル工作物ノ地所ヲ構成スルモノトシテ保管セラレタル平面圖ニ示サレタル土地(之レニ付キテ第三者ノ有スル凡テノ權利及ヒ地役權ニ從ヒテ)并ニ其土地ノ上ニ、若クハ之レト關聯シテ市場ノ目的ノ爲メニ當該會社ノ建設シタル市場建造物、荷揚場及ヒ其他ノ工作物(後ニ所謂「市場工作物」ニ於テ當該會社ノ有スル凡テノ「エステイト」及ヒ利益ヲ買收スルノ選擇權ヲ有ス

(二)、斯ノ選擇權ハ市場建造物ノ完成シ且ツ之レヲ公衆ノ利用ノ爲メニ開キタル後十二ヶ月ヲ經過シタル時ヨリ起算シテ四ヶ年内ノ或時ニ於テ、之レヲ行使スヘキ當該自治體ノ意思ヲ表示スル三ヶ月ノ猶豫期限付通知書ヲ當該會社ニ對シテ當該自治體ノ與フルコトニ依リテ之レヲ行使スルコトヲ得、又當該會社ニシテ若シ本法ノ制定ノ時ヨリ五ヶ年内ニ市場建造物ヲ完成シ且ツ之レヲ公衆ノ利用ノ爲メニ開カサル時ハ當該自治體ハ該期間ノ滿了後何時ニテモ右ノ土地及ヒ當該會社ニ對シテ三ヶ月ノ猶豫期限付通知書ヲ與ヘハ完成セラルヘキ程度ノ右ノ市場工作物ニ於テ當該會社ノ有スル凡テノ「エステイト」及ヒ利益ヲ買收スルコトヲ得

(三)、右ノ買收ニ對スル約因ハ當該會社ニ對シテ當該自治體ノナス左ノ金額ノ支拂ナリトス

(A) 當該自治體カ其買收ノ撰擇ノ通知ヲナシタル當時ニ於テ若シ當該會社カ右ノ土地ノ「フキーシムブル」ヲ有シタル時ハ之レニ關スル金四千「ポンド」并ニ當該自治體ニ引渡サルヘキ當該會社ノ建

ニカ、ルサウスサイドキーノ現在ノ範圍ヲナセル土地ノ「フリーホールド」ニ對スル同一割合ニ於テノ比例増額并ニ當該會社ニ引渡サルヘキ當該自治體ノ財産タルバレード、キー（荷揚場）ノ部分ニ對スル同一割合ニ於テノ比例減額但シ當該自治體カ右ニ述タルカ如キ通知ヲナシタル當時ニ於テ若シ當該會社カ右ノ土地ノ「フリーシムブル」ヲ有セサル時ハ當該自治體カ當該會社ニ對シテナスヘキ支拂ハ其ノ土地ニ於テ當該會社ノ有スル「エステイト」及利益ノ價值ヲ代表スル程度ノ小額ニ減セラル、モノトス而シテ此代表價額ニ付キテ爭アル場合ニ於テハ此ノ價額ハ當事者ノ指名スル第三者又若シ當事者間ノ協定ナラサル時ハ通商管理局ノ指名スル第三者之レヲ決定ス

(B) 市場建造物其ノ他本法ニヨリテ認可セラレタル市場ノ目的ノ爲メノ工作物ノ建設ニ付キ、并ニ當該會社爲メニ之レヲ障礙スルコトヲ必要トスヘキ凡テノ權利及ヒ地役權ノ取得若クハ之レニ對スル賠償ニ付キテ當該會社ノ現實ニ費消シタル額ト同金額及ヒ右ノ費消金額ニ對スル利息トシテ當該會社ノ支拂ヒ若クハ支拂フヘキ額ト同金額

(C) 當該魚市場ノ建設ニ付キテ當該自治體ノ買收ノ完結ノ日迄當該會社ノ被ルコトアルヘキ損失（若シ有ラハ）ノ額ト同金額

(四) 當該會社ハ本法ニヨリテ認可セラレタル市場工作物ノ完成ノ爲メニ時々要スル程度ノ資金ノミヲ時々借入レ、可及的利息トシテ支拂ハルヘキ金額ノ極小ナランコトヲ期スヘシ

第五十二條 當該自治體カ本法ニヨリテ與ヘラレタル買收ノ選擇權ヲ行使シタル時ハ左ノ效果ヲ生ス

ルモノトス

(一) 本法ニヨリテ當該會社ニ與ヘラレタル、當該魚市場又ハ前ニ述ヘタル市場ニ關スル其ノ他ノモノノ維持上及ヒ管理上并ニ之レニ附隨シタル凡テノ權利權利及ヒ義務ハ買收ノ完結以後ニ於テハ本法上當該自治體ニ移轉シ當該自治體ニヨリテ執行セラレ得ヘキモノトス

(二) サウスサイド、キー及ヒバレード、キーニ關シテ當該自治體ニ對シテ、當該會社ノ支拂フヘキ地代ハ宛カモ本法ニヨリテ認可セラレタル「市場工作物」ノ眞ノ始メヨリ終止スルカ如ク之レヲ支拂フコトヲ要セス而シテ右ノ荷揚場ニ付キテノ借地權ハ、當該會社ヨリ當該自治體ニ讓渡スヘキモノトス

(三) 本法ニヨリテ認可セラレタル「市場荷揚場」及ヒ新道路ハ、當該魚市場ノ目的又ハ之レト關係アル場合ノ外當該自治體其ノ他何人モ之レヲ他ノ目的ノ爲メニ利用スルコトヲ得ス但シ當該自治體カ其法律上ノ義務（都市自治體トシテナルト衛生當局者トシテナルト又ハ其他ノ資格ニ於テナルトヲ問ハス）ノ履行ノ爲メニ使用セントスル貨物若クハ物品ハ若シ之レヲ當該會社ノ他ノ荷揚場ニ於テ陸上セハ支拂ハサルヘカラサル課税又ハ市場税ヲ當該會社ニ支拂ヒテ、右ノ荷揚場及ヒ道路ニ陸上ケスルコトヲ得、又當該自治體ハ時々其適當ト認ムル右ノ荷揚場ノ部分的若クハ一時的ノ使用ヲ時々當該會社ニ許容スルコトヲ得

(四) 當該自治體ハ本法ノ助長又ハ取得ニ於テ若クハ之レニ關シテ當該會社ノ被リタル負擔及ヒ費用ノ

三分ノ二ヲ支拂フヘシ、而シテ右ノ負擔及ヒ費用ノ總額ニ付キテ争アル場合ニ於テハ、當事者ノ指名スル第三者、若シ當事者間ニ協定ナラサル時ハ當事者ノ一方ノ申請ニ基キ通商管理局ノ指名シタル第三者之レヲ究竟的ニ決定ス而シテ又之レニ關スル費用(モシ有ラハ)ハ前ニ述ヘタル負擔及ヒ費用ノ一部トシテ之レニ附加セラル、モノトス

(五) 買收ノ完結以後

(A) 當該會社ハ本法ニ附屬スルG表ニヨリテ命セラル、一「ペンニー」ノ港稅ヲ引續キテ徵收スルコトヲ得而シテ之レヲ其徵收シ得ヘキ他ノ課稅及ヒ市場稅ト類似ノ目的ニ充當スルコトヲ得

(B) G表ニヨリテ命セラル、二「ペンス」ノ市場稅ハ當該自治體ニ對シテ支拂ハルヘシ而シテ當該自治體ハ之レヲ其管掌スル當該魚市場ノ維持并ニ改良及ヒ當該魚市場ノ目的ノ爲メニ其借入レタル資金ノ利息ノ支拂ヒ及ヒ其資金ノ償還ノ爲メニ充當スヘシ而シテ又之レヲ其歲入ノ項目中ニ加フルモノトス

第五十三條 本法ノ規定ニ拘ラス當該自治體ハ買收ノ爲メニ必要ナル資金ノ借入及ヒ支出ヲ認可スル帝國議會ノ權力ヲ得ルニ非ラサレハ「魚市場等ノ買收ニ付テ自治體ノ有スル選擇權」ナル邊註アル本法ノ條ニヨリテ與ヘラレタル買收權ヲ行使スルコトヲ得ス

第五十四條 當該會社ハ「市場荷揚場」ニ來リ又ハ之レヨリ去ル漁船ニ對シテ常ニ其入港出港及ヒ港内碇泊ノ爲メノ凡テノ正當ナル便益ヲ供スルコトヲ得

第五十五條 當該自治體カ市場ヲ買收シタル後ニ於テモ當該會社ノ役員ハ晝夜ヲ論セス常ニ港ノ取引ヲ管理スル爲メニ當該魚市場及ヒ其入場路ヲ自由ニ通行スルコトヲ得

第五十六條 當該自治體カ後ニ掲クル下水槽及ヒ之レヲ組織ノ一部トスル排水組織ノ完成ノ爲メニ必要ナル附加的ノ下水設備ノ費用ヲ支辨スルカ爲メニ要スル資金ノ調達ニ付キテ地方行政局ノ同意并ニ右ノ下水槽及ヒ下水設備ノ爲メニ若クハ之レニ關シテ必要ナルヘキ其他ノ同意ヲ得ル迄、當該會社ハ市場建造物及ヒ工作物ノ建造ヲ始ムルコトヲ延期スヘシ、而シテ當該自治體ハ凡テ右ノ同意ニ對シテ懈怠ナク其申請ヲナスヘシ而シテ又若シ當該自治體カ右ノ同意ヲ得タル後三ヶ月以内ニ書面ニヨリテ之レヲ通知スル時ハ當該會社ハ斯ノ通知ノ受領後二ヶ年以内ニ當該自治體ノ要求スル容積ノ下水槽及ヒ當該市ノ檢閱官ニ提出シテ其承認ヲ得タル平面圖及ヒ明細書ニ從ヒテ凡テノ必要ニシテ適當ナル附加的ノ設備ヲ右ノ市場工作物ト共ニ建設スヘシ而シテ當該會社ハ全然當該市檢閱官ノ満足スル迄之レヲ完成スルコトヲ要ス而シテ當該自治體ハ其ノ完成後六ヶ月内ニ本條ノ規定ノ執行ニ於テ當該會社ノ費消シタル金額并ニ年百分ノ四ノ割合ニ於テ右ノ工事ノ完成ヨリ支拂ニ至ル迄ノ該金額ノ利息ヲ當該會社ニ辨償スヘシ而シテ又右ノ下水槽ノ完成以後當該自治體ハ之レニ對シテ排他的ノ使用權ヲ有シ、且ツ前掲ノ附加的ノ下水設備ヲ之レト聯結スル爲メ及ヒ右ノ槽及ヒ設備并ニ其使用ニ關スル凡テノ便益ノ維持ノ爲メニ右ノ槽ヲ適當ニ且ツ必要ナル範圍内ニ於テ増大スルコトヲ得而シテ又一千八百七十五年ノ公衆保健法ニ基キテ資金ノ借入ヲナスヘキ當該自治

體ノ權力ハ本條ノ目的カ宛カモ其法律ノ目的ナルカ如ク之レヲ有效トス

第五十七條 當該自治體ハ下水槽ノ完成後二ケ年以内ニ港ニ汚物ヲ流出スル凡テノ暗溝及ヒ溝ノ口ヲ閉塞シ且ツ凡テノ暗溝若クハ溝ヨリ固體又ハ液體ノ汚物ノ港ニ流出スルコトヲ有效ニ防止スルニ足ル方法ヲ採ルヘシ但シ當該自治體ハ附近ニアル、其現在又ハ將來ノ暗溝ニ自然的ノ重力ニヨリテ搬出スル此ノ不可能ナル汚物ヲ港ヨリ他ニ轉スルノ義務ナシ又當該自治體ハ之レヲ他ニ轉スルニハ其所有者ノ内意ヲ必要トスル一千八百七十五年ノ公衆保健法ニ於テ指定スルカ如キ溝ヲ其所有者ノ内意ヲ俟タスシテ他ニ轉スルコトヲ本條ニヨリテ要求セラル、モノニ非ラス

第五十八條 本法ノ制定後三ケ年以内ニ、當該會社ハ當該會社ノ代表者トーマス、ウナルフワースタン及ヒ當該自治體ノ代表者ジョーンウラルターウ井ルソノ署名シタルAト記號セル設計書ニ示セル範圍及方法ニ於テサトン沼并ニ其入沼路ヲ浚渫スヘシ而シテ若シ當該自治體カ本法ニヨリテ與ヘラレタル買收權ヲ行使スル時ハ當該自治體ハ右ノ工事ノ完成後六ヶ月以内ニ本條ノ規定ノ執行ニ於テ當該會社ノ費消シタル金額并ニ其完成ノ日ヨリ年百「ポンド」ニ對シテ四「ポンド」ノ利息ヲ當該會社ニ支拂フヘシ但シ本條ニヨリテ課セラレタル義務カ通商管理局及ヒ其同意ヲ必要トスル其他ノ當局者ノ必要ノ同意アル時ニ於テノミ其效力ヲ生スヘキ場合ハ此限ニ非ラス然レトモ當該會社ハ本法ノ制定後可及的速ニ右ノ同意ヲ得ルコトニ其全力ヲ盡スヘシ

サトン沼ノ右ノ浚渫ノ完成後何時ニテモ及ヒ時々當該會社ハ當該自治體ノ請求ニ應シ當該自治體ノ費用ニ於テ右ノ設計書ニ示サレタルサトン沼ノ部分及ヒ入沼路ヲ右ノ設計書ニ示サレタル深サヲ維持スル如ク浚渫スヘシ

第五十九條 當該會社ハ其ノ本法其ノ他ノ法律ニヨリテ調達ノ認可ヲ得タル株式資本若クハ債券資本ノ中ヨリ全部未拂込株式ニ關シテ爲サレタル拂込ノ請求額ニ付キテ利息又ハ配當ヲ其ノ株主ニ對シテ爲スコトヲ得ス但シ右ノ株主カ實際ナサレタル拂込ノ請求額以上ニ拂込ミタル金額ニ付キテ一千八百四十五年ノ會社法ニ適合スル利息ヲ之レニ對シテ支拂フコトハ當該會社ニ對シテ本法ノ禁止スル所ニアラス

第六十條 當該會社ハ本法ニヨリテ調達ノ認可ヲ得タル凡テノ資金中ヨリ或他ノ工作物又ハ企業ノ建設又ハ實行ノ爲メニ當該會社ニ認可ヲ與フル法律ヲ得ンカ爲メニ帝國議會ニ申請スルニ付キテ供託スルコトヲ、現在又ハ將來拘束力ヲ有スル帝國議會ノ各院ノ制定シタル命令ニヨリテ、要求セラルヘキ金額ヲ支拂ヒ若クハ供託スルコトヲ得ス

第六十一條 本法ノ規定ハ將來市場ニ關シテ制定セララルヘキ一般ノ法律ノ規定若クハ本法ニヨリテ當該會社ニ與ヘラレタル市場稅ニ關スル帝國議會ノ修正ヨリ當該會社ヲ除外スルモノニ非ラス

第六十二條 本法ノ規定ハ一千八百七十八年十二月二十四日附ノ借地契約ニ於テ現ニ包含セララル、建造物及ヒ其隣接地ノ賣買完成シ及ヒ之レニ對スル買得金ノ適當ニ支拂ハル、ニ至ル迄ハ如何ナル方法ヲ以テスルトモ**コルンウアル**公領ノ占有ニ影響スルカ如ク本法ニヨリテ認可セラレタル工作物

ヲ建造スルコトヲ當該會社ニ認可スルモノニ非ラス、又本法ノ規定ハ一千八百六十三年ノコルンウ
 ーアル公領管理法ニヨリテ該公領ニ關シテ行使スルコトヲ得ルニ至ラシメラレ其他該公領ニ關シテ
 現ニ行使スルコトヲ得ル凡テノ權利權力及ヒ特權ノ行使ヲ該管理法第三十九條ノ規定ニ基キテ適當
 ニ認可セラルヘキ該公領ノ官吏若クハ其他ノ者ノ二人以上ノ同意書ナクシテ女皇、皇嗣子若クハコ
 ルンウーアル公領ノ權別ノ承繼人ニ屬スル建造物其ノ他土壤若クハ水又ハ之レニ關スル權利ヲ利用
 シ之レニ立入り若クハ之レニ障礙ヲ與フルコト或ハ原始的并ニ承繼的ニ現ニコルンウーアル公ニ屬
 スル建造物其ノ他土壤若クハ水又ハ之レニ關スル權利ヲコルンウーアル公領ノ印ヲ鈐シタル書面ニ
 ヨリテ證明セラレタル該公ノ同意ナクシテ利用シ之レニ立入り若クハ之レニ障礙ヲ與フルコトヲ當
 該會社ニ認可スルモノニ非ラス又女皇、皇嗣子又ハコルンウーアル公領ノ權利ノ承繼人ニ與ヘラレ
 又ハ其有スル財產權、利潤特權又ハ權力或ハ現ニコルンウーアル公ニ與ヘラレ又ハ其有スル財產權、
 利潤特權又ハ權力ヲ奪掠シ滅殺シ變更シ毀損シ若クハ之レニ影響ヲ及ホスコトハ本法ノ當該會社ニ
 認可スル所ニ非ラス

第六十三條 本法ノ取得及ヒ制定ニ對スル準備又ハ之レニ關スル其他ノ事項ニ付キテノ負擔及ヒ費用
 并ニ之レニ附隨スル負擔及ヒ費用ハ當該會社ノ支拂フヘキモノトス

サトシ港法附屬表

A 表

港内貨物稅

入港ノ船舶舟筏ニヨリテ輸入スル商品ノ一噸毎ニ	〇、二・〇 <small>片</small>
出港ノ船舶舟筏ニヨリテ輸出スル商品ニシテ輸入稅ヲ支拂ハサリシモ ノ、一噸毎ニ	〇、二・〇
牡牛、去勢牛、牝牛、牝犢、牡馬、牝馬、去勢馬一頭毎ニ	〇、四・〇
羊、犢、豚、及ヒ其他ノ小獸一頭毎ニ	〇、一・〇
貨物其ノ他ノ物品ヲ包含スル俵、樽、袋囊類、箱函類、鞆、包、束、捆ニシ テ六「キュービツク」呎ヲ超ヘス、各々一噸ヲ超ヘサルモノ、一箇毎ニ	〇、一・〇
超過シタル「キュービツク」呎毎ニ	〇、 $\frac{1}{4}$
輸入スル魚ノ組ニシテ英貨一磅ヲ超ヘサル價格ノモノ各組毎ニ	〇、一・〇
價格ニ於テ、超過シタル英貨一磅又ハ其端數毎ニ	〇、一・〇
入港ノ船舶ニ對シテ	
投錨及投錨所料	一、八・〇

繫留料

繫留用鎖料

板料

其價格ニ於テ五「シルリング」ヲ超ヘサル魚ノ小ナル組ニシテ販賣セラレス若クハ販賣セントスルニ非ラサルモノニ對シテハ課稅セス又魚ノ組ニ對スル右ノ課稅ハG表ニヨリテ徵稅スル場合ニハ之レヲ課セス

B 表

荷揚場ニ於テ若クハ之レヨリA表記載ノ貨物ヲ陸上ケシ又ハ船積スルコトニ對シテ、A表ニヨリテ徵收スルコトヲ認メラレタル課稅ノ外當該會社ハ當分ノ内、A表記載ノ課稅ト類似ノ課稅ヲ徵收スルコトヲ得、但シ斯ノ附加的課稅ハ只出港又ハ入港ノ時、一回ニ限り之レヲ徵收スルコトヲ得
荷揚場ニ於テ又ハ之レヨリスル下ニ掲ケラレタル旅客又ハ貨物ノ陸上若クハ船積ニシテ、此迄適法ニ課稅シタルモノ又ハ現在若クハ將來當該會社ノ課稅シ若クハ課稅シ得ヘキモノニ對シテ、A表及ヒB表ニヨリテ前ニ認メラレタル課稅ノ外、左ノ課稅ヲ徵收ス

旅客一人一回毎ニ

〇、一〇片

但シ若クハウエスターン若クハバービカン、棧橋、サウスサイド、キーマーケツト、キー、及ヒ道路又ハパレード、キーニ於テ若クハ之レヨリ上陸シ若クハ乗船スル旅客ニ對シテハ、本稅ヲ

課セス

牡牛、去勢牛、牝牛、牝犢、牡馬、牝馬及ヒ去勢馬一頭毎ニ

〇、六〇片

羊、犢、豚及ヒ其他ノ小獸一頭毎ニ

〇、二〇〇

入港ノ船舶舟筏ニヨリテ輸入スル商品ノ一噸毎ニ

〇、三〇〇

出港ノ船舶舟筏ニヨリテ輸出スル商品ニシテ輸入稅ヲ課セラレサリシモノ一噸毎ニ

〇、三〇〇

貨物其ノ他物品ヲ包含スル六「キュービツク」呎以內ノ樽、俵、細、箱

〇、二〇〇

函類鞆束又ハ包一個毎ニ

〇、〇、 $\frac{1}{2}$

超過シタル各「キュービツク」呎毎ニ

但シ所有者カ自カラ持運フ手荷物タル物品又ハ包ニハ課稅セス

鮮魚ニ對シテ本表ニヨリテ課稅セス

C 表

入港船舶稅

外國ヨリ來リ又ハ外國ヘ向フ船舶ニ對シテ一噸毎ニ

〇、二〇片

沿岸貿易ニ使用セラル、船舶又ハアイルランドヨリ來リ若クハアイル

ランドヘ向フ船舶ニ對シテハ一噸毎ニ

〇、一〇〇

其他ノ船舶ニ對シテハ一噸毎ニ

〇、二〇〇片

一九二

年中漁業ニ使用セラル、船舶ニ對シテ(前金拂)

五十噸ヲ超エルモノ

四二、〇〇〇

三十五噸ヲ超エ五十噸以下ナルモノ

三一、六〇〇

二十噸ヲ超エ三十五噸以下ナルモノ

二一、〇〇〇

十噸ヲ超エ二十噸以下ナルモノ

一五、〇〇〇

五噸ヲ超エ十噸以下ナルモノ

一〇、〇〇〇

五噸以下ナルモノ

五、〇〇〇

年中荷物ヲ運送セサル曳船用小汽船及ヒ乗客用汽船ニ對シテ(前金支拂)

五十馬力ノモノ

四〇、〇〇〇

五十馬力未滿ノモノ

二〇、〇〇〇

年中、傳馬船、及舢舨及ヒ其他類似ノ性質ヲ有スル舟タルモノ(前金拂)

二十噸ヲ超エタルモノ

二〇、〇〇〇

十五噸ヲ超エ二十噸以下ノモノ

一六、〇〇〇

十噸ヲ超エ十五噸以下ノモノ

一〇、〇〇〇

十噸以下ノモノ

七、六〇〇

鮮魚以外ノ貨物ヲ搭載シタル甲板ナキ小船ハ入港ノ時毎ニ

〇、二〇〇片

尙繋留鎖ノ使用ニ對シテハ一週間毎ニ

二百噸未滿ノ各船舶ニ對シテ

三、〇〇〇

二百噸以上二百五十噸未滿ノ各船舶ニ對シテ

四、〇〇〇

二百五十噸以上ノ各船舶ニ對シテ

五、〇〇〇

造船場ニ於テ修理中ニアルモノヲ除クノ外、三ヶ月以上港内ニ碇泊スル船舶ハ、該期間滿了ノ時ニ於テ更ニ入港シタルト同様ノ税ヲ納ムヘシ而シテ其後ノ碇泊ノ毎三ヶ月ノ滿了ノ時ニ於テモ亦同シ

D 表

船底塗換ノ爲メノ海濱使用税

漁船以外ノ各船舶ニ對シテハ登簿噸數一噸ニ付キ毎日

一、〇〇

漁船ニ對シテハ登簿噸數一噸ニ付毎日

〇、七

E 表

扛重機及秤量機税

葡萄酒、酒精及ヒ其他ノ液體ニ對シ五十四瓦入ノモノ

四十樽以下ナルトキハ每樽

三、〇〇

四十樽ヲ超エル時ハ每樽

二、〇〇

一九三

其他ノ貨物ニ對シテハ

十噸以下ナル時ハ每噸
十噸ヲ超ユル時ハ每噸

〇、八、〇
〇、六、〇

單一物ニ對シテハ本表ニ於ケル以上ノ課税ニ代ヘテ

重量一噸二分ノ一ヲ超エ二噸以下ナルトキハ
重量二噸ヲ超エ二噸二分ノ一以下ナルトキハ
重量二噸二分ノ一ヲ超エ三噸以下ナルトキハ
重量三噸ヲ超エ三噸二分ノ一以下ナルトキハ
一噸ニ滿タサル端數ニ對シテハ比例ニヨリテ課税ス
三噸二分ノ一ヲ超ユル單一物ニ對シテハ港務長ト特別ノ合意ヲナスコトヲ要ス

一、〇、〇
一、六、〇
二、〇、〇
二、六、〇

F 表

給水税

船舶ハ小船又ハ其他ノモノニ給スル百瓦毎ニ
百瓦未滿ノ量ニ對シテハ比例ニヨリテ課税ス

一、三、〇

G 表

當該魚市場ノ開場後魚ニ課スル港税

入港ノ船舶ニヨリテ輸入セラル、各種ノ魚ニシテ當該市場ニ於ケル販賣ニヨリテ定マルヘキ價格
ニ於テ英貨一磅ヲ超エサルモノ
〇、一、〇
同様ノ方法ニヨリテ決定セラル、價格ニ於テ超過シタル英貨一磅又ハ其端數毎ニ
〇、一、〇

當該魚市場ノ使用税

各種ノ魚ニシテ當該市場ニ於テ賣却ニヨリテ得タル價格ニ對スル納税額ニ於テ英貨一磅ヲ超エサ
ルモノ
〇、二、〇

同様ノ方法ヲ以テ決定セラルヘキ價格ニ於テ超過シタル英貨一磅又ハ其端數毎ニ
〇、二、〇

尙本表ニ基キテ課税セラル、場合ニ於テハA表ニ基キテ徴收シ得ヘキ課税ハ之レヲ徴收セス

當該魚市場内ニ於ケル店舗、貨臺、停車場廣場其ノ他便益物
ノ使用又ハ占有ニ對シ及ヒ之レニ關スル税

店舗、露店、臺、停車場、廣場又ハ其ノ他ノ便益物ノ使用又ハ占有ニ對シテハ、其容積ニ從ヒテ、毎週毎呎
六「ベンス」以下ニテ、各個ノ店舗、貨臺、停車場又ハ廣場又ハ其ノ他ノ便益物ノ面積ニ付キテ計算
シタル價額ノ課税ヲ徴收ス

サットン港改良會社魚市場取締規則

第一條 當魚市場ニ於ケル船舶ノ船長及ヒ荷馬車ノ馭者及ヒ魚ノ所有者若クハ看守人ハ一千八百八十九年發布ノサットン港法(以下「當該法律」ト稱ス)ニ從ヒテ埠頭長ノナス指揮ニ從フヘシ若シ之レニ反スル者ハ各個ノ違反行爲ニ對シテ五磅以下ノ過料ニ處ス。

埠頭長ハ船舶荷馬車魚又ハ其他ノ物ヲ看守シ撤去シ若クハ處分スルコトヲ得、而シテ之レニ關スル費用ハ當該反則者之レヲ埠頭長ニ支拂フモノトス。

右ノ費用ハ他ノ法律上ノ賠償以外ニ當該法律ニ基キ過料取立ノ訴訟手續ニ準シテ之レヲ取立ツルコトヲ得。

第二條 魚ノ荷上ヲナス各々ノ船舶ハ其船首ヲ荷揚場ニ繫留スヘシ而シテ其荷上ニ必要ナル時間以上繫留スルコトヲ得ス但シ之レニ異ナル埠頭長ノ指揮アル場合ハ此限ニアラス。

第三條 凡ソ船舶ハ先ツ其綱ヲ取去リタル後ニ非ラサレハ横ニ相並ヒテ入港スルコトヲ得ス。

第四條 當魚市場ニ陸上シタル魚ハ其ノ必要以外ニ長ク之レヲ留ムルコトヲ得ス而シテ埠頭長ノ要求アル時ハ之レヲ撤去スヘキモノトス。

第五條 魚及ヒ當該法律第五十二條ニ依リテアリマウス市ノ陸上シタル貨物以外ノ貨物ハ之レヲ當魚市場内ニ陸上シ又ハ當魚市場内ニ於テ販賣スルコトヲ得ス但シ埠頭長ノ明示ノ許諾アル場合ハ此限

ニアラス。

第六條 魚ノ腸ヲ取去リ其他魚ヲ清潔ニセント欲スル者ハ斯ノ目的ノ爲メニ埠頭長ノ指定セル場所ニ於テ之レヲ爲スコトヲ要ス。

第七條 何人ヲ問ハス魚、腐肉、灰廢物又ハ有害若クハ有毒ナル廢物ヲ港内ニ投棄スルコトヲ得ス。

第八條 何人ヲ問ハス當市場ニ於テ秩序ヲ紊ルノ舉動ヲナシ又ハ苟クモ當市場ノ業務ヲ妨害スルコトヲ得ス埠頭長ハ本規則ニ基ク他ノ過料ノ外、尙、反則者ヲ當市場ヨリ放逐スルノ權ヲ有ス。

第九條 凡ソ人足ハ當會社ヨリ必要ナル特許ヲ得ルニ非ラサレハ當市場ニ於テ業ニ從フコトヲ得ス而シテ該特許ハ苟クモ不法ノ行爲アル時ハ之レヲ取消スコトヲ得。

第十條 人類ノ食物トシテ不健全ナルカ身體ニ害アルカ又ハ不適當ナル魚ハ之レヲ當市場ニ於テ陳列若クハ販賣スルコトヲ得ス。

第十一條 埠頭長ノ特別ノ許可アル場合ノ外、土曜日ノ夜ノ十二時ヨリ日曜日ノ夜ノ十二時迄ハ魚類ヲ販賣スルコトヲ得ス、四月一日ヨリ九月三十日迄ハ午前七時前ニハ賣買ヲ行ハス而シテ當市場ハ午後七時ニ之レヲ閉鎖ス十月一日ヨリ三十一日迄ハ午前七時三十分前ニハ賣買ヲ行ハス而シテ午後七時ニ當市場ヲ閉鎖ス、但シ當會社ハ時々、右ノ時間ヲ變更スルコトヲ得ルモノニシテ其都度適當ナル告示ヲナスモノトス。

第十二條 空虛トナリタル容器ハ之レヲ當市場内ニ遺留スルコトヲ得ス。

第十三條 當市場ニ於テ魚ヲ販賣スルモノハ、日々ノ眞實ナル魚ノ賣上勘定書ヲ收入役ニ差出シ尙之レト共ニ其帳簿ニ記載シタル魚ノ販賣分量ノ合計ニ對スル課稅ヲ納ムヘシ而シテ右ノ帳簿ハ何時ニテモ之レヲ正當ナル時ニ於テスル收入役ノ閱覽ニ供スヘシ

第十四條 當該法律ニヨリテ其徵收ヲ認可セラレタル船舶稅ハ、其賦課セラルヘキ船舶ノ船長若クハ所有者之レヲ納附スヘキモノトス當該法律ニヨリテ其徵收ヲ認可セラレタル魚ニ對スル凡テノ課稅ハ、其賦課セラルヘキ魚ノ所有者若クハ販賣者若クハ看守人之レヲ納附スヘキモノトス

第十五條 當該法律ニ基キテ支拂ハルヘキ課稅ノ納稅義務者ニシテ納稅ヲ拒絕シ若クハ懈怠スル時ハ、收入役ハ該課稅物件タル魚ヲ差押ヘ、該課稅並ニ差押及留置ノ費用ノ支拂ハル、迄之レヲ留置スルコトヲ得、而シテ其差押後三時間内ニ該魚ノ請戻ヲナサ、ル時ハ之レヲ賣却スルモノトス而シテ收入役ハ其賣得金ヲ以テ未納稅並ニ差押、留置及ヒ賣却ノ爲メニ要シタル費用ニ充ツルコトヲ得、但シ餘剩アル時ハ請求次第之レヲ該魚ノ所有者ニ返還ス

第十六條 地代課稅市場稅其ノ他賦課ハ凡テ之レヲ收入役ニ支拂フヘキモノトス
第十七條 何人ヲ問ハス適法ニ請求セラレタル前掲ノ納稅ヲ苟クモ逋脫シ又ハ逋脫セントシ又ハ逋脫ヲ補助シ又ハ爲サ、ルコトヲ得ス

左ノ言辭ハ本規則ニ於テ茲ニ指定スル意義ヲ有ス但シ主旨又ハ文脈上、斯カル解釋ヲ許サ、ル場合ハ此限ニアラス

單數ヲ意味スル語ハ複數ヲ包含シ複數ヲ意味スル語ハ單數ヲ包含ス

「埠頭長」トハサトン港改良會社ノ港務長及ヒ現ニ當該魚市場ヲ管理スル爲メニ任命セラル、其他ノ者及ヒ此等ノ者ノ補助者ヲ云フ

「收入役」トハ右ノ會社ノ收入役又ハ現ニ魚ニ對スル課稅ヲ集ムル爲メニ任命セラル、其他ノ者及ヒ以上ノ者ノ補助者ヲ云フ

「魚」ハ通常海洋又ハ江灣ニ生存スル凡テノ貝及ヒ動物ヲ包含ス

「船舶」ハ各種ノ小船、解船、及ヒ船ヲ包含スルモノニシテ汽力ニヨリテ航スルト否トヲ問ハス

「魚市場」又ハ「市場」ハ當該荷揚場及ヒ其上ニ建設セル凡テノ建造物ヲ包含ス

「荷馬車」ハ魚ノ運搬ノ爲メニ用ヒラル、荷車及ヒ其他ノ馬車ヲ包含ス

本規則ニ於テ使用セラル、右以外ノ語ノ意義ヲ解釋スルニハ一千八百四十七年發布ノ港灣船渠及ヒ棧橋法第三條ニ於テナスノ如キ語ニ與ヘタル定義ヲ適用スル外、尙、通常斯ノ如キ語ニ附着スル其他ノ意義ニ從フヘシ

法律ノ摘要

第一、前條ノ場合及ヒ本法ノ規定ニヨリテ認可セラレタル當該魚市場ノ完成シ開場シタル時以後ニ於ケル特許ヲ得タル行商人ノ場合ヲ除クノ外サトン港又ハ苟クモブリマウス市ニ到着スル魚ハ凡テ之レヲ競賣ニ附シ且ツ當該魚市場内ニ於テノミ販賣スルヲ得而シテ苟クモ販賣ノ目的ニ出ツル以上

ハ其運送カ海ニヨリタルト陸ニヨリタルトヲ問ハス又船舟、二輪、荷馬車、荷車、大荷馬車、槽、箱若クハ其他ノモノヲ以テシタルトヲ問フ事ナシ本條ノ規定ニ背反シ若クハ之レヲ侵犯シタルモノハ凡テ其各々ノ場合ニ於テ競賣ノ方法ニヨラス且ツ當該魚市場内ニ於テセスシテ販賣シタル魚ノ値ノ百分ノ十ヲ超ヘサル範圍内ニ於テ過料ニ處セラルヘシ但シ該市内ニ於テ卸賣又ハ小賣ヲナスノ目的ニ非ラスシテ鐵道ニヨリテ運搬スル爲メニ大西鐵道ヲ經由シテ到着シ若クハ大西船渠ニ到着シタル魚ハ本法ノ規定ニ基ク市場稅ノ賦課ヲ免カル、モノトス

第二、取締役規則ヲ侵犯スル者ハ各々ノ侵犯ニ對シテ五「ポンド」以内ノ過料ニ處ス而シテ其侵犯ニ對スル有罪ノ裁判アリタル後猶ソノ侵犯ヲ繼續スル時ハ各日ニ對シテ二十「シリリング」以内ノ日々過料ニ處ス而シテ又右ノ過料ハ侵犯ノ結果タル損失毀損又ハ毀害ニ對シテ要償シ得ヘキ損害賠償以外ニ屬スルモノトス

第三、該侵犯ニ對シテ斯ノ取締規則ニヨリテ課セラル、過料ハ當該會社又ハ個人若クハ會社カ右ノ侵害ノ結果トシテ自己又ハ自己ノ財産ニ付キテ被リタル損失又ハ毀害ニ對シテ要償シ得ヘキ損害賠償ノ外ニ屬スルモノトス

一千八百九十六年四月十三日當該會社ノ印ヲ鈐シテ此規則ヲ發布ス

書記 トーマス、ウラルフワスタン

一千八百八十九年發布ノサトン港法ニ基キテ授與セラレタル權力ノ行使ニ於テ通商管理局ハ茲ニ前

掲ノ取締規則ヲ確認ス

一千八百九十六年四月十六日

通商管理局秘書官

テイ、エイチ、ダフルユー、ベルハム

三 英國常設市場及ヒ定期市場法規

(千八百八十八年刊行市場ノ權利及ヒ税金ニ關スル政府委員ノ報告書ヲ看ルヘシ)

ヴィクトーリア帝在位第十年及ヒ第十一年法律第十四號(常設市場及ヒ定期市場規定ニ關スル千八百四十七年法律)

ヴィクトーリア帝在位第三十一年及ヒ第三十二年法律第百〇六號(市内定期市場規定ニ關スル千八百六十八年法律)(七年間繼續シテ定期市場ヲ開カサルトキ土地所有人又ハ占有人ヲ召喚スル權限ヲ規定スルモノ)

ヴィクトーリア帝在位第三十四年及ヒ第三十五年法律第十二號(定期市場規定ニ關スル千八百七十一年法律)(裁判官ノ申請ニ據リ定期市場ヲ廢止スル國務大臣ノ權限ヲ規定スルモノ)

ヴィクトーリア帝在位第三十六年及ヒ第三十七年法律第三十七號(定期市場規定ニ關スル千八百七十三年法律)(定期市場ノ期日ヲ變更シ又ハ日數ヲ減少スル國務大臣ノ權限ヲ規定スルモノ)

ヴィクトーリア帝在位第五十年及ヒ第五十一年法律第二十七號(常設市場及ヒ定期市場ノ畜類ノ斤量測定ニ關スル千八百八十七年法律)

ヴィクトーリア帝在位第五十四年及ヒ第五十五年法律第七十號(常設市場及ヒ定期市場ノ畜類ノ斤量測定ニ關スル千八百九十一年法律)

ヴィクトーリア帝在位第五十四年及ヒ第五十五年法律第七十號(常設市場及ヒ定期市場ノ畜類ノ斤量測定ニ關スル千八百九十一年法律)

常設市場及ヒ定期市場ニ關スル千八百四十七年法律

目次

第二條第三條

釋義

第五條

市場ヲ組織スル方法

自第六條至第十一條

市場ノ設置

自第十二條至第十六條

市場ノ開場

自第十七條至第二十條

屠殺所

自第二十一條至第三十條

貨物及ヒ車輛ノ斤量測定

自第三十一條至第四十一條

税金

自第四十二條至第四十九條

附則

第五十條

收支決算

自第五十一條自第五十七條

刑罰

第五十八條

特別法ノ適用

ヴィクトーリア帝在位第十年及ヒ第十一年法律第十四號常設市場及ヒ定期市場ヲ設置シ又ハ監理ス

ル法律中ニ普通含有スル諸規定ヲ綜合シテ一個ノ法律トナス法律千八百四十七年四月二十三日公布
 常設市場及ヒ定期市場ノ設置及ヒ監理ヲ規定スル帝國議會ノ協賛ヲ經タル法律中ニ普通含有スル諸規
 定ヲ綜合シテ一個ノ法律トナスヲ適宜ナリト認メ且ツ同起業ニ關スル法律中ニアル諸規定ヲ重複スル
 必要ヲ除キ同規定ノ間相互合一スル所多クランコトヲ期センカタメ(註一)茲ニ左ノ規定ヲ議決セシ
 ム本法ハ總テ今後帝國議會ノ協賛ヲ經ヘキ法律ニシテ本法ヲ同法律中ニ編入スヘキモノトナスモノニ
 據リ許可スヘキ常設市場又ハ定期市場ニ限リ之レヲ適用スヘシ(註二)本法ノ條項ハ總テ同法律ニ據リ
 變更シ又ハ除外スヘキモノヲ除キ總テ同法律ニ據リ許可スヘキ起業ニ之レヲ適用スヘシ但シ同法律ヲ
 同起業ニ適用スヘキトキニ限ル、本法ノ條項ハ其他總テ本法中ニ編入スヘキ法律ノ條項ト合シテ同法
 律ノ一部分ヲ成シ且ツ之レト合シテ一個ノ法律ヲ成スモノト認ムヘシ

(註一)商社規定ノ綜合ニ關スル千八百四十五年法律及ヒ土地規定ノ綜合ニ關スル千八百四十五年法
 律ヲ參照スヘシ本書中「商社規定」及ヒ「土地規定」ノ項ニアリ

(註二)水利工事規定ニ關スル千八百四十七年法律ヲ參照スヘシ本書中「水利」ノ項アリ

本法ノ制定及ヒ總テ本法中ニ編入スヘキ法律ニ關シ左ノ規定ヲ議決セシム

第二條 本法中ニ使用スル「特別法」ト云フ語ハ總テ今後帝國議會ノ協賛ヲ經ヘキ常設市場又ハ定期市
 場ノ設置又ハ監理ヲ許可スル法律ニシテ同法律中ニ本法ヲ編入スヘキモノヲ謂フモノト認ムヘシ總
 テ本法中ニアル事項ニ關シ本法中ニ使用スル「指定セル」ト云フ語ハ特別法中ニ指定シ又ハ規定スヘ

キ事項ニ關スルモノト認ムヘシ、同語ヲ使用スル條文ハ「指定セル」ト云フ語ニ「特別法中其目的
 ニ對シ指定セル」ト云フ語ヲ代用セルモノト認ムヘシ、「土地」ト云フ語ハ特別法ニ據リ其目的ニ對
 シテ收容又ハ使用ヲ許可スヘキ土地ヲ謂フ「起業」ト云フ語ハ特別法ニ據リ設置又ハ監理ヲ許可セル
 常設市場又ハ定期市場及ヒ之レニ附帶スル工事ヲ謂フ「起業者」ト云フ語ハ特別法ニ據リ常設市場又
 ハ定期市場ノ設置又ハ監理ヲ許可セル人ヲ謂フ

第三條 本法及ヒ特別法並ヒニ總テ之ニ編入セル法律中ニアル左ノ用語ハ本法中ニ特定セル意義ヲ有
 スヘシ但シ使用セル條文中同意義ニ反スル用語アルトキハ此限ニアラス(即チ左ノ如シ)

單數ノ意義ヲ有スル用語ハ複數ノ意義ヲ併有シ複數ノ意義ヲ有スル用語ハ單數ノ意義ヲ併有スヘ
 シ。

男性ノ意義ヲ有スル用語ハ女性ノ意義ヲ併有スヘシ

「人」ト云フ語ハ聚合スルト單一ナルトヲ問ハス社團ノ意義ヲ併有スヘシ

「土地」ト云フ語ハ宅地、土地、采地及ヒ總テ采地ノ世襲產又ハ相續產ノ意義ヲ併有スヘシ

「借地券」ト云フ語ハ借地券ノ交附及ヒ借地券ニ對スル約定ノ意義ヲ併有スヘシ

「常設市場又ハ定期市場」ト云フ語ハ特別法ニ據リ設置又ハ監理許可セル常設市場又ハ定期市場及
 ヒ之レニ附帶スル工事ヲ謂フ

「車輛」ト云フ語ハ貨物車及ヒ總テ全部又ハ大部分貨物ノ運搬ニ使用スル馬車ノ意義ヲ併有スヘシ

「車掌」ト云フ語ハ馭者又ハ其他總テ車輛ノ注意ヲ擔當スル者ノ意義ヲ併有スヘシ

「畜類」ト云フ語ハ馬、驢馬、牡羊、牝羊、鬮羊、羔羊、野羔羊、又ハ豚ノ意義ヲ併有スヘシ

「集金役」ト云フ語ハ特別法ニ據リ許可セル屋舎料、地代、又ハ税金ヲ徴收センカ爲メ起業者ノ任選セル者ヲ謂ヒ且ツ集金役助役ノ意義ヲ併有スヘシ

「月」ト中フ語ハ曆中ニアル月ヲ謂フ

「高等法院」ト云フ語ハ裁判所ノ審理ニ附スヘキ事項カ英國又ハ愛蘭ニ於テ發生スルトキ事件上ノ必要如何ニ據リ「ウエストミンスター」又ハ「ダツブリン」高等録事裁判所ヲ謂ヒ且ツ「ランカスター」郡帝室料地普通民事裁判所及ヒ「ダーラム」郡民事裁判所ノ意義ヲ併有シ前記事項蘇格蘭ニ於テ發生スルトキハ同地高等民事裁判所ヲ謂フ

「宣誓」ト云フ語ハ「クエーカー」宗徒ナレハ確言、其他總テ法律ニ據リ宣言ヲ宣誓ニ代用スル許可ヲ得タル人ナレハ總テ宣誓ニ對シ適法ニ代用セル宣言ノ意義ヲ併有スヘシ

(註)宣誓ニ關スル千八百八十八年法律ヲ看ルヘシ、本書中「宣誓」ノ項ニアリ

「郡」ト云フ語ハ各自ニ治安裁判官ヲ有スル區又ハ其他郡ノ區劃ナル意義ヲ併有シ蘇格蘭ニ於テハ各自司法官ヲ有スル料地及ヒ總テ區又ハ其他郡又ハ料地ノ區劃ナル意義ヲ併有ツ且シ市ニ屬スル郡又ハ町ニ屬スル郡ノ意義ヲ併有スヘシ

「裁判官」ト云フ語ハ總テ同裁判官ノ審理ニ附スヘキ事項ノ發生スル場所ニ對シ職務ヲ執行スル治

安裁判官ヲ謂フ、同事項カ全部一個ノ裁判所管轄區域内ニアラサル土地ニ關シテ發生スルトキハ總テ同土地ノ一部分ニ屬スヘキ場所ニ對シ職務ヲ執行スル裁判官ヲ謂フ、總テ事項ヲ裁判官二名ノ審理ニ附スヘキ許可ヲ受ケ又ハ之レヲ必要トスルトキ「裁判官二名」ト云フ語ハ事件ニ立會ヒ協同シテ職務ヲ執行スル裁判官二名又ハ二名以上ヲ謂フモノト解スヘシ

「司法官」ト云フ語ハ司法官ノ審理ニ附スヘキ事項ノ發生スル蘇格蘭ノ郡又ハ郡ニ屬スル區ノ代理司法官及ヒ蘇格蘭ニアル領地ノ代官ヲ謂ヒ且ツ同代理司法官及ヒ代官ノ代理者ヲ示ス意義ヲ併有スヘシ

「四季巡回裁判」ト謂フ語ハ特別法中ニ規定スル四季巡回裁判ヲ謂フ、但シ同用語ニ關シ同法中ニ規定ヲ設ケサルトキハ常設市場又ハ定期市場ヲ開ク郡又ハ場所或ハ各自ニ治安裁判官ヲ有スル同郡附屬ノ區ニ對シ常設市場又ハ定期市場或ハ其事務所本部ニ最モ接近スル場所ニ於テ開廷スヘキ普通治安裁判又ハ四季巡回治安裁判ヲ謂フ

本法又ハ其一部分ノ引用ニ關シ左ノ規定ヲ議決セシム

第四條 本法ヲ帝國議會ノ決議書及ヒ司法文書中ニ引用スルトキハ「常設市場及ヒ定期市場ニ關スル千八百四十七年法律」ト云フ語ヲ使用スヘシ

第五條 本法ノ一部分ニ限リ之レヲ總テ今後帝國議會ノ協賛ヲ經ヘキ法律中ニ編入セントスルトキハ總テ一定ノ事項ニ關スル本法ノ條項ヲ同事項ニ關シ議決セル法律ノ冒頭ニアル語中ニ記入シ且ツ記

入セル同條項又ハ記入セル同條項ヲ除外スル本法ヲ同法律中ニ編入セルモノト議決スヘシ此方法ニ據リ編入セル本法ノ條項ハ同法律ニ據リ變更シ又ハ除外セルモノヲ除キ總テ同法律ノ一部分ヲ成シ且ツ同法律ハ之レヲ適用スル事項ニ關シ同條項ヲ其規定中ニ加入セルモノト認ムヘシ
常設市場又ハ定期市場ノ設置及ヒ之レニ附帶スル工事ニ關シ左ノ規定ヲ議決セシム

第六條 起業者ハ特別法ニ據リ常設市場又ハ定期市場ヲ設置センカ爲メ總テ土地所有人及ヒ占有人ノ承諾ヲ得タルモノ以外ノ土地ヲ收容シ又ハ使用スル許可ヲ得タルトキ特別法ヲ英國又ハ愛蘭ニ適用スルトキハ本法及ヒ土地規定ノ綜合ニ關スル千八百四十五年法律(註)中ニアル規定及ヒ制限ヲ遵守シ特別法ヲ蘇格蘭ニ適用スルトキハ本法及ヒ土地規定ノ綜合ニ關スル千八百四十五年(蘇格蘭)法律中ニアル規定及ヒ制限ヲ遵守スヘシ、起業者ハ總テ特別法ニ規定スル目的ノタメニ收容シ又ハ使用シ或ハ同法ニ據リ許可セル工事實施ノタメニ損害ヲ蒙ラシメタル土地ノ所有人及ヒ占有人並ヒニ其他總テ同土地ニ關係アル當事者ニ對シ前記ノ方法ニ據リ收容シ又ハ使用セル土地ノ價格或ハ本法又ハ特別法又ハ總テ之レニ編入セル法律ニ據リ同土地ニ關シ起業者ニ附與セル權限ノ行使ニ據リ總テ同土地ノ所有人、占有人及ヒ其他ノ人ニ蒙ラシメタル損害ニ對シテ全部賠償ヲナスヘシ、同賠償金額ハ本法又ハ特別法中ニ他ノ規定ヲ設クル場合ヲ除クノ外前記土地規定ノ綜合ニ關スル法律ノ規定ニ據リ購買シ又ハ收容セル土地ニ關スル賠償事項ヲ決定センカタメ同法律中ニ特ニ規定スル方法ニ據リ之レヲ決定スヘシ總テ同法律中ニアル規定ハ總テ同賠償金額ヲ決定シ且ツ其拂渡又ハ其他賠償

ノ強制執行ニ之レヲ適用スヘシ

(註) **ヴィクトーリア**帝在位第八年及ヒ第九年法律第十八號ヲ看ルヘシ、本書中「土地ニ關スル規定」ノ項ニアリ

第七條 起業者ハ總テ特別法又ハ之レニ附屬スル項目中ニ記載シ又ハ記載スルコトヲ要スヘキ土地或ハ土地ノ所有人、借地人又ハ占有人ニ關シ脱漏、誤言又ハ誤書アルコトヲ知りタルトキハ同事項ノ訂正ヲ要スヘキ土地ノ所有人、借地人及ヒ占有人ニ對シ十日前ニ通知ヲ交附シタル後チ英國又ハ愛蘭ニ於テハ裁判官二名蘇格蘭ニ於テハ司法官ニ同事項ノ訂正ヲ請求スヘシ、同裁判官又ハ司法官ハ前記ノ脱漏、誤言又ハ誤書ヲ過失ヨリ生シタルモノト認メタルトキ同事由ヲ證明シ同證明書中ニ前記ノ脱漏、誤言又ハ誤書ニ關スル細目ヲ記入スヘシ
同證明書ハ英國又ハ愛蘭ニ於テハ同書中ニ記載スル土地ノ附屬スル郡ノ治安警察官吏ニ蘇格蘭ニ於テハ同土地ノ附屬スル郡ノ司法警察官吏ニ又ハ同土地カ蘇格蘭ニアル帝室領市内ニアルトキ同市ノ市廳公吏ニ之レカ保管ヲ委託スヘシ、同治安警察官吏、司法警察官吏又ハ市廳公吏ハ同土地ニ關係アル他ノ文書ト共ニ同證明書ヲ保管スヘシ、特別法又ハ之レニ附屬スル項目ハ同證明書ニ據リ訂正ヲ經タルモノト認ムヘシ、起業者ハ前記ノ脱漏、誤言又ハ誤書ナキモノトシテ同證明書ニ據リ工事ヲ實施スルコトヲ得

第八條 前記證明書ヲ保管スル前記治安警察官吏、司法警察官吏又ハ市廳公吏ノ證明ヲ經且ツ總テ關

係アル當事者ノ請求アルトキ證明書ヲ交附スヘキ前記證明書中ノ變更又ハ訂正ノ謄本又ハ前記證明書ノ抄本ハ前記證明書内容ノ證據トシテ各裁判所及ヒ其他ノ場所ニ於テ之レヲ受理スヘシ

第九條 起業者ハ本法及ヒ特別法中ニ規定スル權限ニ據リ常設市場又ハ定期市場ノ目的ニ對シ強制收受シ又ハ自ツカラ使用スル許可ヲ得タル土地ノ外猶ホ總テ同法ニ據リ權限ヲ附與セル土地ヲ使用シ又ハ全部ニ於テ非常ノ目的ニ對シ規定セル英尺「エーカー」ノ數ヲ超過スルコトナキ總テ特別法中ニアル規定ノ範圍内ニ於ケル土地ノ購買ニ對シ同土地ヲ賣却セントスル人ト契約ヲナスコトヲ得、(即チ左ノ如シ)

屠殺所(但シ起業者カ特別法ニ據リ屠殺所設置ノ許可ヲ得タルトキ)並ヒニ車輛ノ斤量ヲ測定スル家屋及ヒ場所ノ設置ニ對スルモノ

常設市場又ハ定期市場ニ往復スル道路及ヒ通路ノ便宜ヲ計ルニ對スルモノ

其他總テ常設市場又ハ定期市場ノ組織又ハ使用ノ便宜上必要ト認ムル目的ニ對スルモノ

第十條 起業者ハ本法及ヒ特別法並ヒニ總テ之レニ編入セル法律ノ規定ニ據リ常設市場又ハ定期市場ヲ開場スヘキ場所ヲ設置スル目的ニ對シ總テ左ノ工事ヲ實施スルコトヲ得、(即チ左ノ如シ)

起業者ハ總テ特別法又ハ之レニ附屬スル項目中ニ記載スル土地及ヒ其他自己ノ購買シ又ハ自己ニ附屬スル土地ニ出入シ同土地中常設市場又ハ定期市場ノ目的ニ對シテ必要ト認ムル部分ヲ劃定シ常設市場又ハ定期市場ヲ開場スヘキ場所、厩舎、庫舎、欄舎、並ヒニ其他常設市場又ハ定期市場

ニ出入スル者ノ使用、常設市場又ハ定期市場ニ於テ販賣スル貨物ノ度量衡測定及ヒ車輛ノ斤量測定ニ對シ必要ト認ムヘキ造營物又ハ便宜ナル造營物ヲ時々同土地ニ建造シ且ツ保存スルコトヲ得起業者ハ總テ常設市場又ハ定期市場ニ出入スル者ノ便宜使用ニ必要ト認ムヘキ道路又ハ通路ヲ時々前記ノ土地ニ設備シ且ツ保存スルコトヲ得

第十一條 起業者ハ本法又ハ特別法ニ據リ許可ヲ得タル權限ヲ行使スルトキ損害ヲ生スル程度ヲ輕減スヘキコトヲ旨トシ總テ同權限ノ行使ニ據リ蒙ラシメタル損害ニ對シ本法及ヒ特別法並ヒニ總テ之レニ編入セル法律中ニ規定スル方法ニ據リ總テ關係アル當事者ニ對シテ全部賠償ヲナスヘシ

常設市場又ハ定期市場ノ開場及ヒ其保護ニ關シ左ノ規定ヲ議決セシム

第十二條 起業者ハ公共ノ使用ニ對シ常設市場又ハ定期市場ヲ開場スル前開場スヘキ時日ヲ其十日以前ニ告示スヘシ、同告示ハ特別法中ニ規定スル區域内ニ配付スル一定ノ新聞紙ニ之レヲ掲載シ且ツ同區域内ニアル注意ヲ惹キ易キ一定ノ場所ニ印刷物トナシテ之レヲ貼附スヘシ

第十三條 (註一)總テ許可ヲ得タル露店商(註二)ニアラサル者ハ公共ノ使用ニ對シ市場ヲ開場セル後チ自己ノ住所又ハ店舗(註三)ニアラサル指定ノ區域(註四)内ニアル場所ニ於テ總テ特別法ニ據リ市場ニ於テ税金徴收ノ許可ヲ得タル物品ヲ販賣シ又ハ販賣スルタメ陳列スルトキ該不法行為アル毎ニ英貨四十「シルリング」以下ノ罰金ニ處スヘシ

(註一) 見本ニ據ル穀類ノ販賣ニ對シテハ同穀類ノ大部分カ販賣ノ當時市ノ區域内ニアルトキ本

條ノ規定ヲ適用スルモノトス「ランダンデリー」市長對「マツクエルヒンネイ」事件
猶ホ「ブリーコン」市長對「エツドワーズ」事件ヲ看ルヘシ

税金ヲ納付セル販賣人ヨリ豫メ市場ニ於テ購買セル貨物ノ轉賣ニ對シテハ本條ノ規定ヲ適用スヘシ(許可ヲ得タル露店商ニ對スル除外ヲ有スルコトナキ地方規則ニ據リ判決セル「ブラツク」對「サツケツト」事件

(註二) 本書中「露店商及ヒ行商」ノ項並ヒニ「ホーワード」對「ラツプトン」事件ヲ看ルヘシ

(註三) 家屋ニ附屬スル木造庫舎ハ住所又ハ店舗ノ一部分ト認ムヘシ(「アツシワース」對「ヘイワース」事件

附屬庭園ヲ有シ競賣人カ同庭園内ニ於テ他人ノ所有ニ屬スル畜類及ヒ羊ノ頭數ヲ市場ニ於テ販賣スル頭數ヲ超過シテ販賣スル大營造物ハ同庭園カ競賣人ノ住所ニ附屬スルニ拘ハラヌ免除ノ範圍内ニアラサルモノト認ムヘシ(「フリーロン」對「ミツチエル」事件

前記ノ事實ニ酷似スル例ニ於テハ被告ヲ有罪ト認ムヘシ但シ被告カ競賣人ニアラサルトキ及ヒ自己所有ノ羊ヲ販賣セルノミナルトキハ此限ニアラス(「マツクホール」對「デーヴィーズ」事件

貨物販賣ノタメ短期間借入レタル支柱ヲ建テ覆蓋ヲ設ケタル土地ハ之レヲ店舗ト認メス(「フリーバ」對「ケンズホール」事件

猶ホ人ノ「所有ニ屬スル店舗」ニ關シテハ「ボープ」對「ボエルレイ」事件ヲ看ルヘシ

(註四) 「指定ノ區域」トハ市ノ區域ヲ示スモノニシテ市場ノ區域ヲ謂フモノニアラス(「カツスウエル」對「クツク」事件本條ハ指定ノ區域内ニアリテ自己ノ住所ニアラサル住所ニ附屬スル庭園ニ於テ競賣ニ據リ馬ヲ販賣スル許可ヲ得タル競賣人ニ對シ之レヲ適用スルモノトス(「ランダツフ」及ビ「カントン」地方市場組合對「リンドン」事件)猶ホ「スパーリング」對「バントフト」事件(千八百九十一年)「アバーガヴェンニー」改良委員對「ストレーカー」事件並ヒニ「リユーザーフォード」對「ストレーカー」事件同前ヲ看ルヘシ

第十四條 起業者ハ公共ノ使用ニ對シテ常設市場又ハ定期市場ヲ開場セル後チ指定ノ時日(但シ之レヲ一定セルトキ)及ヒ其他起業者カ本法又ハ特別法ノ規定ニ據リ設クヘキ附則ニ據リ時々指定スヘキ時日ニ於テ同常設市場及ヒ定期市場ヲ開場スヘシ

(註) 日曜日ニハ常設市場及ヒ定期市場ヲ開場スルコトヲ得ス(「ヴィクトーリア」帝在位第十三年及ヒ第十四年法律第二十三號ヲ看ルヘシ)

第十五條 總テ常設市場又ハ定期市場ニ於テ有害ノ肉類又ハ食品ヲ販賣シ又ハ販賣スルタメ陳列スル者ハ該不法行爲アル毎ニ英貨五「バウンド」以下ノ罰金ニ處スヘシ、總テ起業者ノ任撰セル食料検査役ハ有害ノ肉類又ハ食品ヲ押收シテ之ヲ裁判官ニ提出シ後チ總テ屠殺所ニ於テ押收シ裁判官ニ提出セル畜類又ハ其屍體ニ於ケル場合ニ對シ後條ニ規定スヘキモノト同一ノ手續ヲナスヘシ、總テ食料検査役カ有害ノ肉類又ハ食品ヲ押收シ又ハ携取スルヲ沮害シ又ハ沮害スル者ハ該不法行爲アル毎ニ

英貨五「バウンド」以下ノ罰金ニ處スヘシ

第十六條 總テ起業者カ常設市場又ハ定期市場ヲ監督シ又ハ其秩序ヲ維持セシムルタメニ任撰セル職員ニ對シ職務執行中暴行脅迫シ又ハ沮害ヲ加ヘタル者ハ該不法行爲アル毎ニ英貨四十「シルリング」以下ノ罰金ニ處スヘシ

屠殺所ニ關シ左ノ規定ヲ議決セシム

第十七條 起業者ハ特別法ニ據リ屠殺所ヲ設置スル許可ヲ得タルトキ本法又ハ特別法或ハ總テ之レニ編入セル法律ノ規定ニ據リ購買セル土地ニ總テ畜類ノ屠殺ニ使用スル造營物ヲ時々建造シ又ハ之レヲ除去シ且ツ總テ同造營物ニ附屬スル他ノ造營物ヲ改善スルコトヲ得、起業者ハ同造營物竣工シ公共ノ使用ニ供スルコトヲ得ルニ至レルトキ特別法中ニ規定スル區域内ニ配布スル一定ノ新聞紙ニ掲載シ且ツ同區域内ニアル注意ヲ惹クヘキ一定ノ場所ニ印刷物ヲ貼附シテ之レヲ告示スヘシ

第十八條 本法又ハ特別法或ハ總テ之レニ編入セル法律中ニハ總テ前記屠殺所ニ關スル私犯ノ起訴又ハ其他總テ訴訟手續ニ對シ起業者ヲ保護スル規定ヲ設クルコトナシ

第十九條(註一) 前記告示ヲ掲載シ又ハ貼付セル後十日ヲ經過セルトキハ總テ特別法ノ議決以前又ハ其當時ニ於テ畜類屠殺ノ目的ニ使用シ且ツ其使用ヲ繼續セル屠殺所又ハ本法及ヒ特別法ノ規定ニ據リ設置セル屠殺所ニアラサル特別法ノ規定區域内ニアル他ノ場所ニ於テ人ノ食料トシテ販賣スルタメ(註二)畜類ヲ屠殺シ又ハ其死體ヲ調理スルコトヲ得ス、前記ノ告示ヲナシタル後總テ前記ノ屠

殺所ニアラサル特別法ノ規定區域内ニアル他ノ場所ニ於テ畜類ヲ屠殺シ又ハ販賣スルタメ其屍體ヲ調理スル者ハ該不法行爲アル毎ニ英貨五「バウンド」以下ノ罰金ニ處スヘシ

(註一) 「ヒューズ」對「トル」事件ヲ看ルヘシ

(註二) 總テ市内住民ノ自用造營物内ニ於テ畜類ヲ屠殺スルハ不法行爲ヲ構成スルコトナシ但シ人ノ食料トシテ販賣スルタメニスルモノハ此限ニアラス(「エライアス」對「ナイチンゲール」事件)

第二十條 食料検査役又ハ總テ起業者カ食料検査ノ目的ニ對シテ任撰セル役員ハ日中時間ノ如何ヲ問ハス助手ヲ同伴シ又ハ之レヲ同伴スルコトナク總テ起業者カ畜類ヲ屠殺スルタメ建設シ又ハ分離セル造營物内ニ進入シ同所ニ畜類又ハ其屍體ヲ貯藏スルノ如何ヲ検査スルコトヲ得、同役員ハ總テ人ノ食料ニ不適當ナルモノト認ムヘキ畜類或ハ其屍體ノ全部又ハ一部ヲ發見スルトキ之レヲ押收シ裁判官ニ提出スルコトヲ得、同裁判官ハ更ニ同物件ノ検査及ヒ試験ヲ専門ノ技術者ニ命令スヘシ
裁判官ハ検査又ハ試験ニ據リ同畜類或ハ其屍體ノ全部又ハ一部ヲ人ノ食料ニ不適當ナルモノト認ムルトキ直チニ同物件ヲ毀棄シ或ハ其他人ノ食料トシテ同物件ヲ販賣スル爲メ陳列シ又ハ使用スルコトヲ豫防スヘキ方法ニ據リ之ヲ處分スヘキコトヲ命令スヘシ、總テ同検査役又ハ其他前記ノ職務ヲ執行スル役員ヲ阻害シ又ハ妨害スル者ハ該不法行爲アル毎ニ英貨五「バウンド」以下ノ罰金ニ處スヘシ

貨物及ヒ車輛ノ斤量測定ニ關シ左ノ規定ヲ議決セシム

(註) 畜類ノ斤量測定ニ關シテハ千八百八十七年法律及ヒ千八百九十一年法律ヲ見ルヘシ

第二十一條 起業者ハ常設市場又ハ定期市場ニ於テ販賣スル物品ノ度量衡ヲ測定スルニ充分適當ナル測定ノ家屋又ハ場所ヲ設置シ同物品ヲ測定スヘキ必要アル期間中標準度量衡ニ據ル適當ノ秤尺樹機具ヲ同家屋又ハ場所内ニ設備シ總テ常務市場又ハ定期市場ノ開場期間中同物品ノ度量衡測定ニ從事セシムヘキ適當ノ職員ヲ任撰スヘシ

第二十二條 總テ常設市場又ハ定期市場ニ於テ物品ヲ販賣シ又ハ販賣スルタメ提供スル者ハ購買ノ請求ヲ受ケタルトキ起業者ノ設備セル秤尺樹機具ニ據リ同物品ノ度量衡ヲ測定セシムヘシ、總テ請求ヲ受ケ前記ノ方法ニ據リ同物品ノ度量衡ヲ測定スルコトヲ拒ム者ハ英貨四十「シルリング」以下ノ罰金ニ處スヘシ

第二十三條 總テ常設市場又ハ定期市場ニ於テ販賣スル物品ノ度量衡ヲ測定セシメンカタメ起業者ノ任撰セル職員カ請求ヲ受ケタルトキ同物品ノ度量衡測定ヲ拒ミ又ハ之レヲ怠ルトキハ英貨四十「シルリング」以下ノ罰金ニ處スヘシ

第二十四條 起業者ハ常設市場又ハ定期市場或ハ指定ノ區域内ニ於テ販賣スルタメ物品ヲ運搬スル車輛ノ斤量ヲ測定スルニ充分適當ナル家屋又ハ場所ヲ設置シ此目的ニ對シテ適當ナル機械及ヒ秤量ヲ同家屋又ハ場所内ニ設備シ請求ヲ受ケタルトキ物品ヲ積載シ又ハ之レヲ積載スルコトナキ車輛ノ斤量ヲ測定スヘキ同機械ヲ公衆ノ使用ニ供セシメンカタメ總テ同家屋又ハ場所内ニ時々職員ヲ任撰ス

ヘシ

第二十五條 總テ車輛ノ車掌ハ同物品ノ購買人又ハ販賣人或ハ其代理人ヨリ請求ヲ受ケタルトキ物品ヲ積載シ又ハ之レヲ積載スルコトナキ車輛ヲ前記斤量測定機ニ最モ接近スル位置ニ牽引シ其斤量ヲ測定スルコトヲ得セシムヘシ、車掌ハ車輛ノ斤量ヲ其積載物ト併セテ測定スヘキトキ請求ヲ受ケタルトキハ其積載物ヲ卸除セル後同車輛ヲ物品ヲ卸除セル場所ニ最モ接近スル位置ニ斤量測定機ヲ設備セル場所ニ牽引シ物品ヲ積載スルコトナク再ヒ其斤量ヲ測定セシムヘシ、車輛ノ所有人ハ車掌カ前記ノ目的ニ對シ同斤量測定機ニ往復スル距離ヲ併セ半「マイル」以上ノ距離ニ同車輛ヲ牽引スヘキ請求ヲ受ケタルトキ同車輛ヲ牽引スルニ使用スヘキ馬匹一頭ニ就キ初メノ半「マイル」ニ對シ英貨二「ペンス」ノ拂渡ヲ受ケ後チ半「マイル」ヲ増加スル毎ニ同一金額ノ拂渡ヲ受クヘシ、前記ノ方法ニ據リ同車輛ノ斤量測定ヲ請求スル者ハ車掌カ斤量測定ノ目的ニ對シ前記ノ方法ニ據リ同車輛ヲ牽引スル前同金額ノ拂渡ヲナスヘシ

第二十六條 總テ車輛ノ車掌カ前記ノ方法ニ據リ請求ヲ受ケ前記ノ方法ニ據リ同金額ノ拂渡又ハ提供ヲ受ケタルトキ同車輛ヲ前條ニ規定スル方法ニ據リ斤量測定機ヲ設備スル場所ニ牽引セサルトキ又ハ同車輛ノ斤量測定ニ協助スルコトヲ拒ムトキハ同車輛ノ斤量測定ヲ請求セル者ニ對シ英貨二十「シルリング」以下ノ金額ヲ賠償スヘシ

第二十七條 總テ本法又ハ特別法ノ規定ニ據リ設備スヘキ斤量測定機ニ據リ斤量ヲ測定スヘキ車輛ノ

車掌カ左ノ不法行爲ヲナストキハ各不法行爲ニ對シ英貨五「バウンド」以下ノ罰金ニ處スヘシ、(即チ左ノ如シ)

車掌カ總テ車輛ノ斤量ヲ測定スルトキ故意ニ同車輛ノ固定積載物ニアラサル他ノ物品ヲ同車輛内又ハ其附近ニ置キタルトキ

車掌カ總テ車輛又ハ其積載物ノ斤量ヲ示ス紙票ヲ變更セルトキ

車掌カ總テ車輛又ハ其積載物ノ斤量ヲ偽書スル紙票ヲ製造シ又ハ之ヲ使用シ或ハ其製造又ハ使用ヲ幫助セルトキ

車掌カ總テ車輛ノ斤量ヲ其積載物ト併セテ測定セル後チ同積載物ノ一部ヲ除去シ同積載物ノ殘部ヲ同紙票中ニ示ス積載物ノ全部トナシテ之レヲ處理シ又ハ處理セントシ或ハ之レヲ言表セルトキ
車掌カ車輛及ヒ其積載物ノ斤量ヲ併セテ測定セル時及ヒ同積載物ヲ卸除シテ同車輛ノ斤量ヲ測定セル間ニ於テ同車輛ノ車輪ヲ變更シ又ハ積載物ヲ卸除シテ同車輛ノ斤量ヲ測定セシムヘキ請求ヲ受ケタル後チ同車輛ニ對シ總テ其他ノ變更ヲ加ヘタルトキ

車掌カ總テ車輛又ハ其積載物ノ斤量ヲ錯誤セントスル總テ其他不正ノ行爲ヲナシタルトキ

第二十八條 總テ常設市場又ハ定期市場内ニ於テ販賣スルタメ車輛ニ據テ運搬シ且ツ前記ノ方法ニ據リ斤量ヲ測定スルコトヲ要スヘキ物品ノ購買人又ハ販賣人カ同車輛又ハ其積載物ニ對シ斤量ヲ測定スル前ニ於テ其真正ノ斤量ヲ測定スヘキ行爲ヲナシタルトキハ該不法行爲アル毎ニ英貨五「バウン

ド」以下ノ罰金ニ處スヘシ

第二十九條 總テ本法又ハ特別法ノ規定ニ據リ設備セル斤量測定機ヲ保管セシムルタメ一定ノ期間ニ對シ任撰セル職員カ左ニ示ス行爲ヲナシタルトキハ英貨五「バウンド」以下ノ罰金ニ處スヘシ、(即チ左ノ如シ)

同職員カ總テ自己ノ保管スル測定機ニ據リ斤量ヲ測定センカタメニ牽引セル場合ノ如何ニ據リ物品ヲ積載シ又ハ之レヲ積載スルコトナキ車輛ノ斤量ヲ測定スヘキ規定ノ手續ニ據リ請求ヲ受ケ故意ニ其測定ヲ怠リタルトキ

同職員カ總テ場合ノ如何ニ據リ物品ヲ積載シ又ハ之レヲ積載スルコトナキ車輛ノ斤量ヲ適當ニ測定セサルトキ

同職員カ請求ヲ受ケタルトキ總テ積載物ノ購買人又ハ販賣人或ハ總テ關係アル當事者ニ請求ノ如何ニ據リ物品ヲ積載シ又ハ之レヲ積載スルコトナキ車輛ノ真正ノ斤量ヲ記載スル紙票又ハ計算書ヲ交附セサルトキ

同職員カ總テ車輛ノ車掌ニ物品ヲ積載シ又ハ之レヲ積載スルコトナキ車輛ノ斤量ニ關スル不正ノ紙票又ハ計算書ヲ交附セルトキ

同職員カ車輛又ハ其積載物ニ對シ真正ノ斤量ヲ變更セントスル行爲アルコトヲ知リテ物品ヲ積載シ又ハ之レヲ積載スルコトナキ車輛ノ斤量ヲ測定セルトキ

同職員カ總テ車輛又ハ其積載物ノ斤量ニ關スル不正ノ行爲ヲ故意ニ幫助シ又ハ默許シ或ハ同斤量ニ關スル不正ノ記載ヲナシ又ハ之レヲナスコトヲ默許セルトキ

第三十條 總テ本法又ハ特別法ノ規定ニ據ル車輛又ハ其積載物ノ斤量測定又ハ斤量ニ關シテ故意ニ不正ノ行爲ヲナシ又ハ之レヲナスコトヲ幫助セル者ハ該不法行爲アル毎ニ英貨五「パウンド」以下ノ罰金ニ處スヘシ

起業者カ徵收スヘキ屋舎料地代及ヒ税金ニ關シ左ノ規定ヲ議決セシム

註 市場ニ關シ帝國議會ノ協賛ヲ經テ徵收スル税金及ヒ料金ノ金額ハ地方收稅報告ニ關スル千八百六十年及ヒ千八百七十七年法律(本書中「地方廳」ノ項ニアリ)ノ規定ニ據リ毎年度之レヲ地方廳ニ還納スヘシ但シ本規定ハ總テ合資會社カ其事業ノ利得トシテ徵收スル税金又ハ料金或ハ總テ時効ニ據リ又ハ其他私有財産トシテ徵收スル税金又ハ料金ニ對シ之レヲ適用セサルモノトス

市場ノ借地人ニ對シ税金ヲ徵收スヘキ時期ニ關シテハ「アー」對「カツスウエル」事件「カツスウエル」對「ウルヴァーハムプトン」市監査役事件「バーシー」對「アツシフオード」組合事件ヲ看ルヘシ

第三十一條 起業者ハ特別法中ニ他ノ規定ヲ設クルコトナキトキ使用料ヲ要求スヘキ常設市場又ハ定期市場ヲ開設スヘキ場所或ハ屠殺所完成シ同所ニ出入スル者ノ使用ニ堪ユルニ至ルマテ總テ屋舎料(註)地代又ハ税金ヲ要求シ又ハ之レヲ收受スルコトヲ得ス

(註)「グレート、ヤーマウス」市長對「グルーム」事件ヲ看ルヘシ

第三十二條 總テ裁判官二名ノ署名ヲ有スル證書ハ前條ニ規定スルカ如ク同所完成シ公共ノ使用ニ堪ユル確定證明ナリトス、總テ裁判官ハ常設市場又ハ定期市場ヲ開設スヘキ場所或ハ屠殺所完成シ公共ノ使用ニ堪ユル證明ヲ得タルトキ同證書ニ署名スヘシ

第三十三條 常設市場又ハ定期市場或ハ屠殺所ニ對シ納付スヘキ諸種ノ屋舎料、地代又ハ税金ハ起業者又ハ集金役或ハ其他起業者カ同金額ヲ收受セシムルタメ任撰セル職員ヨリ要求ヲ受ケタル時毎ニ之レヲ拂渡スヘシ

第三十四條 市場ニ於テ販賣スル物品或ハ物品ヲ積載シ又ハ之レヲ積載スルコトナキ車輛ノ度量衡測定ニ對シ納附スヘキ税金ハ度量衡ヲ測定スヘキ市場ニ於テ販賣スル物品又ハ車輛ヲ携帯スル者ヲシテ同物件ノ度量衡ヲ測定セシメンカタメ起業者ノ任撰セル職員ニ同物件ノ度量衡ヲ測定スル前ニ於テ之レヲ拂渡スヘシ

第三十五條 販賣スルタメ市場ニ携帯セル畜類ニ納附スヘキ税金ハ税金ヲ徵收スヘキ畜類ヲ市場ニ携帯セルトキ同畜類ヲ欄舎内ニ入レ又ハ市場内一定ノ場所ニ繫留スル前ニ於テ之レヲ徵收スヘシ、市場ヲ閉鎖セル後チ一時間以内ニ於テ畜類ヲ去移セサルトキハ去移スルコトヲ怠リタル畜類ニ對シ更ニ他ノ税金ヲ徵收スヘシ

第三十六條 起業者ハ常設市場又ハ定期市場ニ對シ或ハ屠殺所ニ對シ或ハ度量衡ノ測定ニ對シ徵收スヘキ屋舎料、地代及ヒ税金ノ金額ヲ時々變更スルコトヲ得但シ同屋舎料、地代及ヒ税金ハ特別法中

ニ規定スル金額ヲ超過スルコトヲ得ス

第三十七條 總テ本法又ハ特別法ノ規定ニ據リ徵收スヘキ認可ヲ得タル税金額以上ノ税金ヲ要求シ又ハ收受セル者ハ該不法行為アル毎ニ英貨四十「シルリング」以下ノ罰金ニ處スヘシ

第三十八條 起業者又ハ其借地人或ハ起業者又ハ其借地人カ集金セシムルタメ任撰セル職員ハ總テ本法又ハ特別法ノ規定ニ據リ徵收スヘキ認可ヲ得タル屋舎料、地代又ハ税金ヲ納附スヘキ義務アル者ハ要求ヲ受ケテ之レヲ納附セサルトキ總テ屋舎料、地代又ハ税金ヲ納附スヘキ畜類又ハ其他物品ノ全部又ハ一部或ハ同屋舎料、地代又ハ税金ヲ納附スヘキ義務アル者ノ所有ニ屬シ又ハ其管理ノ下ニアル其他ノ畜類又ハ市場ニアル其他物品ノ全部又ハ一部ニ對シ英國又ハ愛蘭ニ於テハ差押ヲ行ヒ蘇格蘭ニ於テハ差押及ヒ公賣ヲ行ヒ同金額ヲ徵收スルコトヲ得或ハ總テ當該管轄權ヲ有スル裁判所ニ於テ同税金ノ徵收ヲ求ムルコトヲ得

第三十九條 總テ屋舎料、地代又ハ税金ニ關シ異議ヲ生スルトキ英國又ハ愛蘭ニ於テハ裁判官蘇格蘭ニ於テハ司法官同異議ヲ判決スヘシ、同裁判官又ハ司法官ハ請求ヲ受ケタルトキ同異議ヲ判決シ判決命令書ヲ作成シ兩當事者中適當ト認ムル者ニ對シ同裁判費ノ納附ヲ指定スヘシ、要求ヲ受ケタル後チ指定スヘキ金額及ヒ裁判費ヲ納附セサルトキ英國又ハ愛蘭ニ於テ差押ヲ行ヒ蘇格蘭ニ於テハ差押及ヒ公賣ヲ行ヒ同金額及ヒ裁判費ヲ徵收スヘシ、當該裁判官又ハ司法官ハ同手續ヲ執行スヘキ命令狀ヲ發スヘシ

第四十條 總テ本法又ハ特別法ノ規定ニ據リ認可ヲ得タル屋舎料、地代又ハ税金ヲ蒐集スルタメ任撰セル職員ニ對シ暴行脅迫又ハ阻害ヲ加ヘタル者ハ該不法行為アル毎ニ英貨四十「シルリング」以下ノ罰金ニ處スヘシ

第四十一條 起業者又ハ其借地人ハ本法及ヒ特別法ノ規定ニ據リ時々納附スヘキ諸種屋舎料、地代及ヒ税金ノ表ヲ讀ミ易キ大字形ヲ以テ時々揭示板ニ塗書セシメ又ハ印刷物トナシテ之レヲ揭示板ニ貼付セシメ、同表ヲ示ス揭示板ヲ總テ同表ヲ適用スヘキ起業者ノ設置セル常設市場又ハ定期市場、斤量測定所、及ヒ屠殺所内ノ注意ヲ惹キ易キ場所ニ繼續建立セシムヘシ、同表ヲ建立スルコトナキ期間又ハ總テ同表中ニ掲載スルコトナキモノニ對シテハ屋舎料、地代又ハ税金ヲ納附スルコトヲ要セス、但シ同表破壊シ破損シ又ハ磨滅セルトキハ同表ノ復舊ニ當然必要ナルヘキ期間同表カ本法中ニ規定スル状態ニ於テ繼續存在スル場合ト同様ニ屋舎料、地代及ヒ税金ノ納附ヲ繼續スヘシ起業者カ制定スヘキ附則ニ關シ左ノ規定ヲ議決セシム

第四十二條 起業者ハ左ニ掲クル目的ノ全部又ハ一部ニ對シ適宜ト認ムヘキ附則ヲ時々制定スルコトヲ得

常設市場及ヒ定期市場並ヒニ同場内ニアル家屋、厩舎、欄舎及ヒ建設物ノ使用ヲ規定スルコト、
同場内又ハ同場ニ列ル直達道路上ニアル障害又ハ阻害ヲ豫防スルコト
常設市場又ハ定期市場ヲ開場スル期日及ヒ各期中ノ時間ヲ一定スルコト

屠殺所ヲ検査スルコト、同所ノ清潔且ツ適宜ナル状態ヲ維持スルコト、汚物及ヒ廢物ヲ每二十四時間内ニ一回又ハ一回以上除去スルコト、同所ニ於ケル用水ノ供給ヲ充分ナラシムヘキ設備ヲ實施シ且ツ同所ニ於テ殘忍ノ行爲アルヲ豫防スルコト

常設市場又ハ定期市場ニ出入スル擔夫ノ秩序ヲ規定シ同市場ヨリ特別法中ニ規定スル區域内ニ運送スヘキ物品ノ運賃ヲ一定スルコト

起業者ノ設備セル斤量測定機ノ使用ヲ規定スルコト、不正又ハ不完全ナル秤尺榘機具ノ使用ヲ豫防スルコト

常設市場又ハ定期市場ニ於テ不良食品ヲ販賣シ又ハ販賣スルタメ陳列スルコトヲ豫防スルコト
起業者ハ適宜ト認ムルトキ總テ同附則ヲ廢止シ又ハ之レヲ變更スルコトヲ得、但シ同附則ハ之ヲ適用スヘキ聯合帝國内ノ地方ニ於テ實施スル法律或ハ本法又ハ特別法又ハ總テ之レニ編入セル法律ノ規定ニ抵觸スルコトヲ得ス(註)同附則ハ之レヲ文書トナシ起業者カ社團ヲ組織スルトキハ同起業者ノ共通印章ヲ附シ起業者カ社團ヲ組織セサルトキハ同起業者中二名ノ署名、及ヒ印章ヲ附スヘシ、同附則中役員及ヒ起業者ノ使用人ニアラサル其他ノ者ニ關スル規定アルトキハ本條ニ規定スル方法ニ據リ之レヲ印刷物トナシ配布スヘシ

(註)「サヴェーション」對「ブルック」事件ヲ看ルヘシ

第四十三條 起業者ハ自己ノ制定セル附則ニ據リ同附則ノ違犯ニ對シ適當ト認ムル至當ノ制裁トシテ

英貨五「パウンド」以下ノ罰金ヲ課スルコトヲ得、但シ同附則ハ總テ其規定ニ據リ課シタル罰金ノ償還ヲ求ムル起訴アリタルトキ裁判官又ハ司法官ヲシテ同罰金ノ全部又ハ一部ノ納附ヲ命令スルコトヲ得セシムヘキ方法ニ於テ之レヲ制定スヘシ

第四十四條 總テ本法又ハ特別法ノ規定ニ據リ制定セル附則(但シ役員又ハ起業者ノ使用人ノミニ關スル規定ヲ除ク)ハ特別法中ニ規定スル方法ニ據リ許可ヲ得ルニ至ルマテ或ハ總テ同方法ヲ規定スルコトナキトキ常設市場又ハ定期市場ノ所在地英國又ハ愛蘭ナルトキハ四季、巡回裁判ノ裁判官ヨリ又ハ同市場ノ所在地蘇格蘭ナルトキハ司法官ヨリ許可ヲ得且ツ該二個ノ場合ニ對シ當該國務大臣一名ノ署名ヲ經テ許可ヲ得ルニ至ルマテ之レヲ實施スルコトヲ得ス、四季巡回裁判ノ裁判官又ハ司法官ハ場合ノ如何ニ據リ起業者ノ請求ヲ受ケタルトキ檢閲ノ目的ヲ以テ同起業者ヨリ提出セル附則ヲ閱査シ適宜ト認ムルトキハ同附則ノ實施ヲ許可シ又ハ之レヲ許可セサル責務ヲ有スルモノトス

第四十五條 總テ附則ハ其實施許可ヲ請求スル意志ノ告示ヲ同請求ヲ受理スル前一ヶ月又ハ一ヶ月以上ノ期間ニ對シ常設市場又ハ定期市場ノ所在地タル郡ノ新聞紙一種又ハ一種以上或ハ同郡中ニ新聞紙ナキトキハ之レニ隣接スル郡ノ新聞紙一種又ハ一種以上ニ掲載セル場合ニ限り本法中ニ規定スル方法ニ據リ其實施ヲ許可スヘシ、總テ同附則ノタメニ侵害ヲ蒙レル當事者ハ同附則ノ實施許可ニ對スル請求ヲ受理スル時日ヨリ十日前ニ異議ノ性質ヲ示ス告知ヲ起業者ニ交附シ自己又ハ自己ノ辯護人委任者又ハ代理人ヲ以テ同許可ノ審理ニ發言スルコトヲ得但シ同一種類ノ異議ニ對シ當事者一名

以上ノ發言ヲ許可セサルモノトス

第四十六條、總テ附則ノ實施許可ヲ請求スル時日前一ヶ月又ハ一ヶ月以上ノ期間内同附則提案ノ抄本ヲ起業者ノ主要ナル事務所ニ保管シ常設市場又ハ定期市場内ニアル注意ヲ惹キ易キ場所ニ揭示スヘシ、總テ何人ヲ問ハス適當ノ期限内ニ料金又ハ報酬ヲ要スルコトナク同抄本ヲ閱覽スルコトヲ得、起業者ハ總テ請求者ニ同抄本ノ全部又ハ一部ヲ交附スヘシ但シ謄寫スヘキ語數每一百ニ對シ英貨六「ペンス」ヲ徵收スルモノトス

第四十七條 同附則ハ規定ノ方法ニ據リ之レヲ公表スヘシ、公表スル方法ニ關シ特ニ規定ヲ設ケサルトキハ之レヲ印刷物トナスヘシ

起業者ノ事務員ハ總テ請求者ニ手数料ヲ徵收スルコトナク同印刷物ヲ交附スヘシ、同印刷物ハ之レヲ揭示板ニ記載シ又ハ貼付シ起業者ノ必要ナル事務所内ニアル注意ヲ惹キ易キ場所及ヒ常設市場又ハ定期市場内ニアル注意ヲ惹キ易キ場所ニ揭示スヘシ、附則ヲ掲載スル同揭示板ハ必要ヲ認ムル毎ニ時々之レヲ改造シ料金又ハ報酬ヲ要スルコトナク總テ請求者ノ閱覽ニ供スヘシ、同事務者カ請求者ニ對シ適當ノ期限内ニ同揭示板ヲ閱覽スルコトヲ拒ムトキハ該不法行爲アル毎ニ英貨五「パウン」以下ノ罰金ニ處スヘシ

第四十八條 總テ本法及ヒ特別法ノ規定ニ據リ制定シ許可セル附則ヲ公表揭示セルトキハ總テ當事者ヲ拘束シ之レヲ遵守セシムル効力ヲ有シ總テ同附則ノ適用ヲ受クル者ニ對シ適法ノ令狀タル効力ヲ

有スルモノトス

第四十九條 附則ヲ認可スヘキ四季巡回裁判所判事又ハ同裁判所長又ハ同法官ノ署名ヲ經テ立證セル後チ同裁判所又ハ同法官ノ許可ヲ要シ且當該國務大臣一名ノ署名ヲ經テ認可ヲ受クルコトヲ要スヘキ同附則ヲ記載スル文書又ハ印刷物並ヒニ起業者カ社團ヲ組織スルトキハ同起業者ノ共通印章ヲ附シ起業者カ社團ヲ組織セサルトキハ同起業者全部又ハ二名ノ署名ヲ經テ立證セル後チ前記ノ許可又ハ認可ヲ受クルコトヲ要セサル同附則ヲ記載スル文書又ハ印刷物ハ總テ同附則ノ規定ニ據リ起訴スルトキ同裁判所判事又ハ同裁判所長又ハ同法官ノ署名或ハ同起業者ノ共通印章又ハ署名ニ據リ證明ヲ要スルコトナク同附則ノ存在及ヒ制定ヲ示ス證據物タルモノトス、總テ同附則ヲ公表セル事實ノ證明ハ同附則ヲ記載スル揭示板ヲ本法中ニ規定スル方法ニ據リテ揭示シ且ツ揭示ヲ繼續セル事實並ヒニ同揭示板ヲ除去シ又ハ破損セルトキハ適宜ノ時日ヲ經テ之レヲ再設シ又ハ復舊セル事實ヲ證明スルヲ以テ充分ナリトス但シ起訴當事者カ同揭示板ニ同附則ヲ記載スルコトナク或ハ本法中ニ規定スル方法ニ據リ同揭示板ヲ揭示シ又ハ揭示ヲ繼續セルコトナキ事實ノ證明ヲ提起スルトキハ此限ニアラス

第五十條 起業者ノ調製スヘキ收支決算書ニ關シ左ノ規定ヲ議決セシム、起業者ハ毎年十二月三十一日又ハ其他便宜ノ時日ヲ末日トスル年度中總テ本法又ハ特別法ノ規定ニ據リ徵收セル料金及ヒ其他金錢ノ收入及ヒ支出ノ全部ヲ示ス年度決算摘要書ヲ毎年調製シ同書中ニハ收入及ヒ支出ヲ詳ニスル

各種項目ヲ設ケ收支決算ノ對照ヲ掲ケ同書ニ對シテ起業者中ノ役員長及ヒ會計検査役ヲ設クルトキハ同検査役ノ検査又ハ證明ヲ附シ同決算書ヲ結了スヘキ時日ヨリ一ヶ月期滿又ハ期滿前ノ時日ニ於テ郵税ヲ要スルコトナク英國及ヒ愛蘭ニ於テハ治安警察官吏ニ蘇格蘭ニ於テハ常設市場又ハ定期市場ノ所在地タル郡ノ司法警察官吏ニ送附シ閱覽料トシテ毎回英貨二「シルリング」ヲ徴收シ總テ適當ノ時間内ニ公衆ノ閱覽ニ供スヘシ、起業者カ前記ノ方法ニ據リ同決算書ノ調製又ハ送附ヲ怠ルトキハ該怠慢アル毎ニ英貨二十「バウンド」ノ罰金ニ處スヘシ

第五十一條 賠償金ノ提出ニ關シ左ノ規定ヲ議決セシム、總テ本法又ハ特別法又ハ總テ之レニ編入セラル法律ノ規定或ハ同法律ニ據リ附與セル權限又ハ認可ノ執行上錯誤、違犯又ハ其他不法ノ行爲ヲナシタル者アルトキ同事件ニ關シ起訴スル前加害者ヨリ被害者ニ充分ノ賠償金ヲ提出セルトキハ同事件ニ關シ被害者ヨリ起訴スルコトヲ得ス、但シ同賠償金ヲ提出セザルトキハ總テ口頭辯論ヲ開始スル時日前同事件ヲ審理スル裁判所ノ許可ヲ得テ被告ヨリ自己ノ適宜ト認ムル金額ヲ同裁判所ニ納付スルコトヲ得、同事件ニ關スル裁判ハ被告カ裁判所ニ納金スルコトヲ許可スル其他ノ事件ト同様ニ之レヲ進行セシムヘシ

罰金及ヒ特ニ規定ヲ設クルコトナキ賠償金ノ還附並ヒニ其他總テ英國又ハ愛蘭ニ於テハ裁判官ニ蘇格蘭ニ於テハ司法官又ハ裁判官ニ提出スヘキ事件ノ決定ニ關シ左ノ規定ヲ議決セシム

第五十二條 常設市場及ヒ定期市場ノ所在地英國又ハ愛蘭ナルトキハ罰金及ヒ特ニ規定ヲ設クルコトナキ賠償金ノ還附並ヒニ其他總テ裁判官ニ提出スヘキ事件ノ決定ニ關シ鐵道規定ノ綜合ニ關スル千八百四十五年法律（註）ヲ本法及ヒ特別法中ニ編入スヘシ、常設市場及ヒ定期市場ノ所在地蘇格蘭ナルトキハ罰金及ヒ特ニ規定ヲ設クルコトナキ賠償金ノ還附並ヒニ其他總テ司法官又ハ裁判官ニ提出スヘキ事件ノ決定ニ關シ鐵道規定ノ綜合ニ關スル千八百四十五年（蘇格蘭）法律ヲ本法及ヒ特別法中ニ編入スヘシ、同規定ハ常設市場又ハ定期市場及ヒ起業者ニ對シテ各々之レヲ適用シ同規定中ニアル「商社」ト云フ語ニ對シテハ「起業者」ト云フ語ヲ代用セルモノト認ムヘシ

（註） **ヴィクトーリア**帝在位第八年及ヒ第九年法律第二十號自第四百十條至第六百六十一條本書中「鐵道」ノ項ニアリ

第五十四條 左ノ規定ヲ議決セシム、總テ本法又ハ特別法中ニアル規定ハ皇帝陛下ノ關稅又ハ國產稅或ハ其他總テ帝室ノ收入ニ關スル總テ帝國議會ノ協賛ヲ經タル法律ニ適用シ又ハ之レヲ變更シ或ハ總テ帝室ノ權利又ハ總テ其他ノ事項ニ關スル皇帝陛下ノ要求或ハ總テ大英聯合帝國及ヒ愛蘭ノ一部分ニ於テ皇帝陛下ヨリ又ハ皇帝陛下ニ代テ提起セル法律又ハ衡平法上ノ訴訟ニ適用シ又ハ之レヲ變更スルコトナキモノトス

第五十五條 總テ裁判官二名ノ許可ヲ得又ハ其審理ニ附スルコトヲ要スヘキ本法又ハ特別法或ハ總テ之レニ編入セル法律中ニ規定スル事項ハ之レヲ英國及ヒ愛蘭ニ於テハ法律ノ規定ニ據リ總テノ事項ニ對シ裁判官二名又ハ二名以上ノ權限ヲ以テ單獨ノ處置ヲナス權限ヲ有スル當該法官一名蘇格蘭ニ

於テハ總テ郡領地又ハ區ノ司法官又ハ代官或ハ其代理者ノ審理ニ附スルコトヲ得且ツ其審理ニ附スヘシ

第五十六條 總テ市内警察管轄區域内ニ於テ發生セル不法行爲ニ關シ本法又ハ特別法或ハ總テ之レニ編入セル法律中ニ規定スル罰金又ハ沒收金ハ之レヲ還附シ強行シ限定スヘシ、其適用ニ關シ特ニ他ノ規定ヲ設ケサルトキハ市内警察管轄區域ニ對スル收納官吏ニ之レヲ納附スヘシ、且ツ醉狂者又ハ職務上ノ過失アル警察官吏又ハ警察官吏ニ對シ暴行脅迫ヲ加ヘタル者ヲ處刑スヘキ罰金ニアラサル他ノ罰金又ハ沒收金ヲ還附シ強行シ限定シ納附シ且ツ「市内警察署規則」(註)ト稱スル今帝在位第三年法律ノ規定ニ據リ之レヲ適用スルモノト同一ノ方法ニ據リ之レヲ適用スヘシ、總テ沒收金又ハ罰金ニ關スル警察官吏ノ命令又ハ判決ニ對シテハ總テ同警察官吏ノ命令又ハ判決ニ關シ同法律中ニ規定スルモノト同一ノ方法ニ據リ控訴シ且ツ同一ノ條件ニ據ルヘシ、總テ命令又ハ判決ヲ下スヘキ警察官吏ハ訊問ヲ受クヘキ證人ニ對シ同一ノ權能ヲ有スヘシ、同證人ハ同法律ノ規定ニ據リ命令又ハ判決ヲ下シ又ハ控訴ヲナセルトキ給與ヲ受ケ又ハ受クヘキモノト同一ノ方法ニ據リ費用ノ給與ヲ受クヘシ

(註) 市内警察ニ關スル千八百三十九年法律本書中「警察(市内)」ノ項ニアリ

第五十七條 總テ本法又ハ特別法或ハ總テ之レニ編入セル法律ノ規定ニ據リ宣誓ヲ經テ訊問ヲ受ケタルトキ故意又ハ不正手段ニ據リ偽證ヲ陳述セル者ハ故意又ハ不正手段ニ據リ虛偽ノ宣誓ヲナセル者

ニ課スヘキ罰金ニ處スヘシ

(註) ジオーシ第二世帝在位第二年法律第二十五號第二條ヲ看ルヘシ本書中「刑法(裁判官等ニ對スル不法行爲)」ノ項ニアリ

特別法ノ適用ニ關シ左ノ規定ヲ議決セシム

第五十八條 起業者ハ特別法議決ノ時日ヨリ滿六ヶ月ヲ經タル後チ主要ノ事務所内ニ帝室印刷師又ハ其若干名ノ印刷ニ係ル同特別法ノ印刷物ヲ保管シ且ツ同六ヶ月ノ期間内ニ英國又ハ愛蘭ニ於テハ起業地タル郡ノ治安警察官署蘇格蘭ニ於テハ起業地タル郡ノ司法官署ニ前記ノ方法ニ據リ印刷セル同特別法ノ印刷物ヲ委託スヘシ、同治安警察官吏及ヒ司法官吏ハ同特別法ノ印刷物ヲ收受シ同官吏及ヒ起業者ハ同印刷物ヲ保管シ總テ關係アル當事者ニ同印刷物ノ閱覽ヲ許可シ同印刷物ノ拔萃又ハ抄本ヲ調製スヘシ、但シ「帝國議會兩議院ノ現行規則ノ規定ニ據リ郡ノ治安警察官吏及ヒ其他ノ者ニ委託スヘキ文書ヲ同官吏及ヒ其他ノ者ニ保管セシムヘキ法律」(註)ト稱スル今帝在位第一年法律中一定ノ考案及ヒ區分ニ關シ規定ヲ設ケタルモノト同一ノ方法及ヒ同一ノ條件ニ據リ之レヲ怠リタルトキハ同一ノ罰金ニ處スヘシ

(註) 帝國議會ノ文書委託ニ關スル千八百三十七年法律 本書中「帝國議會決議書」ノ項ニアリ
第五十九條 起業者カ前條ニ規定スル方法ニ據リ總テ同特別法ノ印刷物ヲ保管シ又ハ委託スルコトヲ怠リタルトキハ該不法行爲アル毎ニ英貨二十「パウンド」ノ罰金ニ處シ規定ノ日限ヲ經過セル後チ同

印刷物ヲ保管シ又ハ委託セサル日數ニ對シ毎日英貨五「バウンド」ノ罰金ニ處スヘシ

市内定期市場ニ關スル千八百六十八年(法律)

(註) 定期市場内ニ於テ酩酊セシムル酒類ノ販賣規定ニ關シテハ許可ニ關スル千八百七十四年法律第十八條ヲ看ルヘシ本書中「酩酊セシムル酒類」ノ項ニアリ

定期市場表ハ市場ノ權利及ヒ税金ニ關スル政府委員ノ第一回報告書追加第二十一號ニ之レヲ掲載セリ

●ウイクトーリア帝在位第三十一年及ヒ第三十二年法律第百〇六號、市内警察管轄區域ノ範圍

内ニ於テ違法ノ定期市場ヲ開場スルコトヲ豫防スル法律千八百六十八年七月三十一日公布

市内警察管轄區域内ニ於テ違法ノ定期市場ヲ開場スルコトヲ豫防スルタメ更ニ權限ヲ附與スルコトヲ便宜ナリト認ムルニ據リ茲ニ左ノ規定ヲ議決セシム

第一條 本法ハ總テ之レヲ引用スル目的ニ對シ「市内定期市場ニ關スル千八百六十八年法律」ト稱ス

第二條 當該警察署長ハ最近七ヶ年ノ期間内毎年定期市場ヲ開場セル土地ニアラサル市内警察管轄區域内ノ土地ニ於テ定期市場ヲ開場シ又ハ開場セントスル告知ヲ掲クル者アルトキ市内警察部一名ヲ同處ニ派遣シテ定期市場ヲ開場スル土地ノ所有人又ハ占有人ヲ即刻又ハ特ニ召喚狀ニ指定スル時刻ニ當該法官ノ面前ニ出頭セシメ同定期市場ヲ開場スル權利及ヒ權限ノ有無ヲ示サシムヘシ、當該法官ハ同所有人又ハ占有人カ同召喚ニ應シテ出頭スルコトナク又ハ同事件ヲ審理スル當該法官ヲシテ

適法ニ同定期市場ヲ開場スルコトヲ認メシムヘキ充分ノ理由ヲ示サ、ルトキ同定期市場ヲ違法ト認ムル宣告書ヲ作成スヘシ、當該警察署長ハ同宣告書ヲ同定期市場ヲ開場シ又ハ開場セントスル土地及ヒ其附近ニ揭示シ同宣告ヲ告知スヘシ、當該警察署長ハ六時間同告知ヲ揭示セル後チ警察官吏ヲ同處ニ派遣シ總テ同定期市場ヲ開場シ又ハ開場ヲ繼續スル目的ヲ以テ同處ニ運搬シ又ハ設置スル假屋建設物及ヒ天幕並ヒニ各種車輛ヲ撤去シ總テ同假屋、建設物又ハ天幕ヲ建立シ刺立シ又ハ固立セル者或ハ之レヲ建立シ刺立シ又ハ固立スルコトヲ協助セル者ヲ拘留スルコトヲ得、總テ同車輛ヲ賃借シ之レニ隨伴シ又ハ之レニ便乗セル者並ヒニ總テ賭博又ハ娛樂ノ觀覽物又ハ器具ヲ以テ同處ニ出入スル者並ヒニ總テ前記ノ不法行爲ニ對シ當該裁判官ヨリ有罪ノ宣告ヲ受ケタル者ハ英貨十「バウンド」以下ノ罰金ニ處スヘシ

第三條 本法ノ規定ニ據ル召喚狀ハ總テ土地ノ所有人又ハ占有人ニ直接之レヲ交附シ或ハ本人ノ普通又ハ最近ノ住所ニ之レヲ送達シ或ハ警察官吏カ同所有人又ハ占有人ノ氏名又ハ其住所ヲ知ラサルトキハ定期市場ヲ開場シ又ハ開場セントスル土地内ノ注意ヲ惹キ易キ場所ニ同召喚狀ヲ揭示スルコトヲ得、同召喚狀ニハ所有人又ハ占有人ノ氏名ヲ記スルコトヲ要ス唯土地ノ所有人又ハ占有人ト記スルノミヲ以テ足ルモノトス

第四條 總テ本法ノ規定ニ據リ附與セル權限ハ總テ帝國議會ノ協賛ヲ經タル其他ノ法律ニ據リ附與セル其他ノ權限ヲ破毀スルモノニアラスシテ同權限ニ附加スルモノト認ムヘシ

總テ其他ノ同權限ハ本法カ帝國議會ノ協賛ヲ經サルモノト見做シ之レヲ行使スルコトヲ得

第五條 本法ハ其趣旨ニ適合スル範圍内ニ於テ總テ市内警察ニ關スル法律(註)ニ合一スルモノト認ム
ヘシ

(註) ヴィクトーリア帝在位第三十年及ヒ第三十一年法律第百三十四號第二十一條ニ據リ修正セ
ルヴィクトーリア帝在位第二年及ヒ第三年法律第四十七號第三十九條及ヒ第四十條ヲ看ルヘシ、
本書中「警察(市内)」ノ項ニアリ

●定期市場ニ關スル千八百七十一年法律

ヴィクトーリア帝在位第三十四年及ヒ第三十五年法律第十二號、英國及ヒウエールズニ於ケル
定期市場ニ關スル法律ヲ更ニ修正スル法律 千八百七十一年五月二十五日公布

英國及ヒウエールズニ於テ開場スル定期市場中存在ノ必要ナキモノアリ風俗ヲ害スルコト重大ナル
起因トナルモノアリ同市場ヲ開場スル都市ノ人民ニ對シ有害ナルコト甚タシキモノアルカ故ニ同市
場ノ廢止ヲ容易ナラシムヘキ規定ヲ設クルコトヲ便宜ナリト認ムルニ據リ茲ニ左ノ規定ヲ議決セシ
ム

第一條 本法ハ「定期市場ニ關スル千八百七十一年法律」ト稱シ之レヲ引用スルコトヲ得

第二條 本法中ニ「所有人」ト稱スルモノハ總テ土地又ハ采地ヲ所有スル理由ニ據リ或ハ總テ特許狀、
委任狀又ハ帝國議會ノ協賛ヲ經タル法律又ハ其他ノ理由ニ據リ定期市場ヲ開場スル權利アル者一名

又ハ若干名或ハ委員ノ團體或ハ社團ヲ云フモノトス

第三條 內務大臣ハ總テ定期市場ヲ開場スル裁判所管轄小區域内ノ當該法官或ハ英國又ハウエールズ
ニ於ケル定期市場ノ所有人ヨリ同大臣ニ提出セル申請ニ據リ公衆ノ便宜又ハ便益上同市場ヲ廢止ス
ルコトヲ適當ナリト認メタルトキ同市場ノ開場中或ハ同市場ニ附帶スル税金又ハ料金ノ徵收中所有
人ニ對シ文書ニ據リ豫メ同意ヲ求メタル後チ同市場ヲ廢止スヘキコトヲ命令スヘシ、總テ同申請及
ヒ內務大臣カ同申請ニ對シ處分スルヲ適宜ナリト認ムル時日ノ告知ハ同申請ニ對シ處分スル前「ラ
ンダン、ガゼット」ニ一回及ヒ同市場ヲ開場スル郡、市又ハ「バロー」(選舉市)ニ於テ發行スル同
種ノ若干新聞紙或ハ同所ニ於テ新聞紙ヲ發行スルコトナキトキハ同所ニ隣接シ又ハ接近スル其他ノ
若干郡ニ於テ發行スル新聞紙ニ繼續三週間之ヲ掲載スヘシ

第四條 內務大臣カ前記ノ方法ニ據リ同命令ヲ發スル告知ヲ「ランダン、ガゼット」及ヒ同定期市場ヲ
普通開場スル郡、市又ハ「バロー」(選舉市)ニ於テ發行スル若干新聞紙又ハ同所ニ於テ新聞紙ヲ發行
スルコトナキトキハ同所ニ隣接シ又ハ接近スル其他ノ若干郡ニ於テ發行スル新聞紙ニ掲載シ後チ同
市場ヲ廢止スヘシ(註)

(註) 本法ノ規定ニ據リ夥多定期市場(千八百七十一年及ヒ千八百七十二年ノミニ於テ其數一百
以上ニ及ヘリ)ヲ廢止セリ、假令千八百七十六年六月二十六日「ランダン、ガゼット」ニ掲載セル
「バーンハム」、「バックス」定期市場廢止命令ヲ看ルヘシ、又普通「ランダン、ガゼット」牽引「定

期市場」ノ項、定期市場ニ關スル千八百七十一年及ヒ千八百七十三年法律ヲ見ルヘシ、千八百八十三年十二月三十一日以前ニ發シタル同命令ニ對シテハ法律報告委員會ノ出版セル自千八百三十年至千八百八十三年「ランダン、ガゼット」牽引中同命令中ニ記載セル場所ノ名稱ノ下ニ各々其牽引ヲ附セリ

●定期市場ニ關スル千八百七十三年法律

ヴィクトーリア帝在位第三十六年及ヒ第三十七年法律第三十七號、英國及ヒウエールズニ於ケ

ル定期市場ニ關スル法律ヲ更ニ修正スル法律、千八百七十三年七月七日公布

茲ニ左ノ規定ヲ議決セシム

第一條 本法ハ「定期市場ニ關スル千八百七十三年法律」ト稱シ之レヲ引用スルコトヲ得

第二條 本法ハ蘇格蘭又ハ愛蘭ニ對シ之レヲ適用セサルモノトス

第三條 本法中ニ「所有人」ト稱スルモノハ總テ土地又ハ采地ヲ所有スル理由ニ據リ或ハ總テ特許狀、

委任狀又ハ其他ノ理由ニ據リ定期市場ヲ開場スル權利アル者一名又ハ若干名或ハ委員ノ團體或ハ社

團ヲ云フモノトス

第四條 本法ハ帝國議會ノ協賛ヲ經タル時日ヨリ効力ヲ有シ之レヲ實施スヘシ

第五條 定期市場ニ關スル千八百六十八年法律ハ本法カ効力ヲ有スル時日ヨリ並ヒニ同時日後自然ニ

且ツ本法ノ公布ニ據リ廢止スヘシ(註)

(註) ヴィクトーリア帝在位第三十一年及ヒ第三十二年法律第五十一號、「ロイド」出版「チツチ

」法令全書第一卷第三百三十九頁ニアリ、日數ヲ減少スル權限ハ新ニ之レヲ設ケタルモノナリ

トス若シ然ラストセハ本法ニ據リ千八百六十八年法律ヲ復活セシムヘキナリ

第六條 後文ニ大臣ト記スヘキ國務大臣中總テ定期市場ヲ開場スル裁判所轄小區域内ニ於テ且ツ同區域ニ對シ執務スル當該裁判官或ハ英國又ハ「ウエールズ」ニ於ケル定期市場ノ所有人ヨリ同大臣ニ提出セル申請ニ據リ公衆ノ便益又ハ便益上總テ同市場ヲ開場セル時日ニアラサル他ノ一個又ハ一個以上ノ時日或ハ同市場ヲ開場セル一個又ハ一個以上ノ時日及ヒ同時日以前又ハ以後ニ於ケル一個又ハ一個以上ノ時日或ハ同市場ヲ開場セル日數以下ノ日限又ハ同日限中ニ於テ毎年同市場ヲ開場スルコトヲ適宜ナリト認メタルトキハ前記定日ニアラサル他ノ一個又ハ一個以上ノ時日或ハ前記定日ト同一ナル一個又ハ一個以上ノ時日及ヒ前記定日以前又ハ以後ニ於ケル一個又ハ一個以上ノ時日或ハ同大臣カ適宜ナリト認ムヘキ前記定日數以下ノ日限又ハ同日限中ニ於テ毎年同市場ヲ開場スヘキコトヲ命令スヘシ、總テ同申請及ヒ同大臣カ同申請ニ對シ處分スルヲ適宜ナリト認ムル時日ノ告知ハ裁判官ヨリ同申請ヲ提出セルトキ之レヲ同市場ノ所有人ニ交附シ同市場ノ所有人ヨリ同申請ヲ提出セルトキハ同市場ヲ開場スル裁判官管轄小區域内ニ於テ且ツ同區域ニ對シ執務スル裁判所屬吏ニ之レヲ交附シ同申請ニ對シ處分スル前「ランダン、ガゼット」ニ一回及ヒ同市場ヲ開場スル郡、市又ハ「バロー」(選舉市)ニ於テ發行スル同一種ノ若干新聞紙或ハ同所ニ於テ新聞紙ヲ發行スルコトナキハ同

所ニ隣接シ又ハ接近スル其他ノ若干郡ニ於テ發行スル新聞紙ニ繼續三週間之レヲ掲載スヘシ

第七條 國務大臣カ前記ノ方法ニ據リ同命令ヲ發シタルトキハ同命令ヲ發スル告知ヲ「ランダン、ガゼット」及ヒ同定期市場ヲ普通開場スル郡、市又ハ「バロー」(選舉市)ニ於テ發行スル若干新聞紙又ハ同所ニ於テ新聞紙ヲ發行スルコトナキトキハ同所ニ隣接シ又ハ接近スル其他ノ若干郡ニ於テ發行スル新聞紙ニ掲載シ同命令中ニ記載スル一個又ハ一個以上ノ時日ノミニ限リ同市場ヲ開場スヘシ、同市場ノ所有人ハ總テ同命令ヲ發スル前同市場ヲ開場セル一個又ハ一個以上ノ時日ニ於テ之レヲ開場セル場合ニ於ケルモノト同一ナル一種又ハ一種以上ノ税金ヲ徵收シ一種又ハ一種以上ノ行爲ヲナシ總テ同市場ニ關シ同一ノ權利、權限及ヒ特典ヲ享有シ總テ同様ノ方法ニ據リ之レヲ行使スルコトヲ得

●常設市場及ヒ定期市場(畜類ノ斤量測定)ニ關スル千八百八十七年法律

ヴィクトーリア帝在位第五十年及ヒ第五十一年法律第二十七號、常設市場及ヒ定期市場ニ於ケル畜類ノ斤量測定ニ關スル法律ヲ修正スル法律、千八百八十七年八月八日公布

常設市場及ヒ定期市場ニ於ケル畜類ノ斤量測定ニ對シ常設市場及ヒ定期市場規定ニ關スル千八百四十七年法律(註)ニ據リ常設市場及ヒ定期市場ニ於ケル物品及ヒ車輛ノ斤量測定ニ對シ規定セルモノト同様ノ便宜ヲ規定スルコトヲ便宜ナリト認ムルニ據リ茲ニ左ノ規定ヲ議決セシム

(註) ヴィクトーリア帝在位第十五及ヒ第十一年法律第十四號、同法律第三十四條ヲ看ルヘシ

第一條 本法ハ「常設市場及ヒ定期市場(畜類ノ斤量測定)ニ關スル千八百八十七年法律」ト稱シ之レヲ引用スルコトヲ得

第二條 本法ハ後條ニ規定スル場合ヲ除キ總テ一定ノ期間内畜類ニ對シ税金ヲ徵收スルコトヲ商社、組合又ハ個人ニ許可シ且ツ現ニ其徵收ヲ實施スル常設市場又ハ定期市場ニ對シ之レヲ適用スルモノトス、本法ニ於テハ同商社、組合又ハ個人ヲ「市場役員」ト稱ス

第三條 本法ニ於テ「畜類」ト云フ語ハ牡羊、牝羊、鬮羊、羔羊及ヒ豚ヲ併稱スルモノトス

第四條(註一) 市場役員ハ總テ本法ヲ適用スル常設市場又ハ定期市場内又ハ其附近ニ於テ販賣スルタメ常設市場又ハ定期市場内ニ運搬セル畜類ノ斤量ヲ測定スルニ充分適當ナル家屋又ハ場所ヲ設置存續シ同所内又ハ其附近ニ畜類ノ斤量ヲ測定スル目的ニ對シテ斤量測定機及ヒ秤量ヲ設備シ同斤量測定機及ヒ秤量ヲ保管シ且ツ時々請求アル毎ニ畜類ノ斤量測定ニ對シテ公衆ニ同斤量測定機及ヒ秤量ヲ使用セシメンカタメ適當ノ職員ヲ任選スヘシ

市場役員ハ毎年二回又ハ二回以上市場ノ所在地タル郡、「バロー」(選舉市)又ハ場所及ヒ同所ニ對スル地方度量衡検査官ニ同斤量測定機及ヒ秤量ノ試験ヲ依頼シテ之レヲ正確ナラシムヘシ、同試験料ハ同市場役員之レヲ負擔スヘシ

市場役員ハ本條ノ規定ヲ履行セサルトキ同不履行ノ繼續スル期間内總テ販賣スル爲メ常設市場又ハ定期市場内ニ運搬セル畜類ニ對シ税金ヲ要求シ收受シ又ハ取得スルコトヲ得ス

但シ本規定ハ千八百八十八年一月一日以後ニ至ルマテ之ヲ適用セサルモノトス
總テ一定ノ期間内本法ヲ適用シ且ツ市場役員カ本法ノ規定ヲ履行スルコトナキ常設市場又ハ定期市
場内ニ於ケル畜類ニ對シ税金ヲ要求シ又ハ收受スル者ハ摘要判決ヲ經テ英貨五「パウンド」以下ノ罰
金ニ處スヘシ(註二)

(註一) 本條ハ其履行ヲ強要スルモノニシテ斤量測定機ハ永久性ノ構造ヲ具備シ市役所役員ヨリ
公道ニ對スルカ如ク市場内ニ於テ同機具ヲ設置スル場所ニ對シ妨害アリトスル異議ノ提出アルコ
トナキモノタルコトヲ要ス(「マツキントツシ」對「ロムフォード」地方廳事件)

(註二) 罰金ノ還附ニ關シテハ摘要判決ニ關スル千八百四十八年及ヒ千八百七十九年法律ヲ看ル
ヘシ、本書中「裁判」ノ項ニアリ

第五條 總テ畜類ノ斤量ヲ測定スヘキ設備アル常設市場又ハ定期市場ニ於テ畜類ヲ販賣シ販賣スルタ
メニ提供シ又ハ購買スル者ハ同畜類ノ斤量測定ヲ請求スルコトヲ得、斤量測定ニ對シ納附スヘキ税
金ハ畜類ノ斤量測定ヲ請求スル者ヨリ市場役員カ税金ヲ徵收スヘキ權限ヲ附與セル職員ニ之レヲ納
附スヘシ

第六條 總テ常設市場又ハ定期市場ニ於テ販賣スル畜類ノ斤量ヲ測定スルタメ市場役員ノ任選セル職
員カ

(一) 請求ヲ受ケタルトキ畜類ノ斤量測定ヲ拒ミ又ハ之レヲ怠リタルトキ、又ハ

(二) 斤量ヲ測定セル畜類ノ確實ナル斤量ヲ記載スル紙票ヲ販賣人又ハ購買人ニ交附スルコトヲ拒
ミ又ハ之レヲ怠リタルトキ、又ハ

(三) 總テ斤量ヲ測定セル畜類ニ關シ不正ノ紙票又ハ計算書ヲ交附セルトキハ
摘要判決ヲ經テ英貨半「クラウン」以上四十「シルリング」以下ノ罰金ニ處スヘシ(註)

(註) 罰金ノ還附ニ關シテハ摘要判決ニ關スル千八百四十八年及ヒ千八百七十九年法律ヲ看ルヘ
シ、本書中「裁判」ノ項ニアリ

第七條 總テ本法ノ規定ニ據リ斤量ヲ測定スヘキ畜類ノ斤量測定ニ關シテ故意ニ不正行爲ヲナシ又ハ
之レヲ幫助セル者ハ該不法行爲アル毎ニ摘要判決ヲ經テ英貨五「パウンド」以下ノ罰金ニ處スヘシ
(註)

(註) 前條ノ註ヲ看ルヘシ

第八條 市場役員ハ畜類ノ斤量測定ニ對シ本法ノ附屬項目中ニ規定スル金額又ハ地方政廳ヨリ市場役
員ニ徵收ノ權限ヲ附與スヘキ其他ノ金額ヲ超過スルコトナキ税金ヲ(總テ法律ニ據リ特ニ他ノ規定
ヲ設クルコトナキトキ)時々要求シ收受スルコトヲ得、常設市場及ヒ定期市場規定ニ關スル千八百
四十七年法律(註)第三十六條乃至第四十一條(但シ本二個條ヲ合ス)ハ本法ヲ特別法ト見做シ市場役
員ヲ起業者ト見做シ本條ニ規定スル税金ニ對シテ之レヲ適用スヘシ

(註) ヴイクトーリア帝在位第十年及ヒ第十一年法律第十四號、同法第三十六條乃至第四十一條

ハ税金ノ變更、強制徴收、災害ニ據ル税金ノ還附異議ノ決定、集金役ノ職務妨害及ヒ税金ノ類別ヲ規定スルモノトス

第九條 (第二項)、總テ常設市場又ハ定期市場ノ市場役員ハ同常設市場又ハ定期市場ニ於ケル畜類販賣ノ規模小ナルカ又ハ小ナルカ如キ事態アルヲ以テ本法ニ規定スル畜類ノ斤量ヲ測定スル場所及ヒ斤量測定機ノ設置存續ヲ實施スル便宜アルコトヲ認ムルコトナキ理由ニ據リ地方政廳(註)ニ對シ本法ノ規定適用ノ免除ヲ請求スルコトヲ得、地方政廳ハ同請求ヲ受ケタルトキ命令ヲ發シ同命令ニ據リ限定スヘキ三ヶ年以下ノ期間經過セル後ニ至ルマテ同常設市場又ハ定期市場ニ對シ本法ヲ適用セサルコトヲ告示スルコトヲ得、總テ本條ノ規定ニ據ル命令ハ同命令ノ告示後地方政廳ヨリ發スヘキ命令ニ據リ之レヲ全部又ハ一部廢止シ變更シ又ハ増加スルコトヲ得

(第二項)、本法ハ本法ヲ適用スルコトナキ命令ニ據リ告示セル期間内總テ本條ノ規定ニ據ル命令ヲ適用スル常設市場又ハ定期市場ニ對シ之レヲ適用セサルモノトス

(註) 現ニ農務廳ト稱ス、千八百九十一年法律第一條

第十條 本法ハ蘇格蘭及ヒ愛蘭ニ對シ之レヲ適用スルトキ「地方政廳」ト云フ語ニ對シ蘇格蘭ニ於テハ「蘇格蘭民政長官」愛蘭ニ於テハ「愛蘭地方政廳」ト云フ語ヲ代用セルモノト認ムヘシ

附 屬 項 目

羊又ハ豚以外ノ畜類每一頭ニ對シ

英貨

一「ペンズ」以下

羊又ハ豚每五頭又ハ五頭以下ニ對シ

英貨

一「ペンズ」以下

●畜類ノ斤量測定ニ關スル千八百九十一年法律

目 次

- 第一條 千八百八十七年法律第九條ノ規定ニ據ル地方政廳ノ權限ヲ農務廳ニ轉移スル規定
- 第二條 市場役員カ畜類ノ斤量ヲ測定スヘキ機具ヲ設備スヘキ規定
- 第三條 市場役員カ畜類ノ斤量測定及ヒ販賣ニ關スル統計ヲ調製スヘキ規定
- 第四條 競賣人カ斤量ヲ測定スヘキ便宜アル機具ヲ設備スルコトナキ市場ニ於テ畜類ヲ販賣スヘカラサル規定、競賣人カ一定ノ場所ニ於テ報告ヲ提出スヘキ規定
- 第五條 本法ヲ愛蘭ニ適用スル規定
- 第六條 本法ノ釋義及ヒ名稱

報告ヲ提出スヘキ場所ノ項目

ヴィクトリア帝在位第五十四年及ヒ第五十五年法律、常設市場及ヒ定期市場(畜類ノ斤量測定)

ニ關スル千八百八十七年法律ヲ修正スル法律、千八百九十一年八月五日公布

常設市場及ヒ定期市場(畜類ノ斤量測定)ニ關スル千八百八十七年法律(註)(後條ニ於テ引用スルトキハ之レヲ主法ト稱ス)ヲ修正スルコトヲ便宜ナリト認ムルニ據リ茲ニ左ノ規定ヲ議決セシム

(註) ヴィクトリア帝在位第五十年及ヒ第五十一年法律第二十七號、本法ハ市場役員カ總テ稅

金ヲ徵收スル常設市場及ヒ定期市場ニ斤量ヲ測定スヘキ機具ヲ設備スルコトヲ要スル規定ヲ設クルモノナリ

第一條 主法第九條(註)ニ規定スル英國及ヒウェールズニ於テハ地方政廳蘇格蘭ニ於テハ蘇格蘭民政長官ニ附帶スル權限ハ本法カ帝國議會ノ協賛ヲ經タル後テ之レヲ農務廳ニ轉移シ且ツ之レヲ附與シ同條ニ規定スル愛蘭地方政廳ニ附帶スル權限ハ之レヲ愛蘭地方委員ニ轉移シ且ツ之レヲ附與スヘシ(註) 市場役員ハ千八百八十七年法律第九條ノ規定ニ據リ畜類販賣ノ規模小ナルカ又ハ小ナルカ如キ事態アル理由ヲ以テ地方政廳ノ命令ニ據リ三ケ年間ノ免除ヲ受クルコトヲ得

第二條 (第一項)、總テ一定ノ期間ニ對シ主法ヲ適用スヘキ常設市場及ヒ定期市場ノ市場役員ハ農務廳ノ命令ニ據リ本條ノ規定適用ノ免除ヲ受クル場合ヲ除キ同廳ノ認可ヲ得ルニ堪ユヘキ充分適當ナル畜類ノ斤量測定機具ヲ設備シ且ツ之レヲ維持スヘシ

(第二項)、本條ノ規定不履行ニ對シテハ主法

第四條ノ規定不履行ニ對スルモノト同一ノ處分ヲ適用スヘシ

第三條 (第一項)、總テ本法ノ附屬項目中ニ規定スル場所ニ於テ開場スル常設市場及ヒ定期市場ノ市場役員ハ調査シ得ヘキ範圍ニ於テ農務廳ノ命令ニ據リ指定スル時期形式及ヒ細目ニ準シ同市場ニ携帶セル畜類ノ數、同市場ニ於テ斤量ヲ測定セル畜類ノ數及ヒ斤量並ヒニ同市場ニ於テ販賣セル畜類ノ價格ヲ示ス報告ヲ同廳ニ提出スヘシ、同市場役員ハ指定ノ報告ヲ調製スルタメ總テ市場ニ於テ販

賣セル畜類ノ價格ヲ示ス報告ヲ同廳ニ提出スヘシ、同市場役員ハ指定ノ報告ヲ調製スルタメ總テ市場ニ於テ販賣セル畜類ノ斤量ヲ無料測定スルコトヲ得

(第二項)、農務廳ハ公衆ニ示スタメ最モ便宜ナリト認ムル方法ニ於テ前項ノ規定ニ據リ提出セル報告ノ全部又ハ其摘要又ハ其一部抜書ヲ公ニスヘシ

(第三項)、市場役員カ故意ニ本條ノ規定ヲ履行セサルトキハ該不法行為アル毎ニ摘要判決ヲ經テ英貨二十「パウンド」以下ノ罰金ニ處スヘシ、該不法行為繼續スルトキハ同行爲ノ繼續スル日數ニ對シ毎日英貨十「パウンド」ノ罰金ニ處スヘシ(註一)

(第四項)、總テ本條ノ規定ニ據リ調製スル報告中ニ虛偽又ハ不正ノ事項ヲ記載セル者ハ輕罪ノ刑ニ處スヘシ(註二)

(第五項)、農務廳ハ本法ノ附屬項目中ニ規定スル場所ヲ時々變更シ又ハ増加スルコトヲ得

(註一) (總テ禁錮ノ權限ヲ附與スルコトナキカ故ニ)控訴ヲ許サス但シ法律上高等法院ニ提出スヘキ事件ハ此限ニアラス、摘要判決ニ關スル千八百七十九年法律ウイクトーリア帝在位第四十二年及ヒ第四十三年法律第四十九號)第十九條及ヒ第三十三條並ヒニ摘要判決ニ關スル千八百八十六年規則ヲ看ルヘシ、本書中「裁判」ノ項ニアリ

(註二) 此理由ニ據リ裁判所ノ制限ナキ認定ヲ以テ罰金又ハ禁錮或ハ兩種ノ刑ニ處スヘキ事件トナスヘシ

四、獨逸ハムブルヒ市定週市場ノ賣買ニ關スル市場規則

(千九百年三月十二日公布)

營業規則第六十九條(註一)ノ規定ニ據リ自治體吏員(註二)ノ協賛ヲ經茲ニホツプフェシマルクト及ヒメツスベルヒニ於ケル「ハムブルヒ」市定週市場ノ賣買ニ關シ左ノ市場規則ヲ公布ス

(註一) 第六十九條

當該地方警察官吏ハ第六十五條乃至第六十八條ニ規定スル範圍内ニ於テ自治體吏員ノ協賛ヲ經當該地方ノ需要ニ該當スル市場規則ヲ制定スルコト殊ニ同様ノ種類ニ屬スル物品ノ販賣提供ニ對シテハ場所ヲ呼賣ヲナシ又ハ之レヲナスコトナキ携帯スル販賣提供ニ對シテハ日時及ヒ商品ノ種類ヲ規定スルコトヲ得

第六十五條ハ定期市場及ヒ常設市場ノ個數、開場ノ日時及ヒ期間ヲ規定スヘキ當該行政官吏ノ權限ヲ規定ス、第六十六條ハ定週市場ニ於テ賣買スル物品ヲ規定シ(市場規則第三條ヲ參照スヘシ)且ツ自治體吏員ノ請求ニ據リ土地ノ慣習及ヒ需要上定週市場ノ販賣品ニ屬スヘキ其他物品ノ種類ヲ規定スル權限ヲ當該行政官吏ニ附與ス、第六十七條ハ定年市場ニ關スル規定ヲ示ス、第六十八條ハ市場賣買ニ於テ貸附セル地面並ヒニ屋舎及ヒ機具ノ使用ニ對スル報償ノ外他ノ料金ヲ徵收スヘカラサルコトヲ規定ス

(註二) 法制廳ハ告示第三百三十八號(本書第五一七頁)ニ據リ、財務委員ヲ自治體吏員ト認定セリ、本追加市場規則ニ規定スル自治體吏員ハ高等地方裁判所ノ判決即チ千九百年刑事法制廳告示第二十三號ニ據リ効力アルモノト認定セリ、本書第五一三頁註四ヲ參照スヘシ

第一條 (市場ヲ開クヘキ場所)

定週市場ノ賣買ニ對シ市場ヲ開クヘキ場所ハ左ノ如シ

- (一) ホツプフェシマルクト但シ同市場ニ通スル道路ヲ併ス及ヒノイエアルヒ
- (二) メツスベルヒ但シ木材置場ヲ併ス、ヴァントラーム橋及ヒホツゲン製作車場市場ノ賣買及ヒ殊ニ市場用車輛ニ對シテハ必要アルトキ猶ホ左ノ場所ヲ使用スヘシ
- (三) ホツプフェシマルクトノ附近ニアル左ノ道路、ゴエルトトヴィーテ、小ファールシウター、小ファールシウター、トハントツブノ間ニアル大ファールシウター、ハントラツブ、ボーン街、トロスト橋、舊市廳附近、舊株式取引所附近、ライメル橋、ホルツ橋、マツテントヴィーテ、クレーモン、ダイヒ街、シウタイントヴィーテ、ロエーチングスマルクト
- (四) メツスベルヒノ附近ニアル左ノ道路、クリングベルヒ、フィツシエルトヴィーテ、ブムベン、ヘルゲトルフェル街、クロステル街、ダイヒトール街、テールホーフ、ドーフェンフレート及ヒアラウエル街ヨリ、ゲルケンストヴィーテニ至ルマテ、ホツプフェインザツク

市場ヲ開クヘキ場所並ヒニ本條第三項及ヒ第四項ニ規定スル道路及ヒ道路區域ニ於テハ總テ市場ヲ開

クヘキ日時ノ外市場販賣品及ヒ其他物品ノ販賣提供又ハ販賣ヲナスコトヲ得ス、市場ヲ開クヘキ日時ハ市場關係者又ハ營業者ニ販賣ノ場所ヲ指定セル後チニ限り之レヲ規定スヘシ(註)

(註) 「ラントマン」著書第三版第一卷第六〇六頁及ヒ「シツケル」著書第四版第三五一頁以下ヲ參照スヘシ

第二條 (市場ヲ開クヘキ日時)

市場ヲ開クヘキ場所ニ於テハ毎開場日左ニ規定スル日時ニ於テ二回(午前及ヒ午後)定週市場ヲ開クヘシ

(一) 夏期半年度、四月一日ヨリ九月末日ニ至ル、午前四時ヨリ正午十二時ニ至ル及ヒ午後四時ヨリ午後八時三十分ニ至ル

(二) 冬期半年度、十月一日ヨリ三月末日ニ至ル、午前六時ヨリ正午十二時ニ至ル及ヒ午後二時三十分ヨリ午後七時ニ至ル

總テ日曜日及ヒ祝祭日ニハ市場ヲ開クヘカラス、但シ同日午前八時三十分ニ至ルマテ市場ヲ開クヘキ場所ニ於テ定週市場販賣品ノ販賣ヲ許可スヘシ、販賣ノ場所ハ同日午前九時ニ至ルマテニ於テ之レヲ撤去スヘシ

第三條 (販賣品)

定週市場ニ於テ賣買スヘキ物品ハ左ノ如シ

(一) 野生物原品

(二) 製產品、同物品ノ製産カ農業及ヒ林業、園藝及ヒ菓物栽培又ハ漁業ニ直接關係ヲ有シ或ハ農民ノ副業ニ屬シ或ハ日給勞役ニ據リ産出セルモノ但シ酒類ヲ除ク

(三) 新鮮ナル各種類食料品(註)

市場ヲ開クヘキ場所、同所内ニ包含スル道路、並ニ副道路ニ於テハ市場販賣品ヲ準備調製スルコトヲ得ス高聲ニテ商品ヲ呼賣スルコトヲ禁ス

(註) 本條第一項乃至第三項ハ營業規則第六十六條第一項乃至第二項ニ該當ス、但シ定週市場販賣品中ニ他ノ物品ヲ加入スル處置ニ關シ第六十六條ニ規定スル權限ハ之レヲ行使セサルモノトス

第四條 (販賣ノ場所)

總テ市場ニ對シ市場賣買ノ監督ヲ委任セル警察官吏ハ販賣ノ場所ヲ指定スヘシ、販賣ノ場所ニ關スル指定ハ市場ヲ開クヘキ時刻ヨリ一時間半以前ニ之レヲ告示スヘシ

總テ市場關係者ニ對シテハ隨時取消ヲナスヘキ條件ヲ以テ長時限ニ對シ固定セル販賣ノ場所ヲ指定スルコトヲ得(註)固定セル販賣ノ場所ヲ使用スルコトナキトキハ市場ヲ開クヘキ時刻ヨリ一時間半又ハ以下ノ時間前ニ於テ之レヲ市場吏員ニ告知スヘシ(註二)

(註) 監督官吏カ市場ノ定關係者ニ對シ一定ノ列順ヲ設ケ同關係者カ日々同列順ニ於テ同一ノ場所ヲ占ムヘキトキハ長時限ニ對シ固定セル販賣ノ場所ヲ指定スルコトナシ

舊市場規則(千八百九十三年十月十六日公布)中該當スル規定ニ對シテ下シタル判決ヲ看ルヘシ、
警察告示第三百〇一號本書第四八三頁

(註二) 口頭ニ於テ告知スルコト能ハサルトキハ之書ヲ以テ告知スヘシ(高等地方裁判所判決、千
九百〇一年十一月二十八日刑事法制廳告示、「ヒンリツクス」事件)

第五條

指定ヲ受ケタル固定セル販賣ノ場所ヘ之レヲ他人ニ讓渡シ又ハ他ノ市場關係者ト共ニ之レヲ分割スル
コトヲ許サス

販賣ノ場所ハ各々其區域ヲ超過スルコトヲ得ス

市場出入ノ通路ニ於テハ物品ヲ配置シ販賣提供ノ目的ヲ以テ各種商品ヲ藏置シ又ハ携帯スルコトヲ禁
ス

疊積セル物品、箱、籠及ヒ其他商品ノ高サハ一「メートル」半ヲ超過スルコトヲ得ス

第六條 (市場ノ賣買)

水路ニ據リ市場ニ運搬セル商品ノ輸送及ヒ轉送ハ市場ヲ開クヘキ時刻ヨリ一時間以前ニ之レヲ行フコ
トヲ得、日曜日及ヒ祝祭日(但シ「カールフライターグ」ヲ除ク)ニ於ケル市場販賣品ノ轉送ハ四月一日
ヨリ七月末日ニ至ルマテニ於テ午後七時ヨリ午後七時三十分ニ至ルマテノ間八月及ヒ九月ニ於テハ午
後六時ヨリ午後七時三十分ニ至ルマテノ間ニ於テ之レヲ行フヘシ

市場ノ開場前ニ於テハ商品ヲ再輸送シ閉場後ニ於テハ之レヲ轉送スルコトヲ禁ス

猶ホ

(一) 規定ノ時刻(註一)ニ達スル前ニ商品ノ市場内輸送ニ使用スル車輛

(二) 市場ノ開場前ニ購買セル市場販賣品ノ市場外輸送ニ使用スル車輛

(三) 總テ市場關係者ノ取引終了前ニ市場ニ於テ使用セル空籠等ノ運搬ニ使用スル車輛ヲ

市場ヲ開クヘキ場所内ニ包含スル道路並ヒニ副道路上ニ配置シ又ハ同所ニ於テ之レヲ牽引スルコトヲ
禁ス

前項第一及ヒ第三ニ規定スル車輛ハ市場ヲ開クヘキ場所ニ到着セルトキ直チニ物品ヲ除去シ又ハ積載
スヘシ、物品ヲ積載シ又ハ除去セルトキハ直チニ之レヲ市場外ニ牽去スヘシ

前項第二ニ規定スル車輛ハ市場内ニ運搬セル後チ三時間又ハ以下ノ時間内ニ物品ヲ積載シ之レヲ市場
外ニ牽去スヘシ

販賣時間終了セル後チ三十分間内ニ市場用車輛ヲ全部除去スヘシ

物品積載中車輛ヨリ市場販賣品ヲ販賣スヘカラス

總テ市場用車輛ノ市場内外運搬並ヒニ其他車輛ノ運搬ハ市場ノ開場前一時間半ヨリ閉場後三十分間ニ
至ルマテ市場ヲ開クヘキ場所内ニ包含スル道路並ヒニ副道路ニ於テ平步調ニ行進シ前項第一ニ規定ス
ル車輛ハ規定ノ列順ニ於テ行進スヘシ(註二)

車輛及ヒ馬車(娼婦車ヲ併ス)ニ搭乘シテホツプフエンマルクトヲ開クヘキ場所内ニ出入スルコトヲ禁
ス

ホツプフエンマルクトニ入場スルトキハトロスト橋又ハハーントラツブ又ハマツテントヴィーテヲ通
過シ出場スルトキハゴエルトトヴィーテ又ハ小フルシウタヲ通過スヘシ

總テ市場用車輛ハ市場警察官吏ノ指定ニ據リ之レヲ配置スヘシ

馬匹ヲ附シタル車輛ハ監督人ヲ附スルコトナク之レヲ放置スヘカラス

(註一) 高等地方裁判所ノ判決(千九百〇一年四月二十五日刑事法制度告示、ハルデル事件)ニ據リ

「規定ノ」時刻トハ第一項第一ニ規定スルモノヲ云フ但シ第八項ノ規定ハ之レニ該當スルコトナキ

カ故ニ市場ノ開場ヨリ一時間半前市場ヲ開クヘキ場所内ニ包含スル道路上ニ車輛ヲ配置セルコト

アルモ之レヲ處罰スルコト能ハサルモノトス

(註二) 前註ヲ看ルヘシ

第七條 (桌子及ヒ架臺ノ使用)

市場關係者ハ普通開場日ニ於テ午前八時ヨリ正午十二時ニ至ル時間火曜日、木曜日、及ヒ土曜日ニ於
テハ午後ノ時間内ニ限り販賣ノ場所ニ於テ桌子、架臺等ヲ配置スルコトヲ得、桌子架臺等ノ高サハ八
十「センチメートル」又ハ以下ナルコトヲ要シ販賣ノ場所ノ前面ヨリ半「メートル」又ハ以上後方ニ引下
ケ之レヲ配置スヘシ

第八條 (販賣ノ場所ノ掃除及ヒ撤去)

商品廢物及ヒ梱包殘物之レヲ販賣ノ場所又ハ道路ニ投棄シ又ハ同所ニ遺棄スルコトヲ得ス

發芽セル馬鈴薯ハ之レヲ市場ニ携帯スルコトヲ得ス

市場販賣品ノ濡濕ニ據リ他ノ市場關係者ニ妨害ヲ加ヘ殊ニ其商品ニ損害ヲ蒙ルコトアルヘカラス

市場ノ閉場後三十分間内ニ販賣ノ場所ヲ撤去スヘシ

市場關係者ハ午後市場ノ閉場後ヨリ翌日午前市場ノ開場ニ至ルマテ各自ノ販賣ノ場所ニ其商品ヲ藏置
スルコトヲ得

第九條 (犬ノ携帯)

市場ヲ開クヘキ場所ニ犬ヲ携帯スルコトヲ禁ス但シ曳犬ハ此限ニアラス、曳犬ハ市場ヲ自由ニ歩走セ
シムヘカラス、曳犬ハ市場ノ通行人ヲ妨害シ又ハ車輛ヲ移動スルコトナカラシメンカタメ嚴ニ之レヲ
繫留スヘシ、曳犬ハ間斷ナク吠叫シテ市場ノ靜謐ヲ妨害スルコトアルトキ之レヲ市場外ニ退去セシム
ヘシ

第十條 (遺留品)

遺留品アルトキハ警察官署内拾得物擔當官吏ニ之レヲ交附スヘシ(註一)

遺留品ヲ處分スルトキハ民法ノ規定(註二)ニ據リ即時公開競賣ヲ行フヘシ

(註一) 民法第九百六十七條ヲ參照スヘシ

(註二) 民法第九百六十六條第二項ヲ参照スヘシ

第十一條 (市場警察)

市場賣買ノ監督ヲ委任セル警察官吏ノ命令ハ直チニ之レヲ履行スヘシ但シ異議アルトキハ後之レヲ申立ツヘシ

第十二條 (處罰規定)

總テ前條ノ規定ニ違反スル行爲アルトキハ營業規則第四百九條第六項ノ規定(註)ニ據リ獨貨三十「マルク」以下ノ罰金ニ處スヘシ罰金不完納ノ場合ニ於テハ八日以下ノ留置ニ處スヘシ

(註) 告示中ニアル誤字「第四百九條」ハ千九百平官報第二十四號第三一九頁ニ之レヲ訂正セリ第四百九條第六項ニハ「市場ノ賣買ニ關スル警察令ニ違反スル行爲アル」者ヲ處罰スル規定ヲ設ク

第十三條

前條ノ市場規則ハ公布ノ日(註)ヨリ之レヲ實施スヘシ

千八百九十三年十月十六日公布「ハムブルヒ」市定週市場ノ賣買ニ關スル市場規則ハ同日ヨリ之レヲ廢止スヘシ

(註) 千九百年三月十三日、(千九百年官報第三十三號第三一三頁)

千九百年三月十二日ハムブルヒニ於テ

警察官署

漁港及魚市場調査 畢

大正元年九月十八日印刷

大正元年九月二十日發行

農商務省水産局

印刷者

東京市京橋區瀧山町六七番地

小川 邦 孝

印刷所

東京市京橋區瀧山町六七番地

東京製本合資會社

電話新橋(七七)九九七六五



326
3/

終